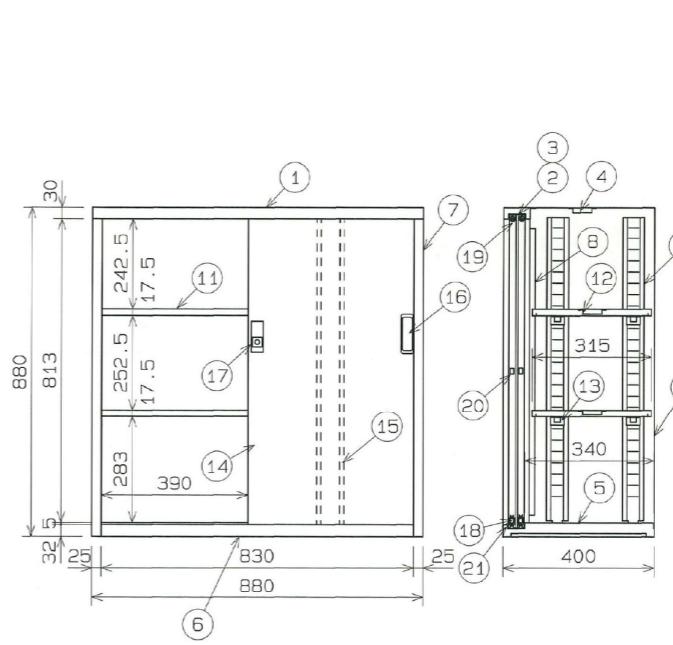


番号	部品名	数量	材質
1	天板	1	SPCC t0.7
2	天レール	1	SPCC t1.6
3	天レール受	1	SPCC t0.5
4	天骨	1	SPCC t0.5
5	地板	1	SPCC t0.6
6	地前板	1	SPCC t0.8
7	側板	2	SPCC t0.6
8	側戸開き	2	SPCC t0.5
9	ジヤハラ	4	SPCC t0.6 (t* ッ30)
10	ウラ板	1	SPCC t0.5
11	自由扉	2	SPCC t0.7
12	扉受	2	SPCC t0.5
13	扉	2	SPCC t1.0
14	扉板	2	SPCC t0.8
15	カラス	2	t2x355x739
16	引手	2	ABS樹脂
17	引戸板	1	ABS樹脂
18	戸車	4	PA樹脂
19	ナイロンスベリ	4	PA樹脂
20	戸当コム	4	ゴム
21	地レール	1	STJEB t0.5

生産工場	656500
納入形態	完成品
塗装色	ケミカルクーラー
日本ハインツ内寸	メラミン糊付
塗料製品名	サクラ33(半艶)
マニセル返送値	見本板による

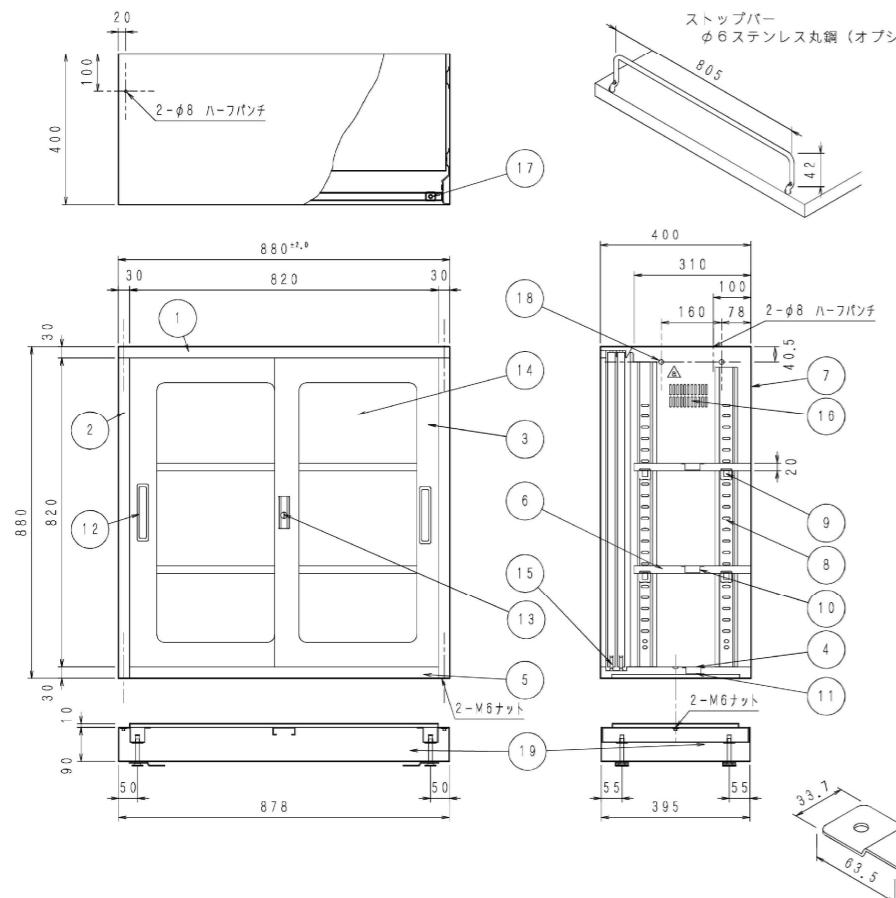
備考
自重: 25.4kg
梱包サイズ: W895xD410xH890
梱包数: 1
梱包重量: 25.8kg
1台当たりの最大荷重: 180kg
1段当たりの均等荷重: 60kg



番号	部品名	数量	材質
1	天板	1	SPCC t0.7
2	天レール	1	SPCC t1.6
3	天レール受	1	SPCC t0.5
4	天骨	1	SPCC t0.5
5	地板	1	SPCC t0.6
6	地前板	1	SPCC t0.8
7	側板	2	SPCC t0.6
8	側戸開き	2	SPCC t0.5
9	ジヤハラ	4	SPCC t0.6 (t* ッ30)
10	ウラ板	1	SPCC t0.6
11	自由扉	2	SPCC t0.7
12	扉受	2	SPCC t1.0
13	扉	2	SPCC t0.6
14	扉板	2	SPCC t0.5
15	カラス	2	ABS樹脂
16	引手	2	ABS樹脂
17	引戸板	1	ABS樹脂
18	戸車	4	PA樹脂
19	ナイロンスベリ	4	PA樹脂
20	戸当コム	4	ゴム
21	地レール	1	STJEB t0.5

生産工場	656500
納入形態	完成品
塗装色	ケミカルクーラー
日本ハインツ内寸	メラミン糊付
塗料製品名	サクラ33(半艶)
マニセル返送値	見本板による

備考
自重: 25.4kg
梱包サイズ: W895xD410xH890
梱包数: 1
梱包重量: 25.8kg
1台当たりの最大荷重: 180kg
1段当たりの均等荷重: 60kg

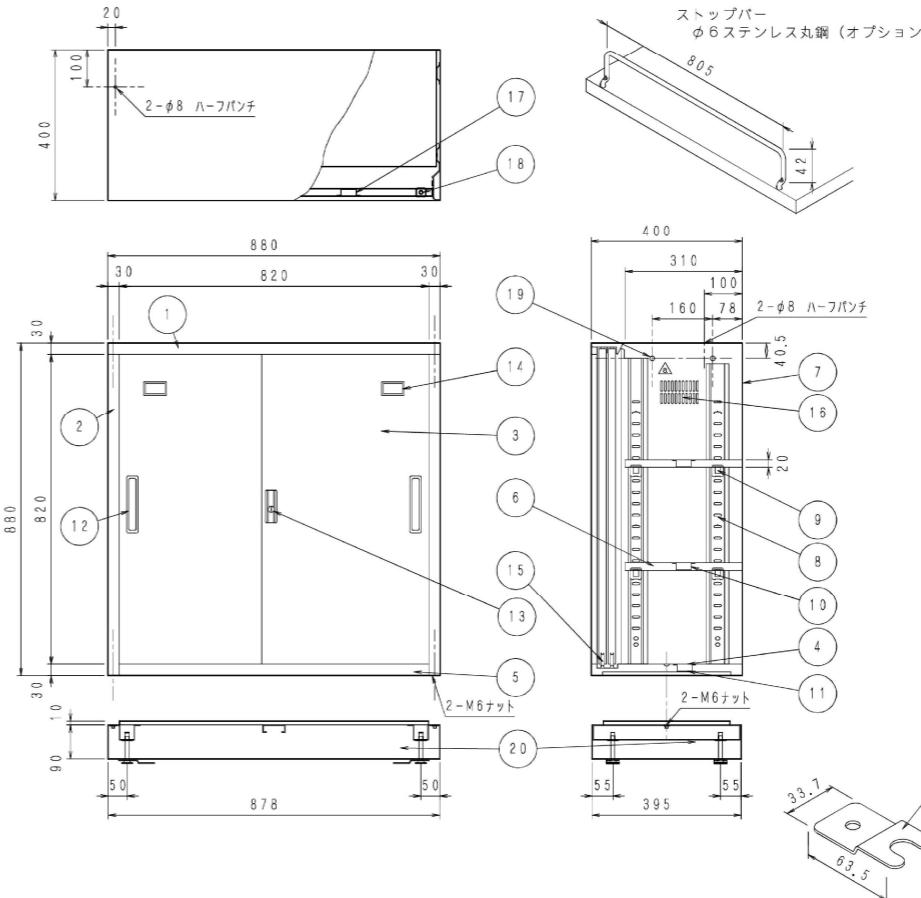


商品名 耐薬引進保管庫 N-9.0 G

構造 組立ては溶接による
棚受穴のピッチは30mmとする

塗装 粉体塗装とする
塗装色 OW色

品番	部品名	数量
1	天板	1
2	側板	2
3	扉板	2
4	底板	1
5	地前カマチ	1
6	棚板	2
7	裏板	1
8	棚受柱	4
9	棚受爪	8
10	棚補強	2
11	地箱強	1
12	引手	2
13	シリンドラー錠	1
14	ガラス	2
15	戸車	4
16	通気孔	1
17	ナイロンスラッシュ	4
18	吊り込み穴	4
19	ベース	1
20	床固定金具	2
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		



商品名 耐薬引進保管庫 N-9.0 D

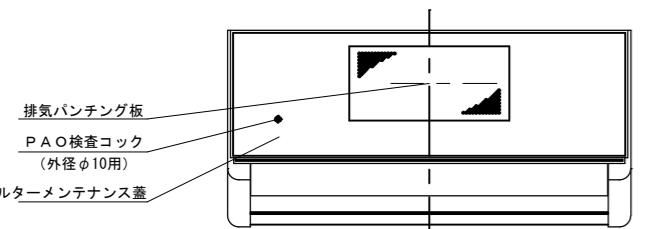
構造 組立ては溶接による
棚受穴のピッチは30mmとする

塗装 粉体塗装とする
塗装色 OW色

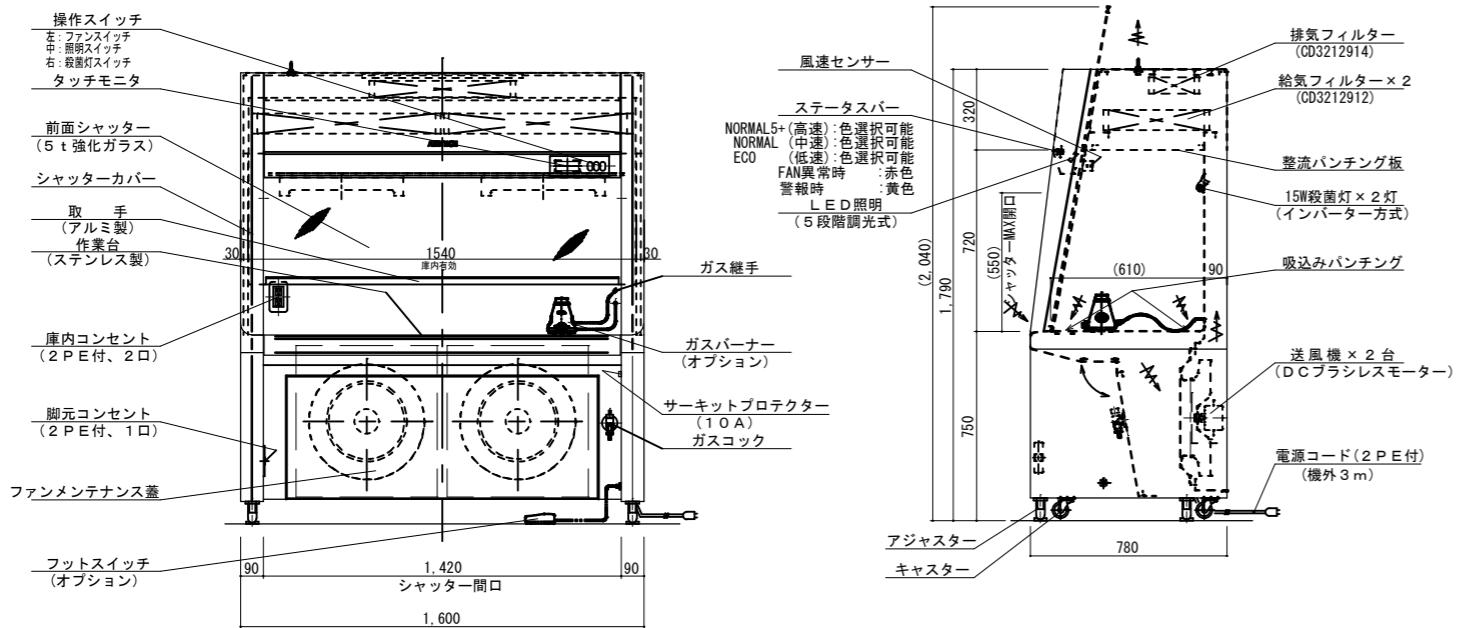
品番	部品名	数量
1	天板	1
2	側板	2
3	扉板	2
4	底板	1
5	地前カマチ	1
6	棚板	2
7	裏板	1
8	棚受柱	4
9	棚受爪	8
10	棚補強	2
11	地箱強	1
12	引手	2
13	シリンドラー錠	1
14	名刺差	2
15	戸車	4
16	通気孔	1
17	扉補強	2
18	ナイロンスラッシュ	4
19	吊り込み穴	4
20	ベース	1
21	床固定金具	2
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		

仕様

庫内清浄度	ISO-5 (クラス100) (検証粒径0.3 μm粒子にて)
集塵効率	0.3 μm粒子 (PAO) にて99.99%以上
集塵要素	給気フィルター: HEPAフィルター 排気フィルター: HEPAフィルター
処理風量	給気: 約1.9.5 m ³ /min (吹出し面積: 0.47×1.54=0.724m ² にて計算) 排気: 約2.2 m ³ /min
吹出風速	平均: 0.45 m/s (NORMAL(中速)時) (個々の風速値は設定値±20%以内。吹出し口下流100mmにて測定)
構造	本体: 鋼板製焼付塗装 作業台、背板、側板: ステンレス製アーライン仕上
照明	4.5W LED照明 (調光式)
殺菌灯	15W×2灯 (インバーター式) (前面シャッターとのインターロック)
塗色	ATC-7 (ホワイトグレー、半艶、抗菌塗装)
電源	AC 100V 1φ 50/60Hz
消費電力	約220W (約300VA) (NORMAL運転+照明 (調光最大設定)+ステータスバー (緑) 点灯時)
重量	約260 kg
その他の	コンセント 庫内2口、脚元1口 (合計5A) ステータスバー 風速切替可能 (NORMAL+高速) / NORMAL(中速) / ECO(低速)
オプション	ガスバーナー/フットスイッチ、パキューム配管、オートビペット HEPAフィルター差圧計 (給気/排気)、固定式ハンガーバイブ



【平面図】



【正面図】



販売名	ハイクーレープ HV-II			
型式	HV-25ⅡLB	HV-50ⅡLB	HV-85ⅡLB	HV-110ⅡLB
有効容量	25L	50L	85L	110L
缶内寸法 (φ x H mm)	240 x 550			
選択コース	5コース(液体・器具・廃棄物・寒天・溶解) ※計8メモリーに登録			
温度設定	滅菌※1 105~121°C 可変式	105~135°C 可変式	105~128°C 可変式	105~123°C 可変式
溶解※1	60~100°C 可変式			
保温	45~60°C 可変式			
フタロック※1	液体、寒天、溶解コース 60~95°C 可変式 / 器具、廃棄物コース 60~97°C 可変式			
時間設定	滅菌 1~250分 残時間表示方式	溶解 1~60分 残時間表示方式	保温 24時間 (固定)	予約 1分後~1時間後 スタート時間設定方式
空気抜き	3段階 (無・微少・少)			
排気設定	3段階 (無・微少・少)			
最高使用圧力	0.137MPa	0.255MPa	0.196MPa	0.157MPa
温度計	デジタル表示5.0~123.9°C	デジタル表示5.0~137.9°C	デジタル表示5.0~130.9°C	デジタル表示5.0~125.9°C
圧力計	デジタル表示0~0.3MPa / アナログ表示 0~0.4MPa			
安全装置	圧力安全弁・漏電及び過電流ブレーカー・空気防止装置			
警報装置・エラー表示	空だき・温度センサ断線・過温・過冷・過圧・フタ異常・開閉レバー異常			
外寸法 (W x D x H mm)	485 x 470 x 949	547 x 532 x 1046	667 x 652 x 1026	667 x 652 x 1206
重量 (約)	44 kg	60 kg	83 kg	89 kg
圧力容器の種類	簡易圧力容器	小型圧力容器		
缶体材質	ステンレス (SUS304)			
電源	AC100V (1.5kW) 15A	AC100V (2.0kW) 20A	AC200V (3.0kW) 15A	AC200V (4.0kW) 20A
必要な電源設備	単相AC100V (50/60Hz) 15A以上 ※125V15Aコンセントは非推奨	単相AC100V (50/60Hz) 20A以上 ※125V15Aコンセントは非推奨	単相AC200V (50/60Hz) 15A以上	単相AC200V (50/60Hz) 20A以上
電源接続形状 (コード長)	アース付 (3m)	丸端子 (3m)		
付属品	金網カゴ (2個)・スノコ・排水ホース・排気ホース・排気ボトル・ドレン回収ボトル・インシユロック・キャスター (2個)			
価格	¥580,000 (税込 ¥638,000)	¥680,000 (税込 ¥748,000)	¥840,000 (税込 ¥924,000)	¥965,000 (税込 ¥1,061,500)

※1 準点の設定値により上限値が変わります。(HV-25ⅡLBを除く)
※ 外寸法のD寸法には、フタ開閉スライドレバーは含まれていません。
※ 備考、仕様、外観などは予告なく変更する場合があります。



バックミキサー(イーミックスプリモ) (3-3631-01)

E-Mix primo

この度は、当製品を御購入頂き、誠にありがとうございます。御使用の前にこの説明書をお読みください。

外観図

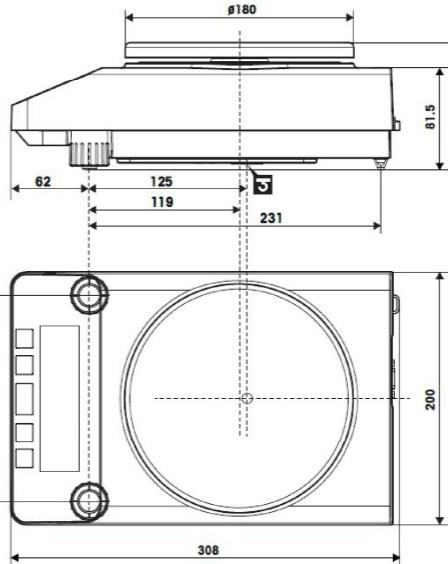
仕様

型番	E-Mix primo
サイズ	220×400×240mm
重量	15kg
サンプル処理容量*	50~400ml
ストローク回数	8回/秒
タイマー設定	30・60・90・120・150・180・210秒・連続の8段階
電源	AC100V 50/60Hz.

*内容物によりあふれる場合がありますのでご注意ください。

最小表示 10 mg 天びん

mm表示による寸法



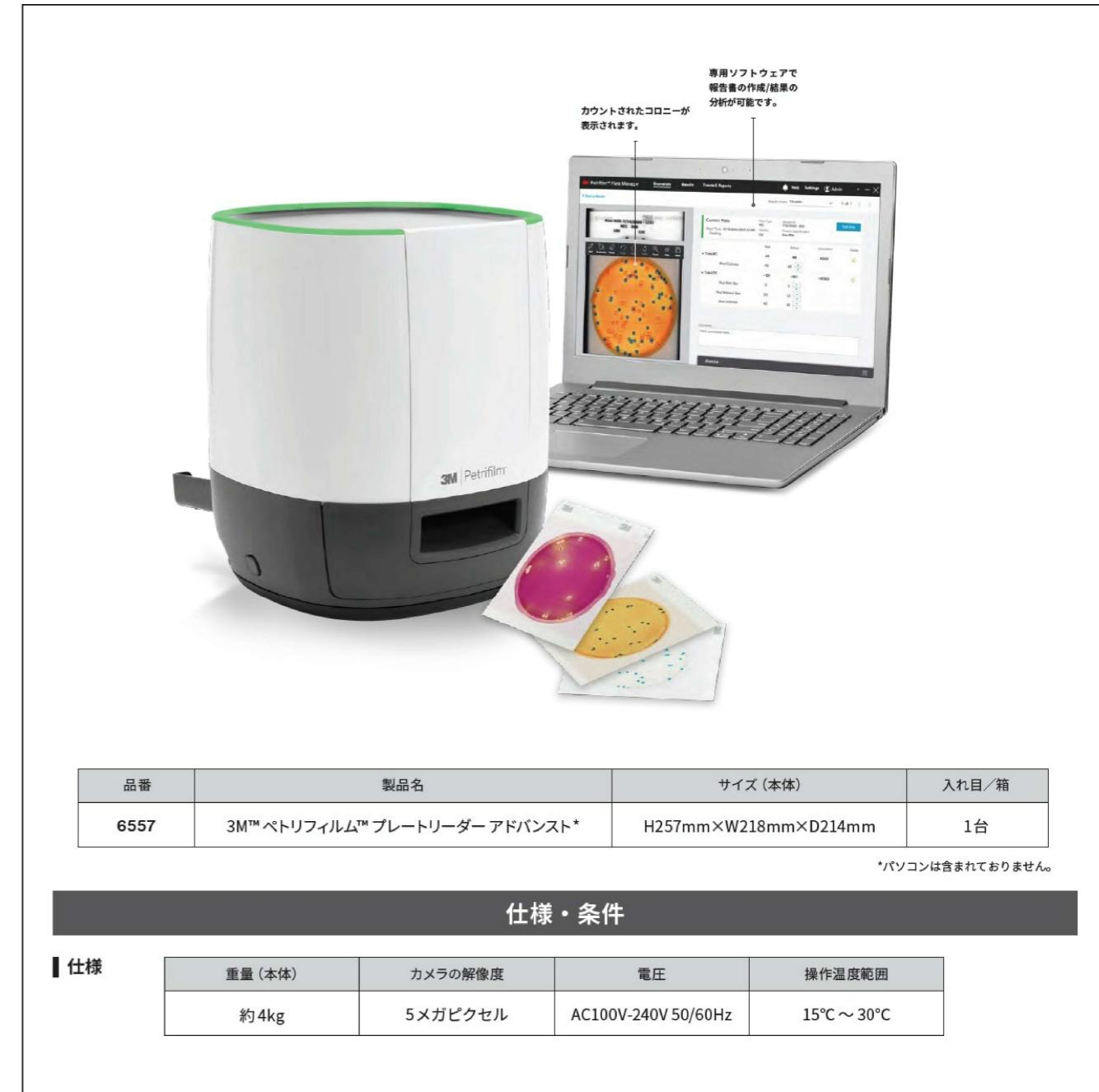
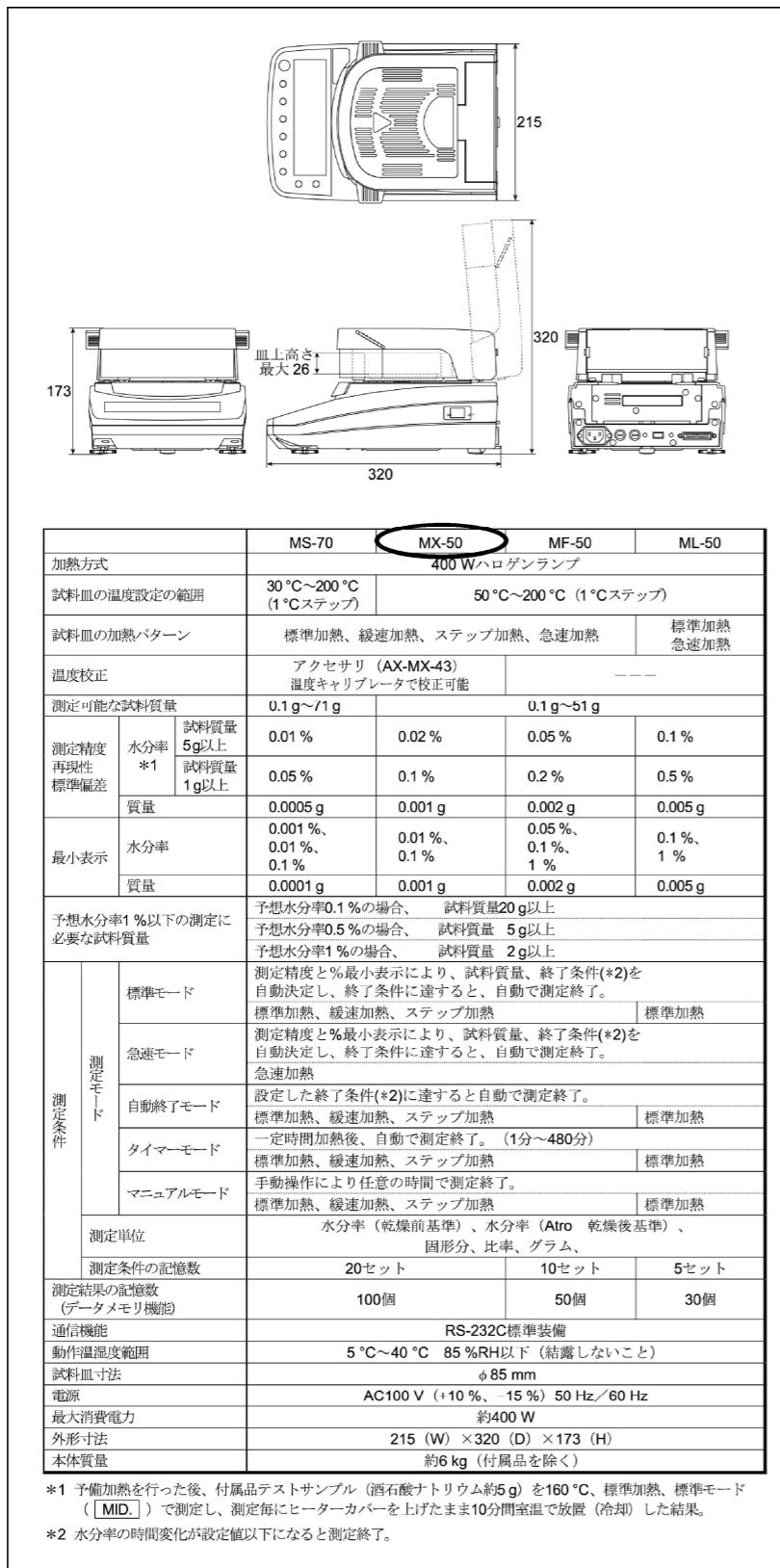
↔	外形寸法 [mm]
↔	クリアな寸法 [mm]
▣	計量フック軸の位置

最小表示 10 mg 天びん

	LA2002E	LA4002E
限界値		
最大ひょう量	2200 g	4200 g
公称荷重	2000 g	4000 g
最小表示	10 mg	10 mg
繰返し性 (5%荷重時)	10 mg	10 mg
直線性	20 mg	20 mg
偏置誤差 (試験荷重時)	40 mg (1000 g)	40 mg (2000 g)
感度オフセット (公称荷重時) ▲	-	-
感度・温度ドリフト	0.0004%/°C	0.0004%/°C
代表値		
繰返し性 (5%荷重時)	7 mg	7 mg
直線性	6 mg	6 mg
偏置誤差 (試験荷重時)	20 mg (1000 g)	20 mg (2000 g)
感度オフセット (公称荷重時) ▲	-	-
最小計量値 (USP、許容管理値=0.10%) ▼	14 g	21 g
最大計量値 (許容管理値=1%) ▼	1.4 g	1.4 g
安定時間	2 s	2 s
寸法及びその他の仕様		
天びん寸法 (幅×奥行き×高さ)	200×308×102 mm	200×308×102 mm
計量皿直径	180 mm	180 mm
風防有効高	-	-
天びん重量	3.1 kg	3.1 kg
日常点検用分銅		
分銅 (OIMLクラス)	2 kg (F2) / 100 g (F2)	2 kg (F2) / 200 g (F2)
分銅 (ASTMクラス)	2 kg (ASTM 1) / 100 g (ASTM 1)	2 kg (ASTM 4) / 200 g (ASTM 4)

▲内蔵分銅による調整後

▼5%荷重、k = 2の条件にて





製品仕様

型番	乾熱滅菌器（自然対流式）		
	KM-300V(-R)	KM-450V(-R)	KM-600V(-R)
温度制御範囲	室温+20~250°C		
最高温度到達時間	約25分	約25分	約50分
温度変動(JIS)	±3°C(at 250°C)		
温度勾配(JIS)	16°C(at 250°C)	21°C(at 250°C)	15°C(at 250°C)
温度制御方式	PID制御、SSR出力		
付加機能	タイマー(ONタイマー・OFFタイマー・SVスタート・ON/OFFタイマー)		
安全装置	デジタル設定式過昇防止機能・過電流ブレーカー・バーンアウト機構(センサー断線時ヒーターOFF)		
ヒーター容量	800W	1400W	
温度センサー	K熱電対×2個(温調用・過昇防止用×各1本)		
庫内容量	約30ℓ	約91ℓ	約150ℓ
棚ピッチ・段数	35mm ピッチ・6段	35mm ピッチ・10段	35mm ピッチ・11段
外装/内装	スチール粉体塗装/SUS304(一部SUS443J1)		
排気口	φ32mm ×1個		φ32mm ×2個
外寸法	400×447×610mm	550×567×760mm	700×617×810mm
重量	約25kg	約40kg	約50kg
電源	AC100V 50/60Hz コード長:2.4m(3Pプラグ)		
定格電流	11.5A	13.5A	14.5A
棚板耐荷重	15kg	5kg	
付属品	棚板×2枚・棚板レール×2組		

※温度変動、勾配の測定方法についてはAXELをご参照ください。

※庫内無負荷時の値です。試料状況により値は変わります。

※実測値であり、保証値ではありません。



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

-

発行

2025.10

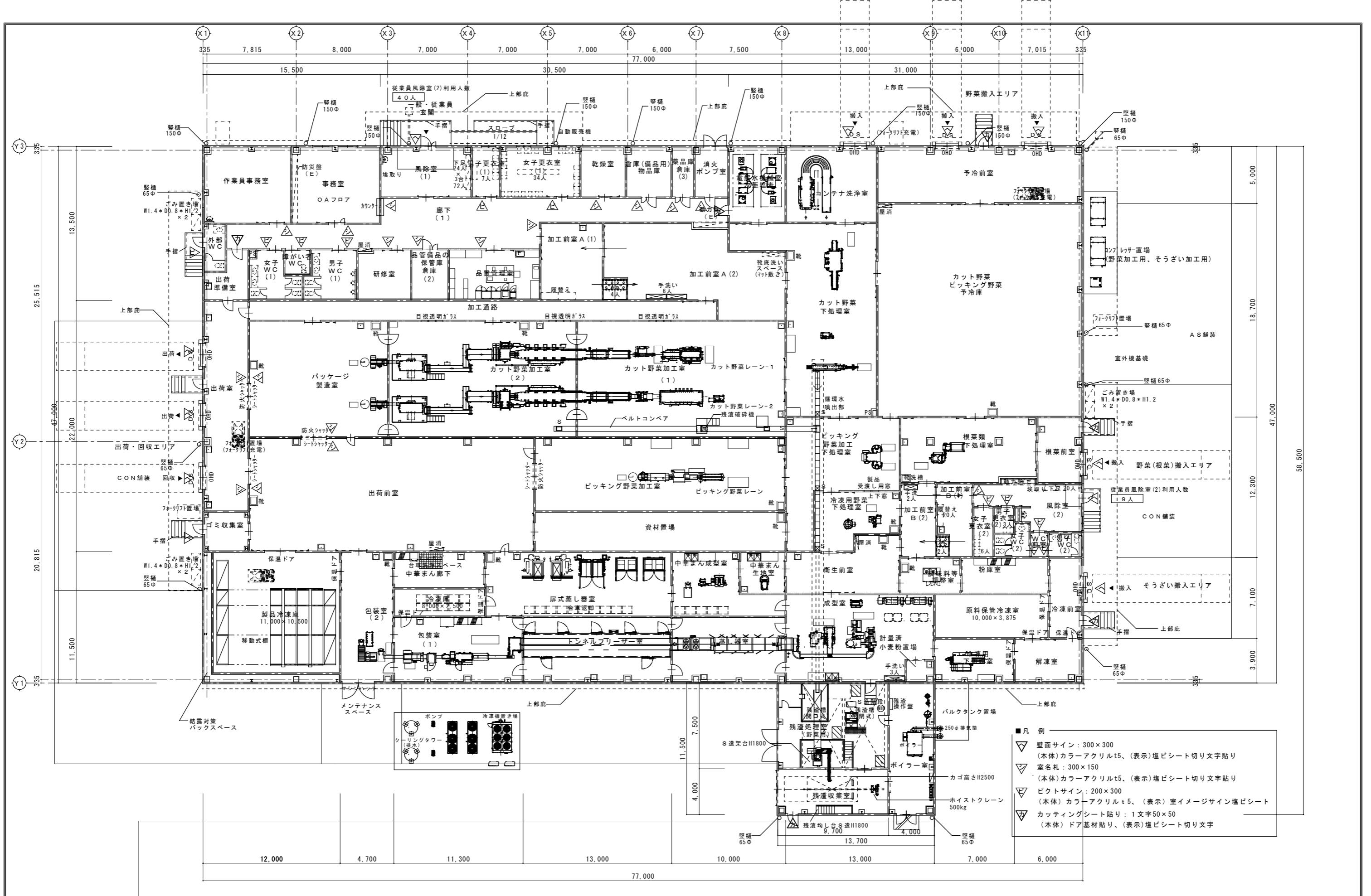
認

-

工
主
名
称
家具 団 1 O図
名
称
-部
長
-次
長
-審
査
者
-担当
者
-管
理
者
-

川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事

規
格
A-138規
格
-規
格
-



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県第2321018号

77,000

■凡例	
▽	壁面サイン: 300×300 (本体)カラーアクリルt5、(表示)塩ビシート切り文字貼り
▽	室名札: 300×150 (本体)カラーアクリルt5、(表示)塩ビシート切り文字貼り
▽	ピクトサイン: 200×300 (本体)カラーアクリルt5、(表示)室イメージサイン塩ビシート
▽	カッティングシート貼り: 1文字50×50 (本体)ドア基材貼り、(表示)塩ビシート切り文字

発行 2025.10	認 サインキーブラン	工事名 川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事	監督 一級建築士登録 第101316号	監修 一級建築士登録 第289308号	監査 伏見 勇男
部長 次長 審査 担当 [] [] [] []	監督者 []	監修者 []	監査者 []	監査者 []	監査者 []

A-1/150
A3:1/300

壁面サイン 数量: 11ヶ所

アクリル(茶) t 5.0+捨て板 t 3.0
シート切文字貼

出荷室

300

300

部屋名	数量
風除室(1)	1
出荷室	3
ゴミ収集室	1
冷凍前室	1
風除室(2)	1
根菜前室	1
予冷前室	2
コンテナ洗浄室	1

室名札 数量: 18ヶ所

アクリル(茶) t 5.0+捨て板 t 3.0
シート切文字貼

事務室

150

300

部屋名	数量
事務室	2
作業員事務室	1
乾燥室	1
物品庫	1
倉庫(3)	1
消火ポンプ室	1
加工前室 A(1)	1
品質管理室	1
倉庫(2)	1
研修室	1
出荷室	2
パッケージ製造室	2
出荷前室	2
風除室(2)	1

ピクトサイン 数量: 11ヶ所

アクリル(茶) t 5.0+捨て板 t 3.0
シート切文字貼

男子更衣室

300

200

部屋名	数量
外部WC	1
女子WC(1)	1
障害者WC	1
男子WC(1)	1
男子更衣室(1)	1
女子更衣室(1)	1
女子更衣室(2)	1
男子更衣室(2)	1
WC前室	1
女子WC(2)	1
男子WC(2)	1

壁面サイン 数量: 6ヶ所

出荷室

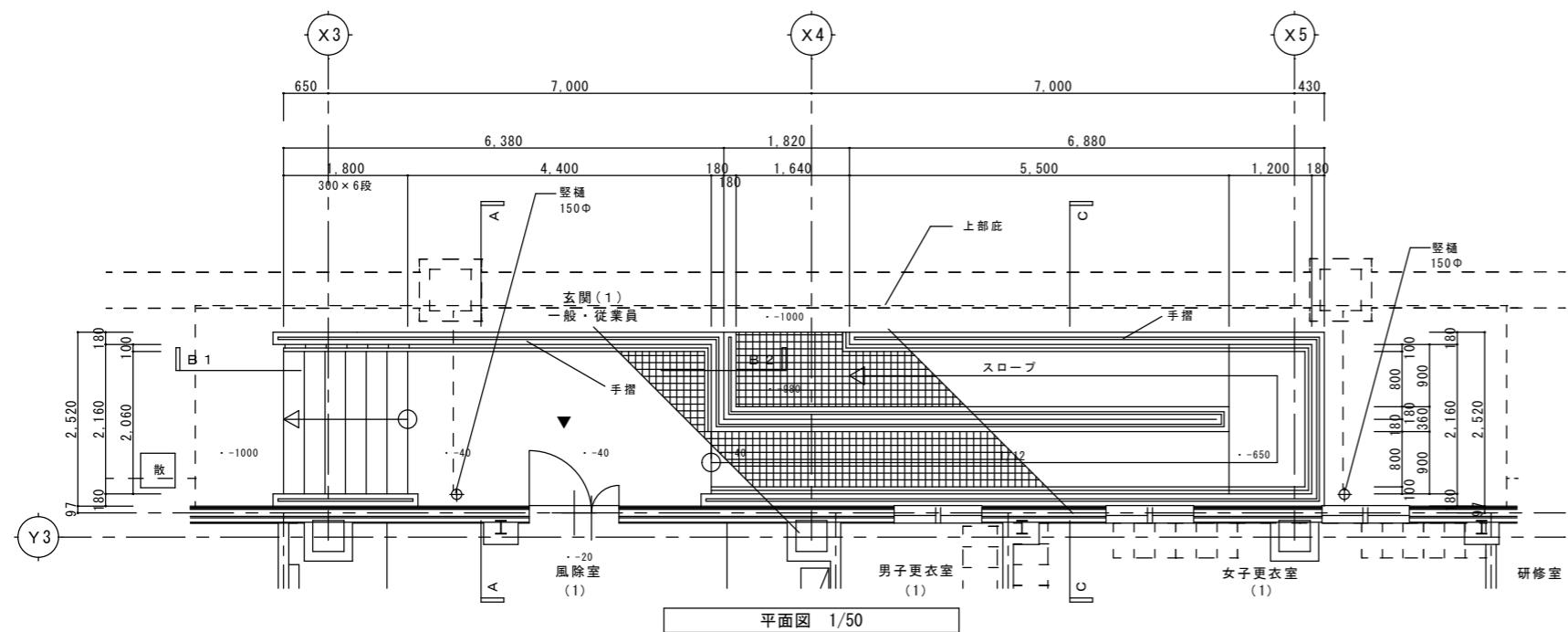
60

60

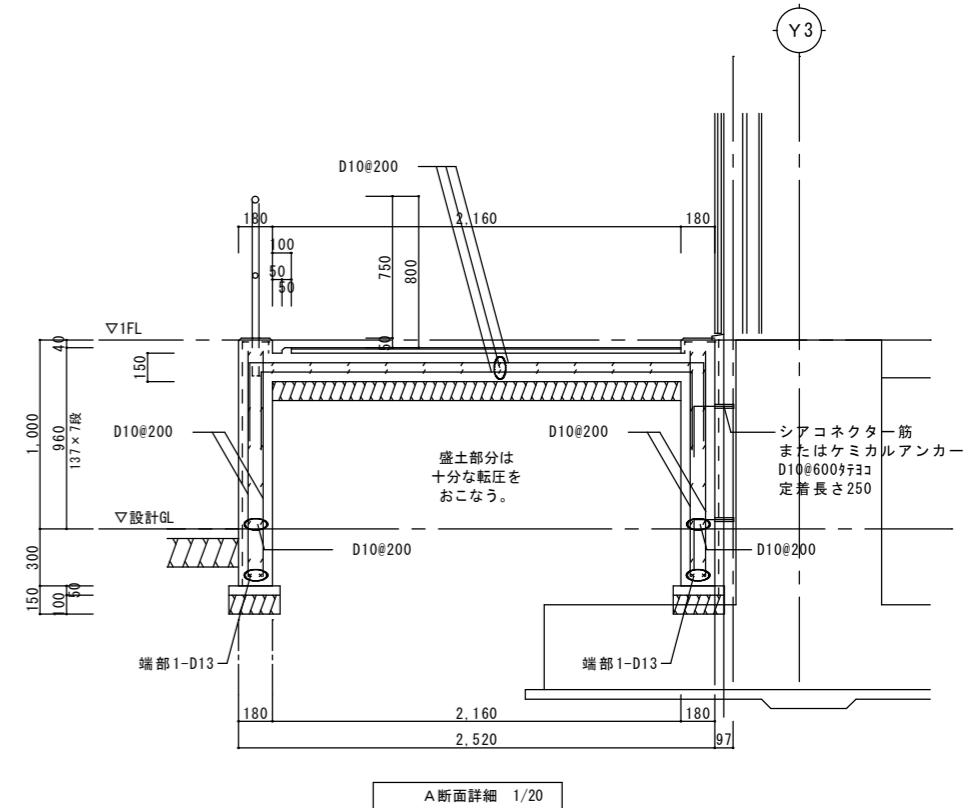
部屋名	数量
出荷準備室	1
電解水機械室次亜塩素	1
予冷前室	1
根菜前室	1
冷凍前室	1
残渣収集室	1

※シート色、文字数は
打合せにより決定

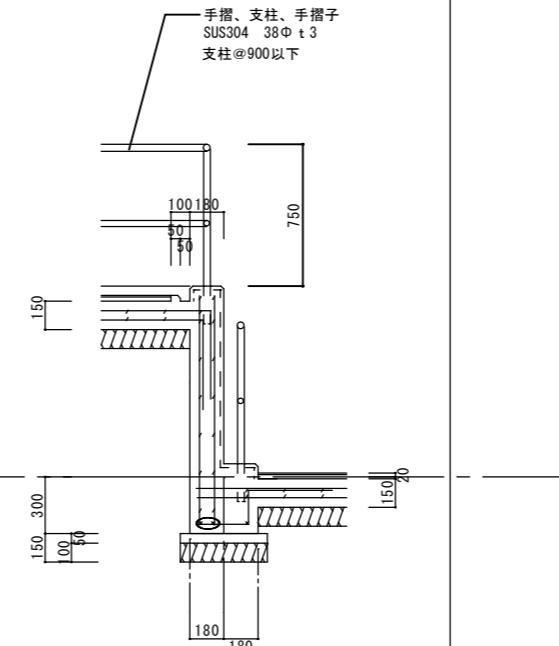
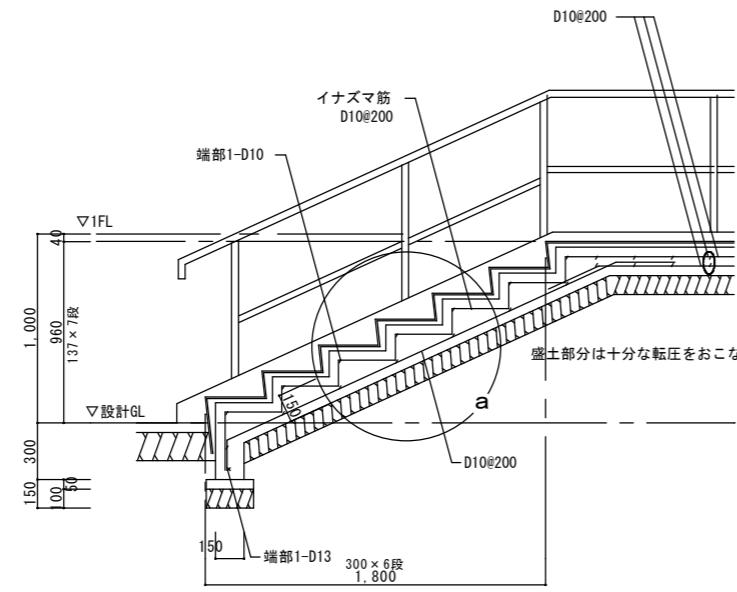
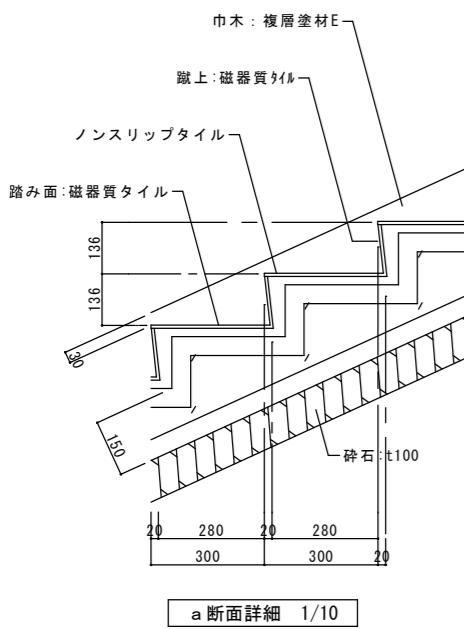
玄関(1)外部階段・スロープ詳細図



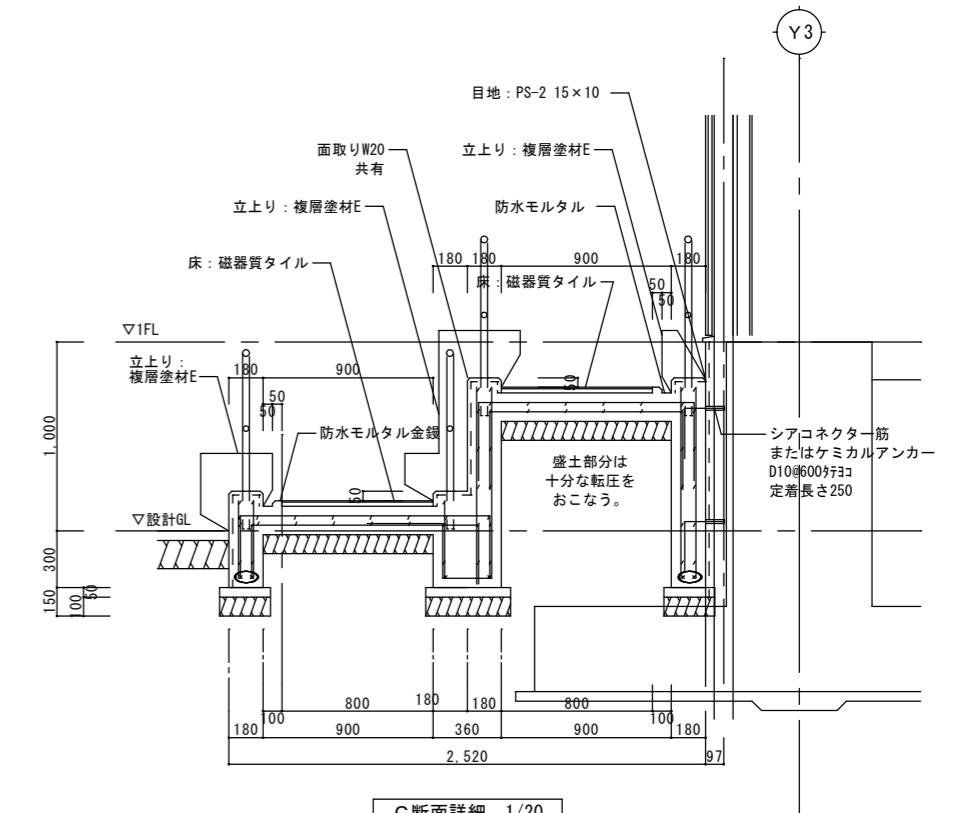
A 断面詳細図

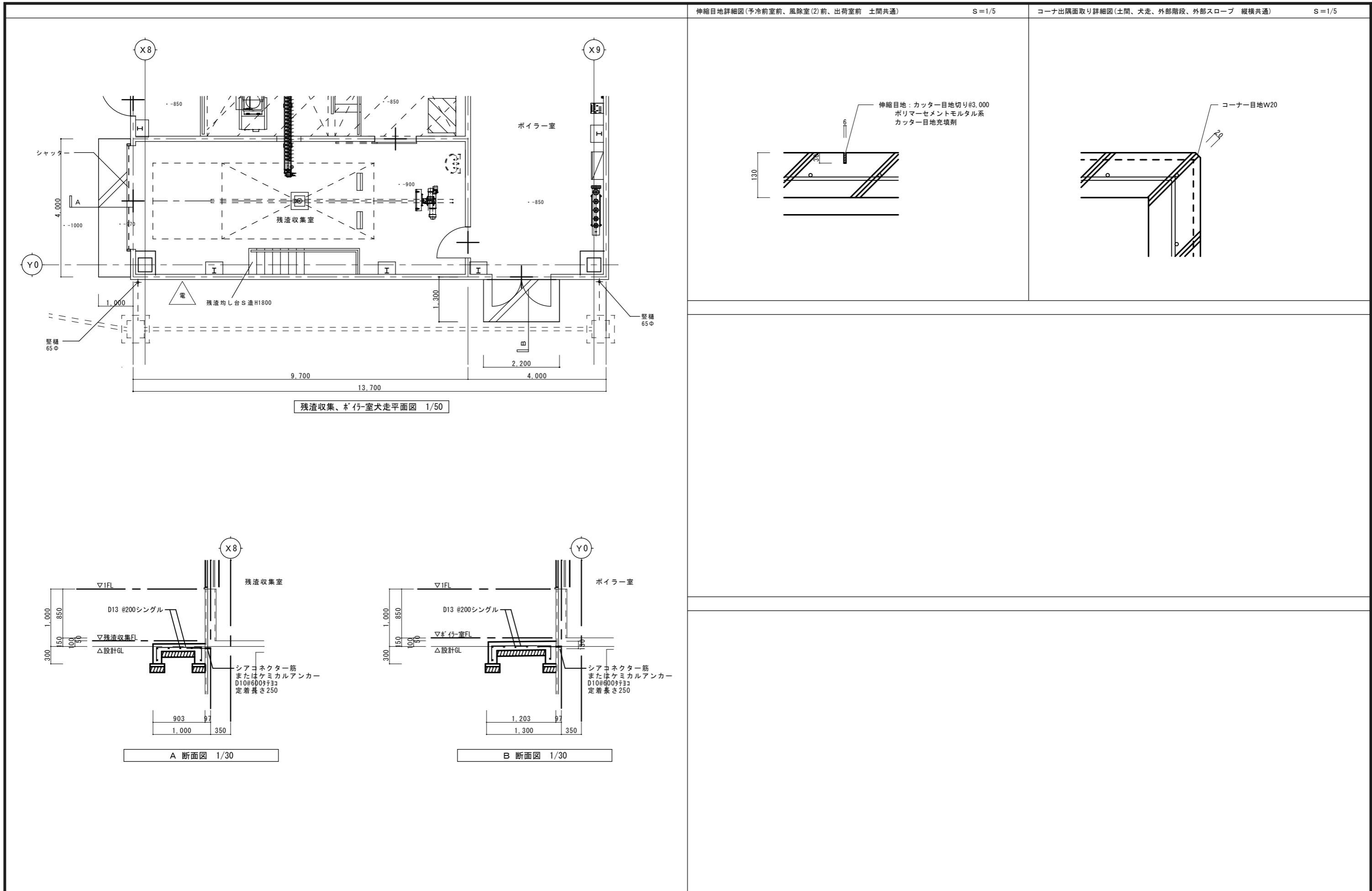


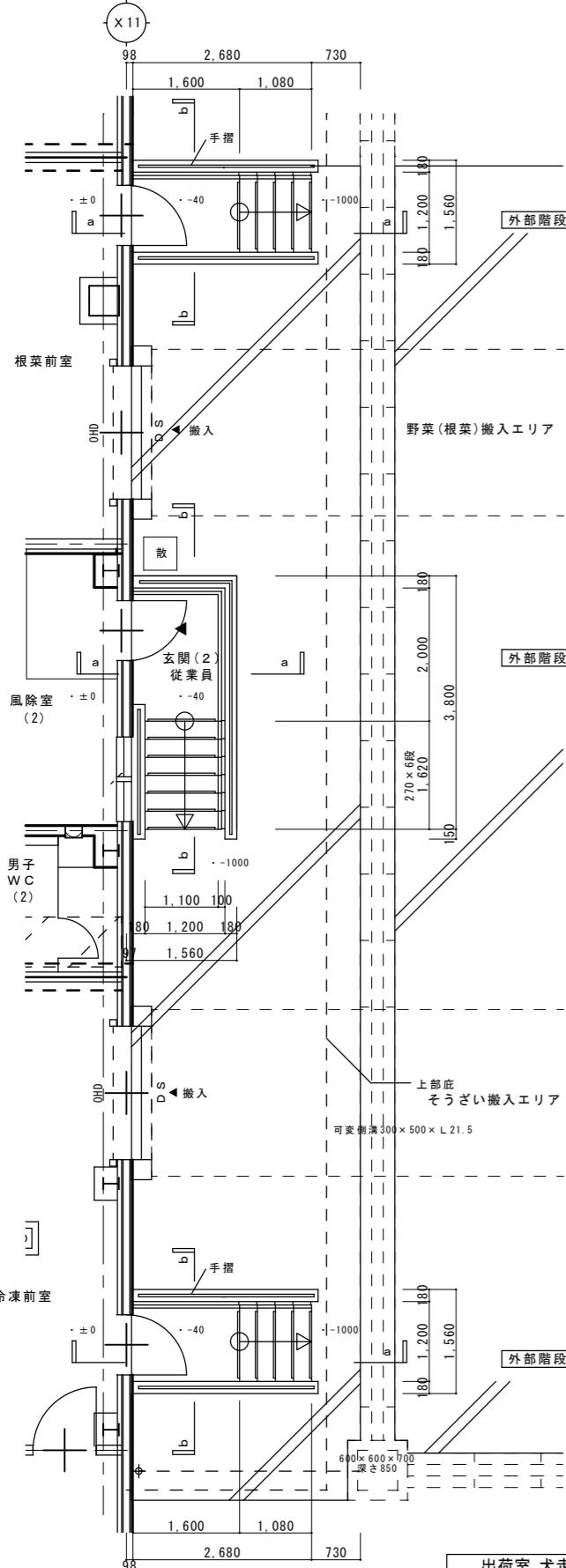
B 断面詳細図



C 断面詳細図







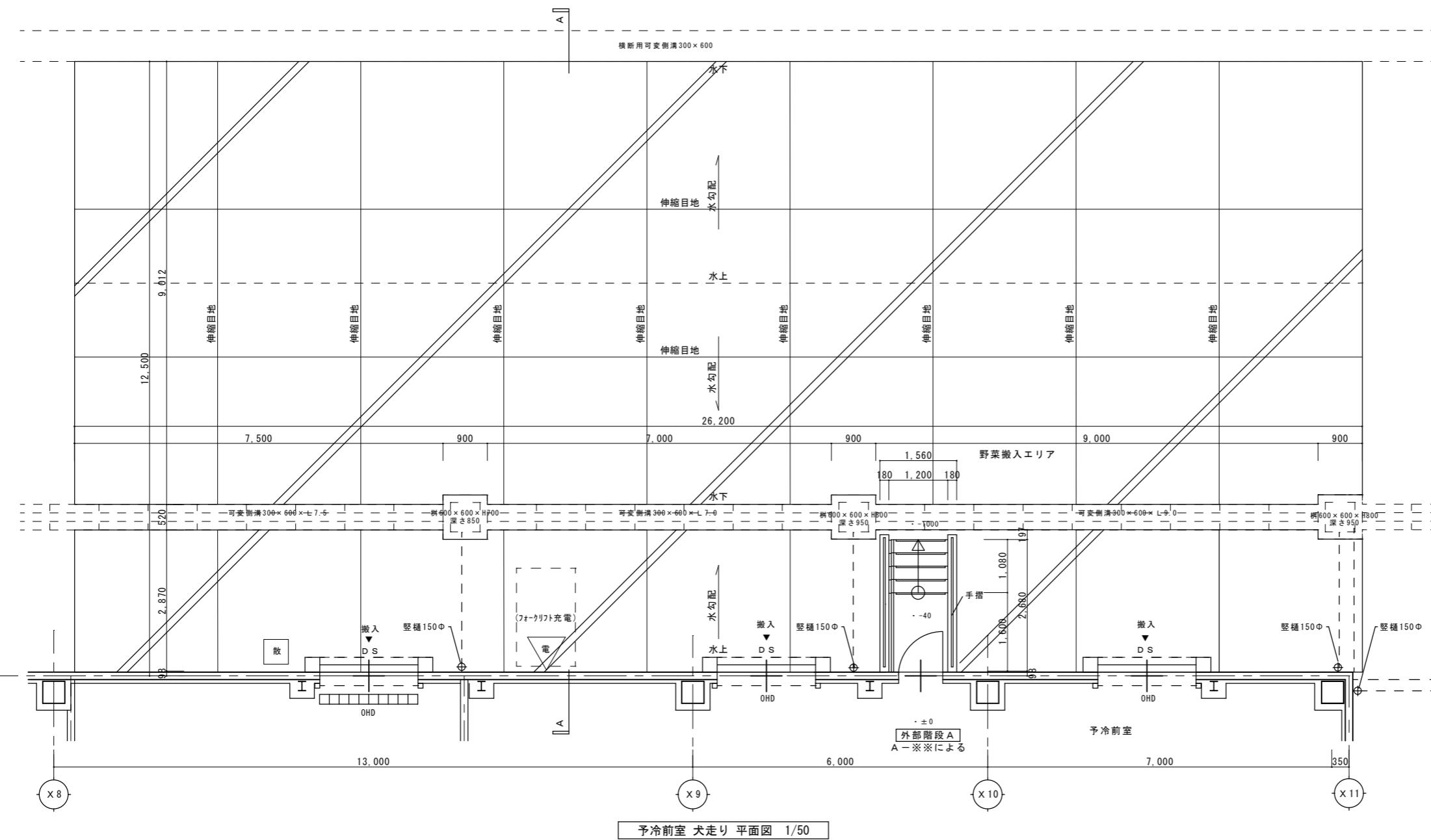
出荷室 犬走り 平面図 1/50



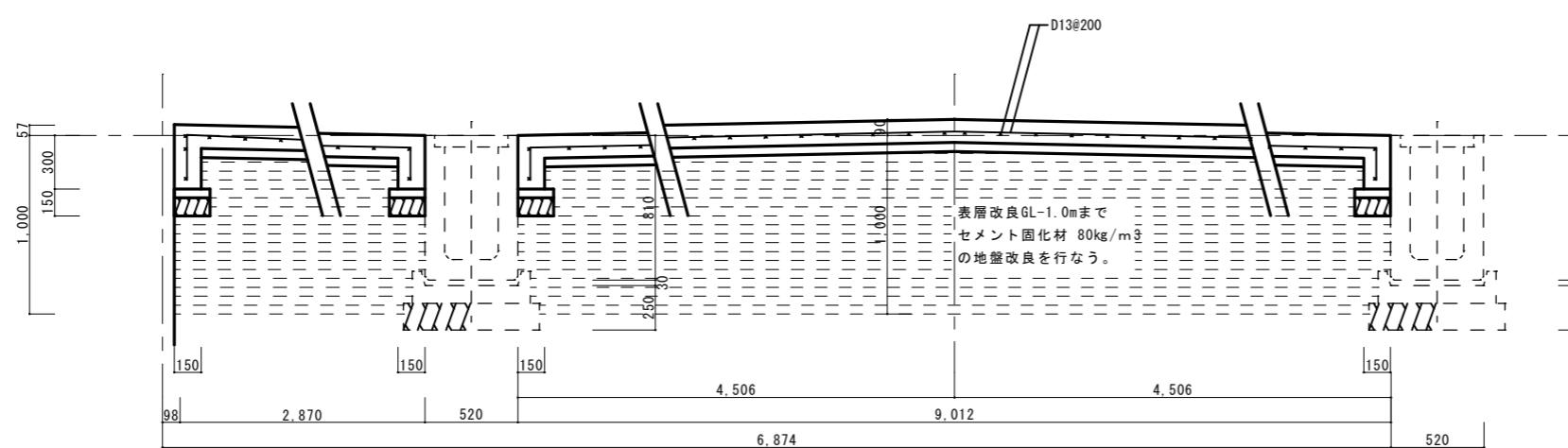
株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-222-2222
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正	
4-2397	



予冷前室 犬走り 平面図 1/50



予冷前室 犬走り A断面図 1/20

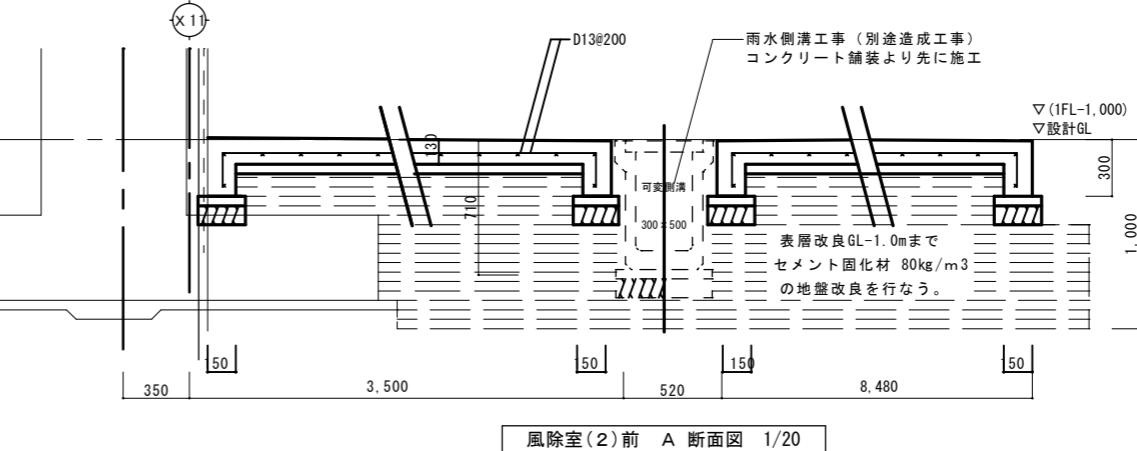
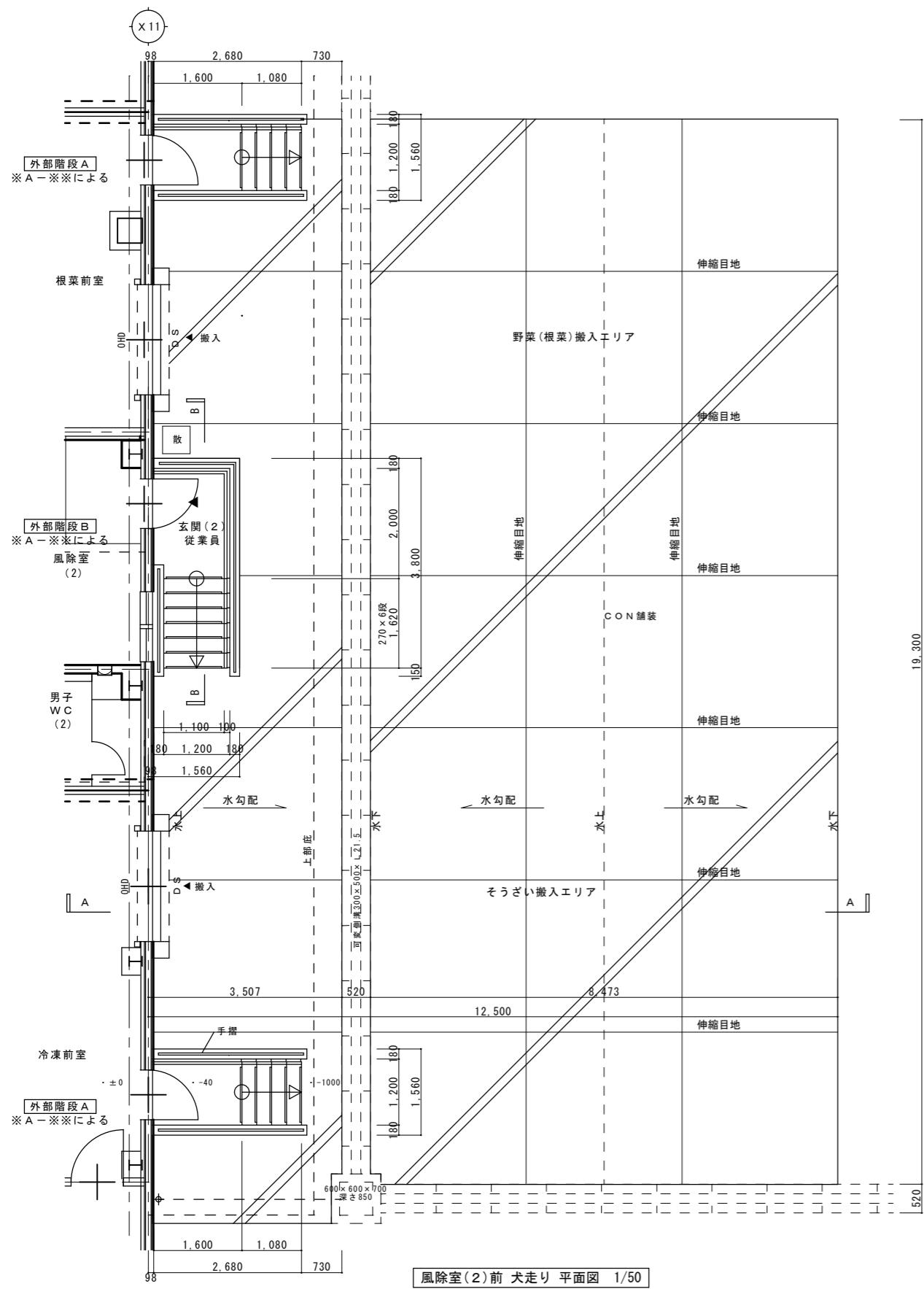


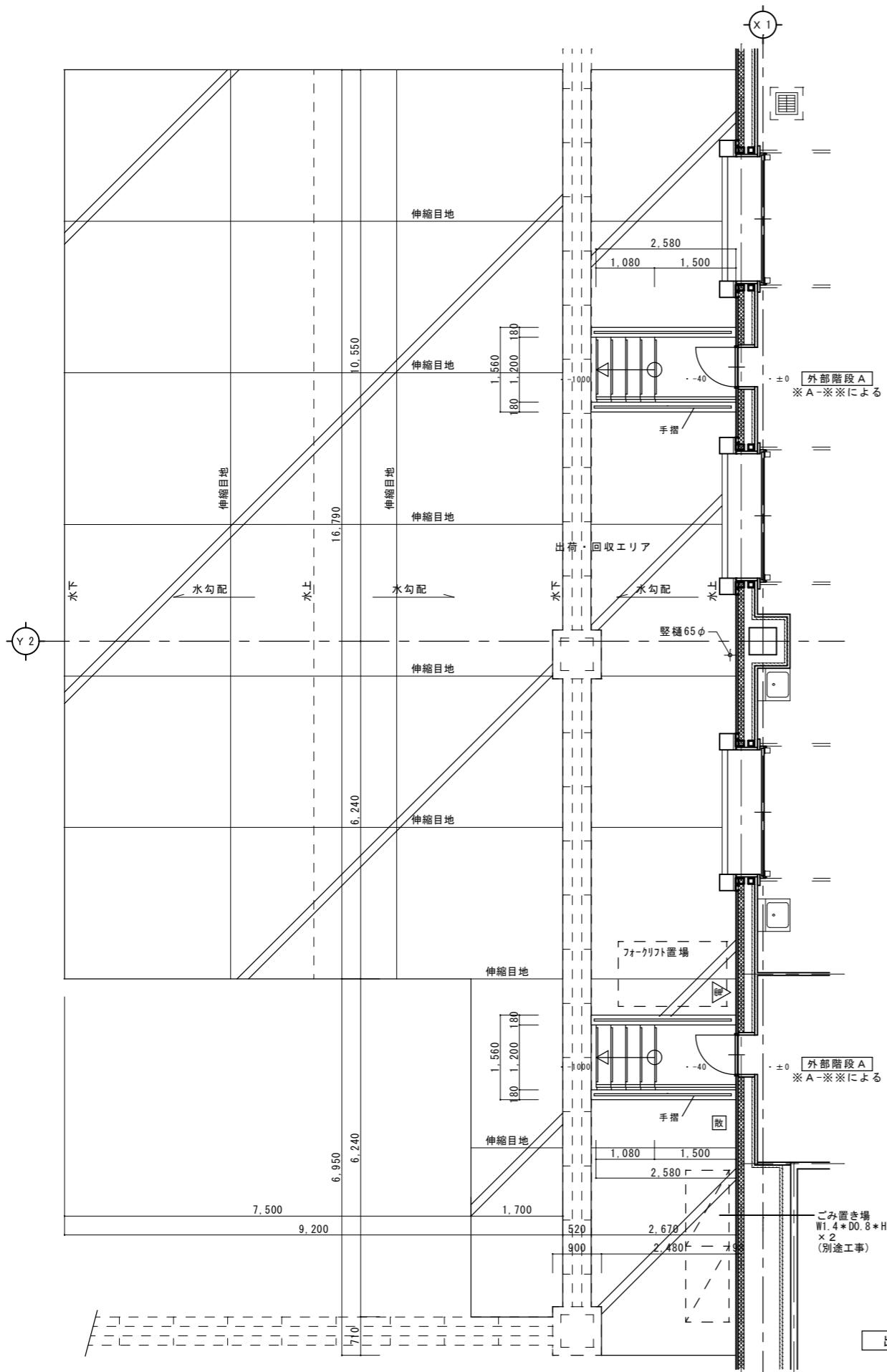
株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-980-0011
TEL(代表) 022-222-6887 FAX 022-224-
事務所登録 宮城県 第23210188号

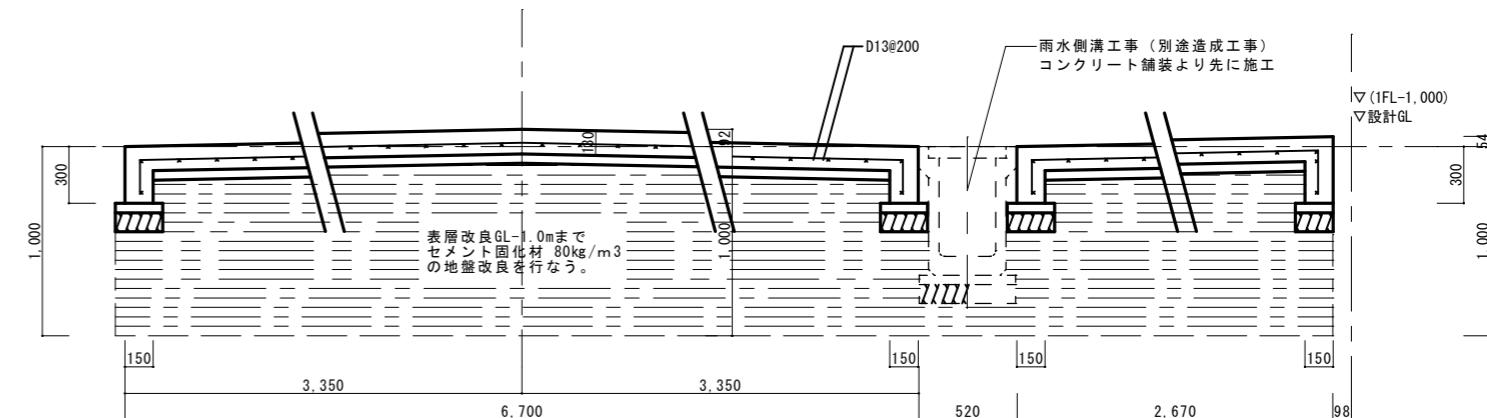
397 王正

	発行 2025.10	認 可	工事名 川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事	認 可	A-1 4 4
	部長 次長 審査 担当	固有名 外部 R C 4		准 許	
	管理者 栗原憲昭 第101316号	一级建築士登録 第289308号	設計者 伏見勇男	免 除 A1: 図示 A3: 図示	





出荷室前 犬走り 平面図 1/50

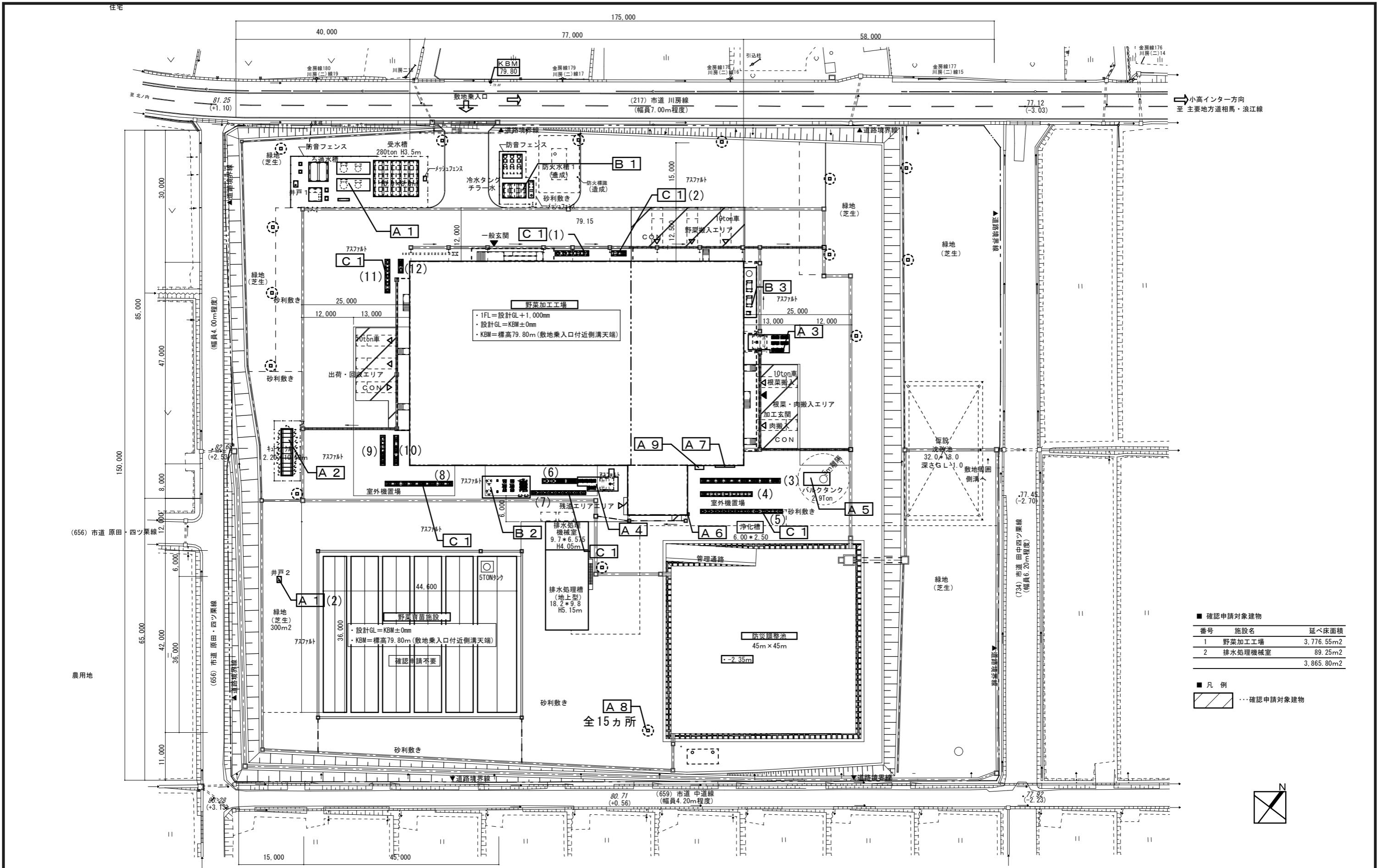


株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事				A-146
外部 R C 6				
発行 2025.10	認 印	担当 者名	監理 者名	
部長 次長 審査 担当				
一級建築士登録 第101316号	栗原 憲昭	一級建築士登録 第289308号	伏見 勇男	
監理 者名	監理 者名	監理 者名	監理 者名	
A1 図示	A2 図示	A3 図示	A4 図示	



株式会社 盛総合設計

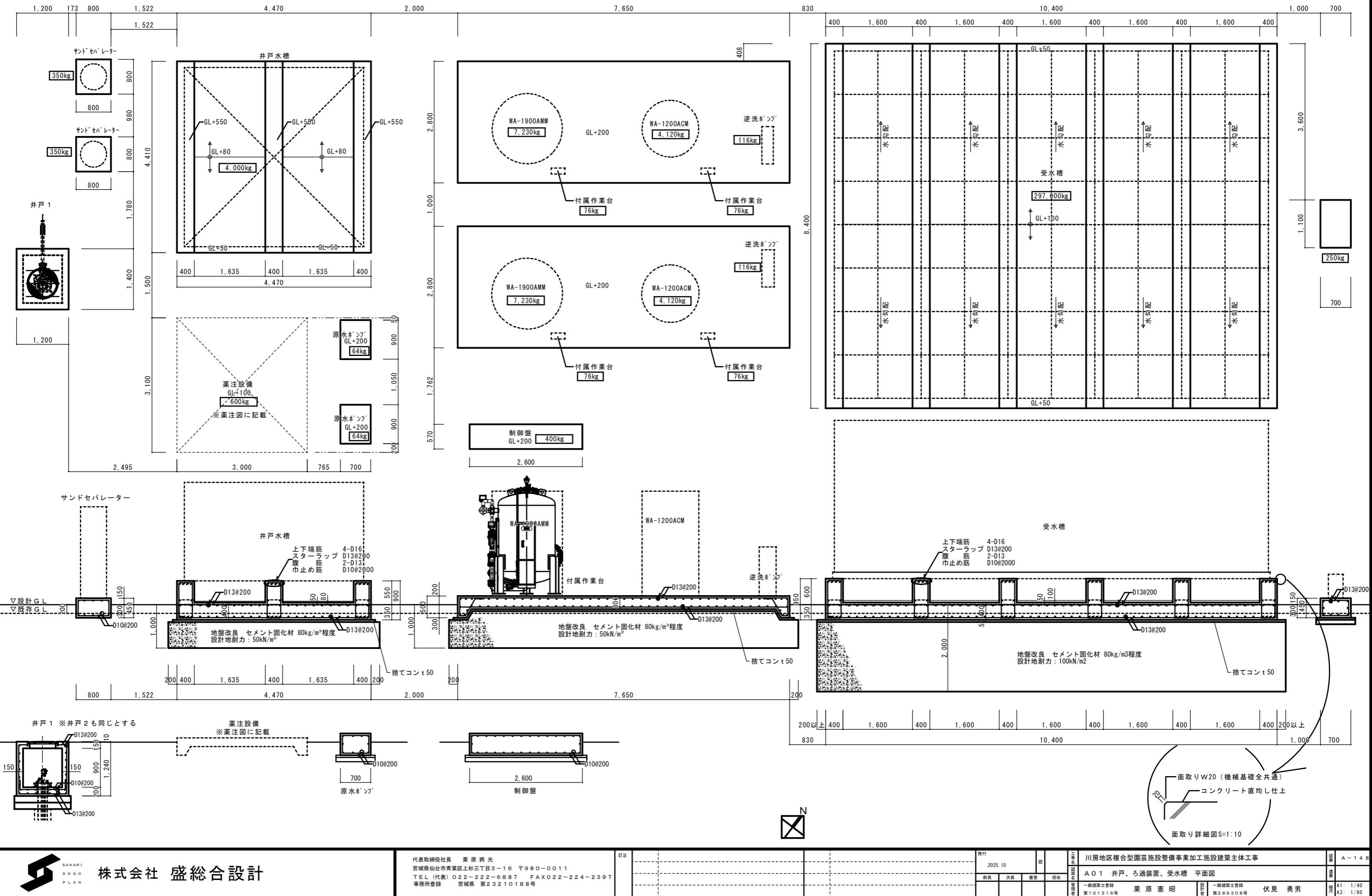
代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事					A-147
発行	認	担当	図名	井戸位置等検討	監査者
2025.10					
部長	次長	審査	配置図(井戸位置等検討)		

一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭 証書者 伏見勇男

一級建築士登録 第289308号 伏見勇男

凍結深度50（設計では300程度見込む）



外部基礎 A 2 受変電設備基礎詳細図

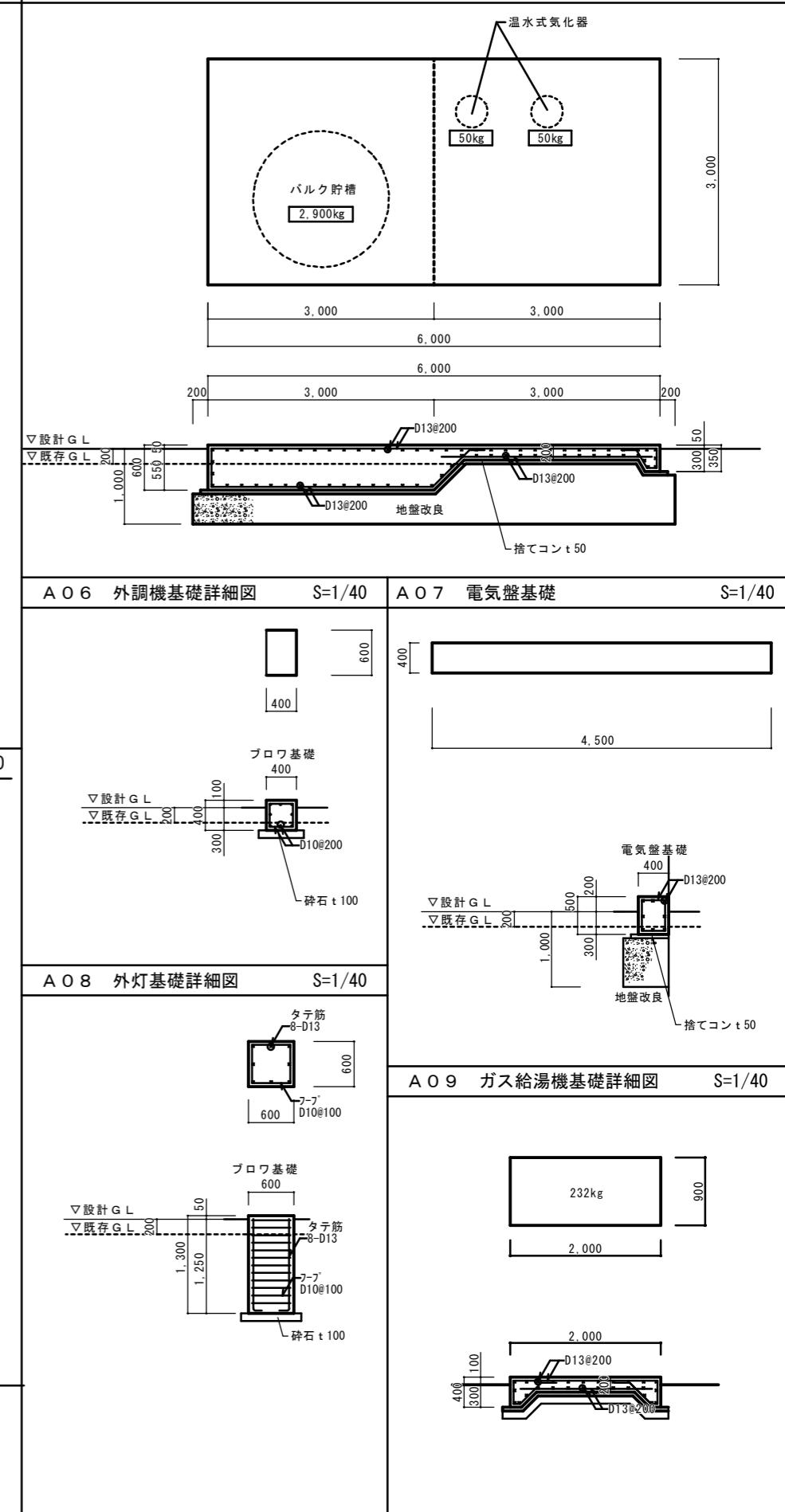
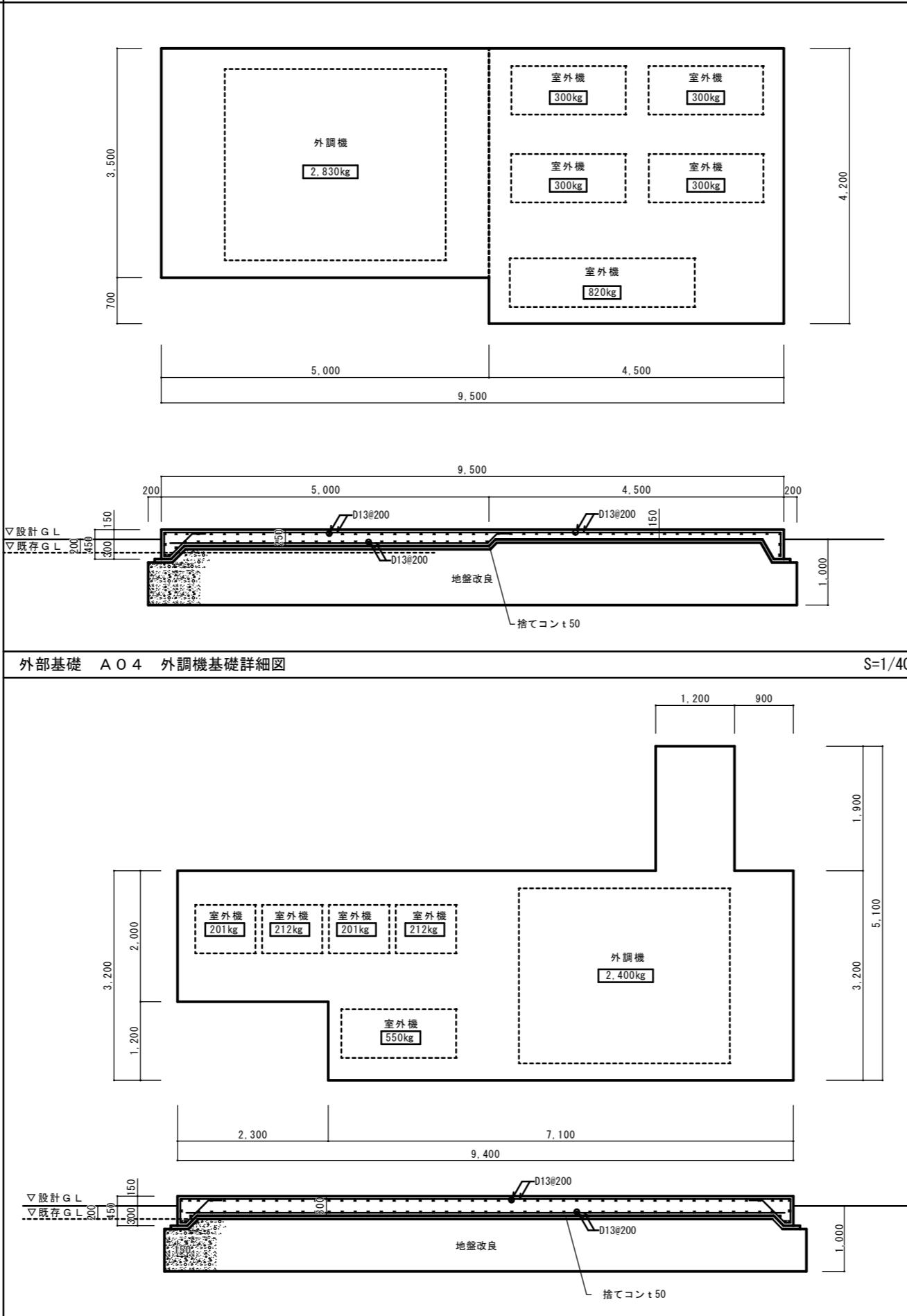
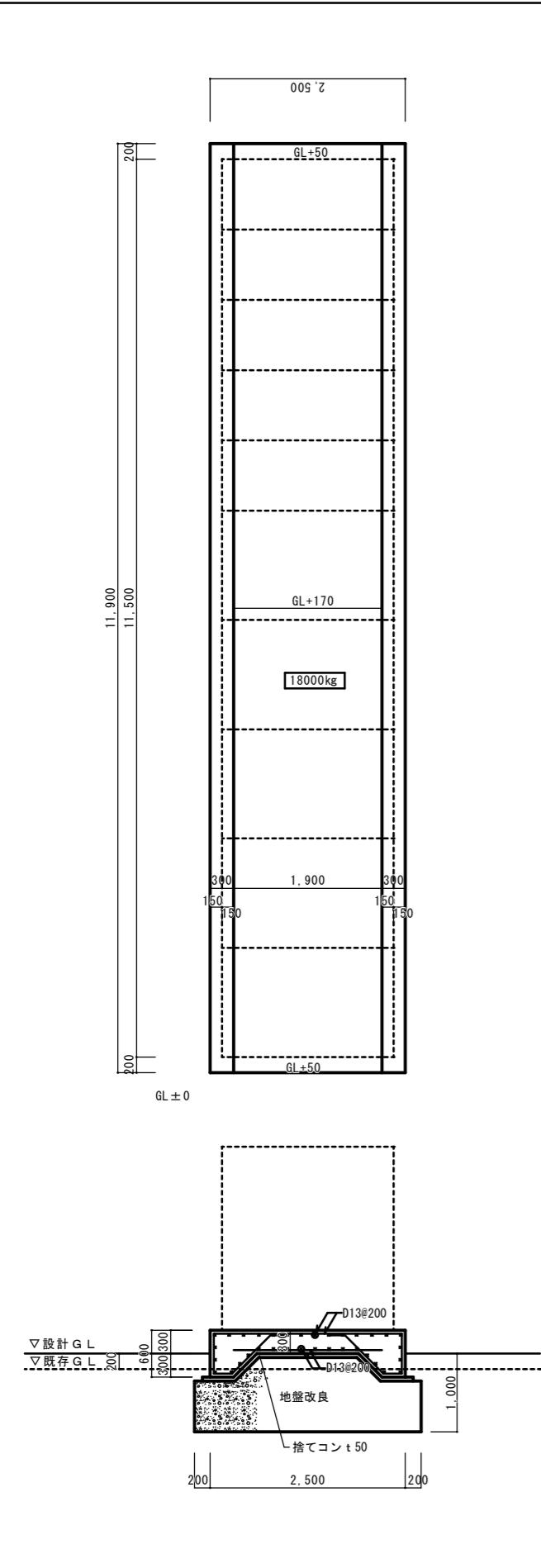
S=1/40

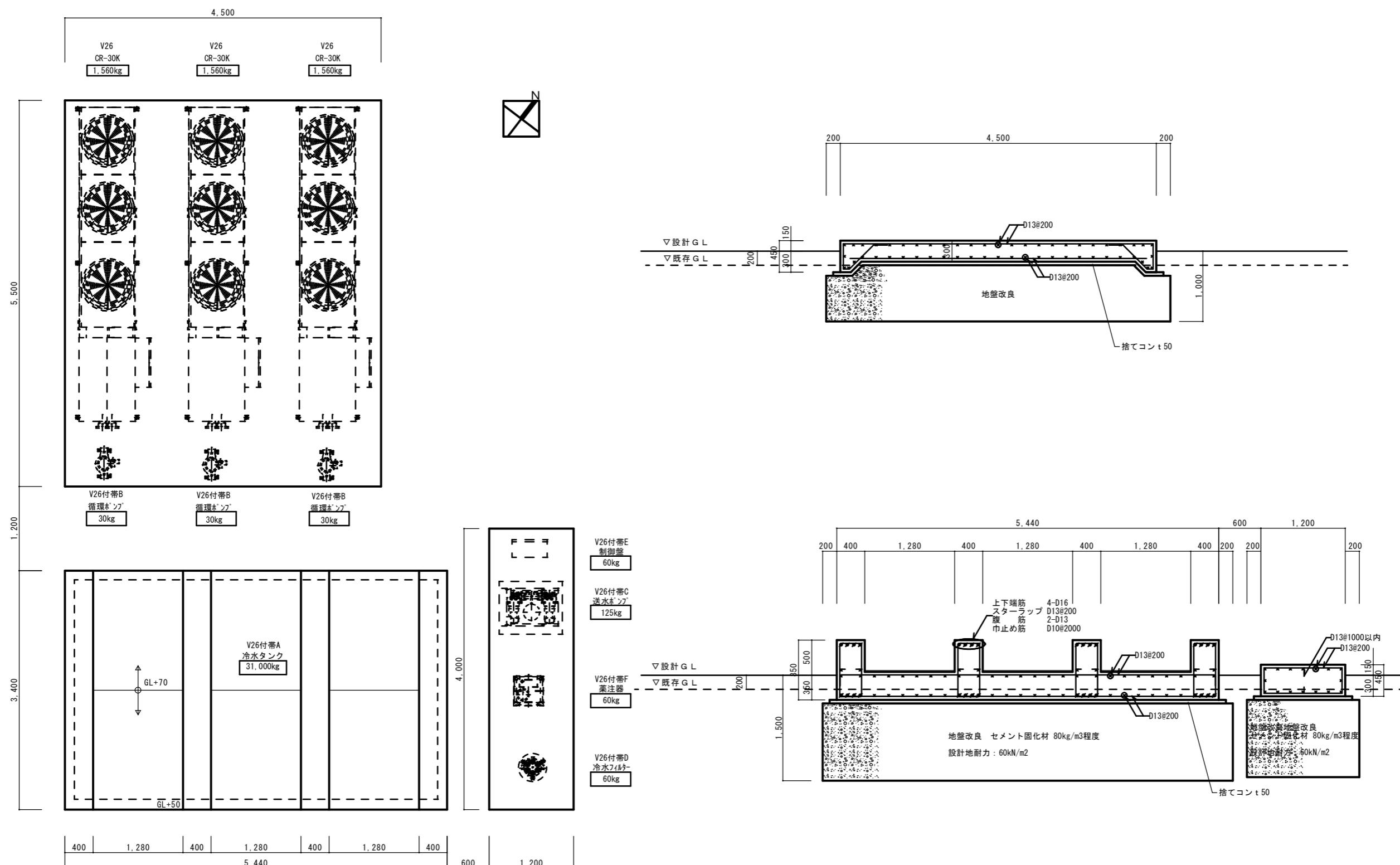
外部基礎 A03 外調機基礎詳細図

S=1/40

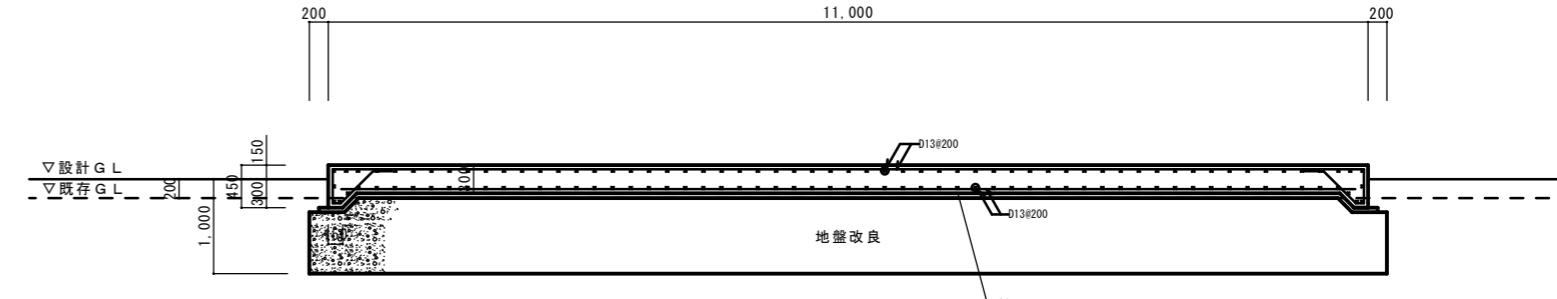
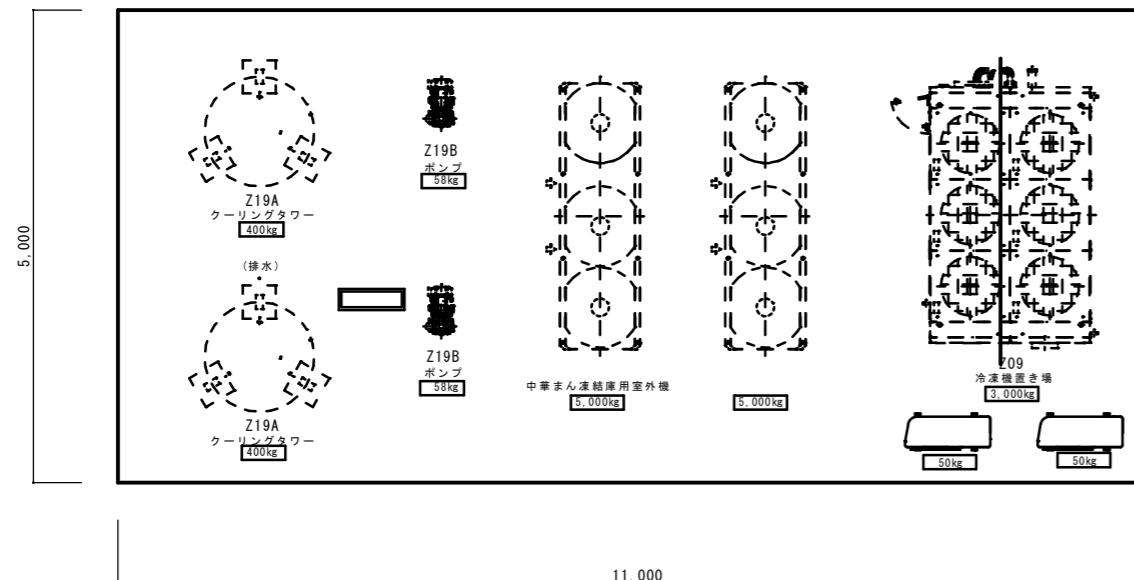
外部基礎 A04 バルク貯槽基礎詳細図

S=1/40



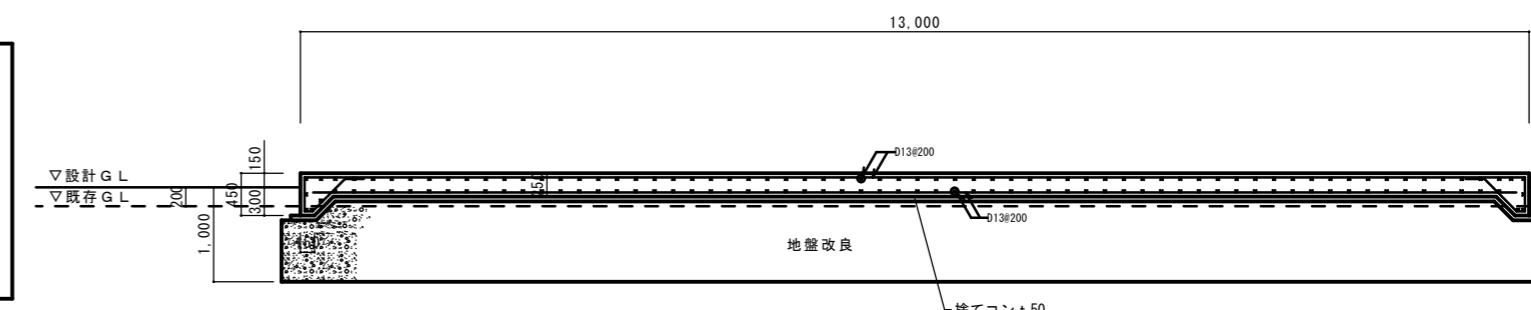
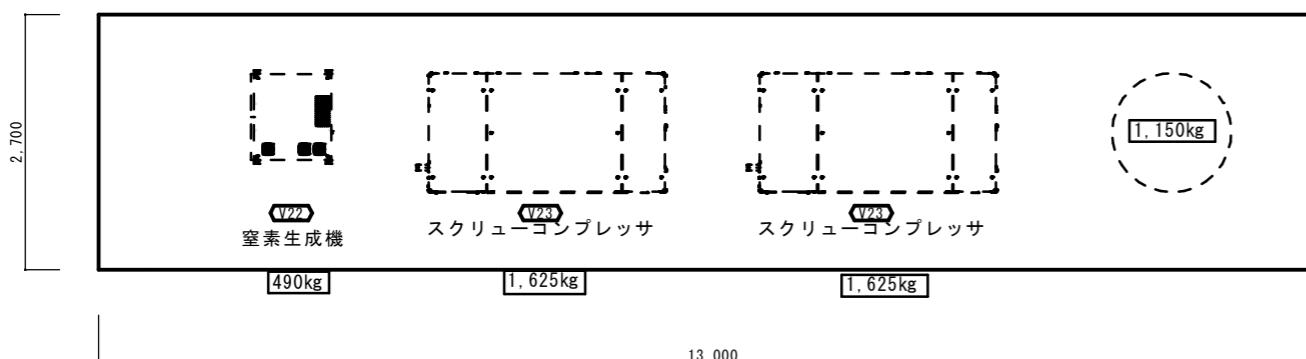


B2 冷凍機 クリーンタワー屋外機 基礎詳細図



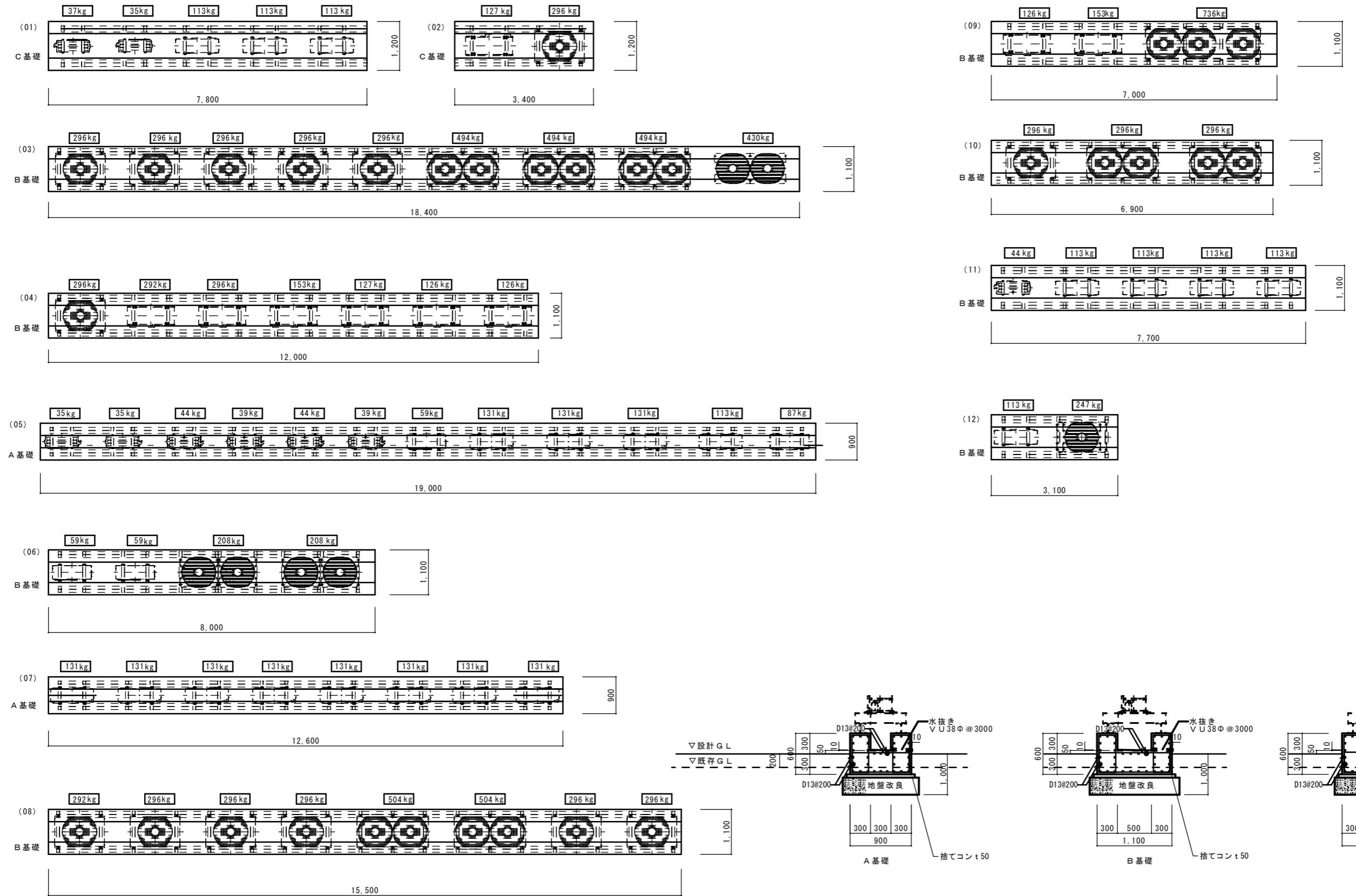
A断面図 S=1/10

B3 コンプレッサー置場(野菜加工用、そうざい加工用) 基礎詳細図



A断面図 S=1/10

C 1 コンディショニングユニット屋外機 基礎詳細図



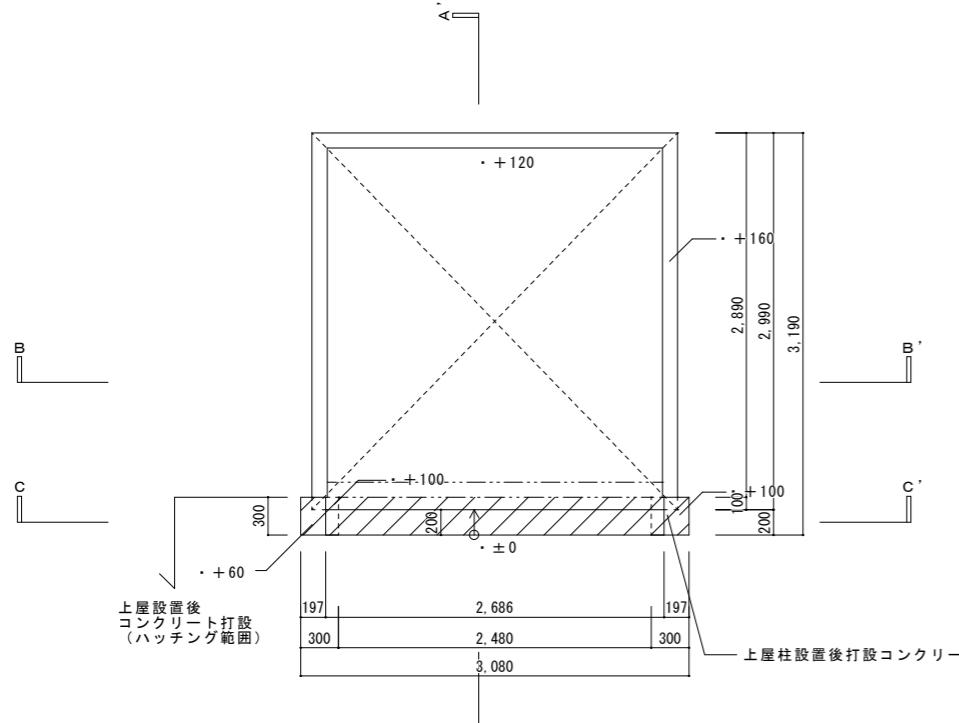
株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-239
事務所登録 宮城県 第23231018号

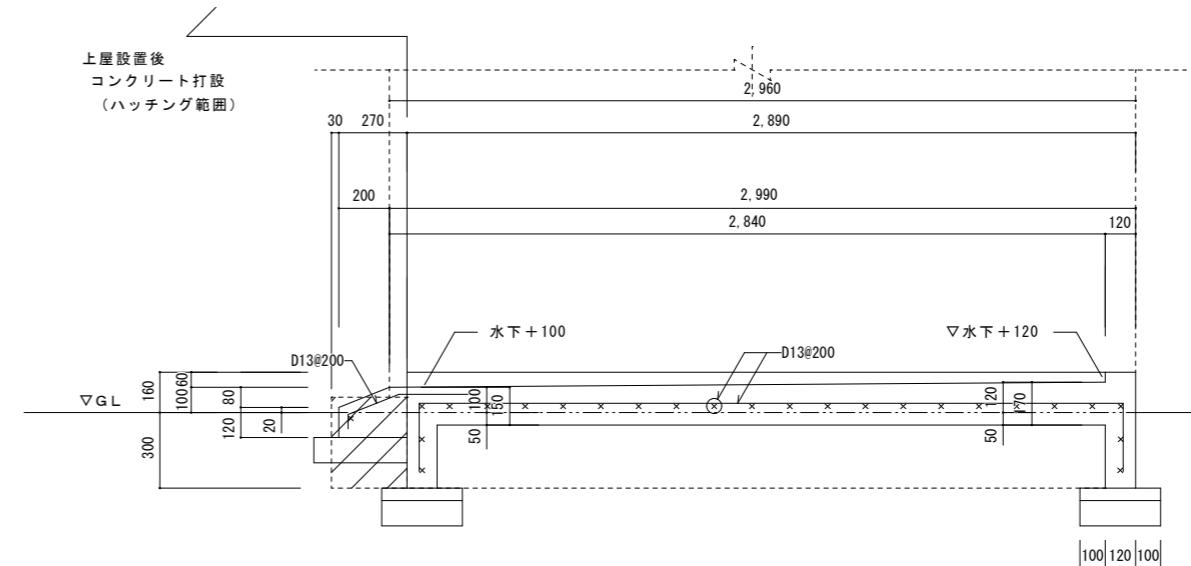
訂正

A horizontal dashed line with a vertical dashed line segment extending downwards from its center.

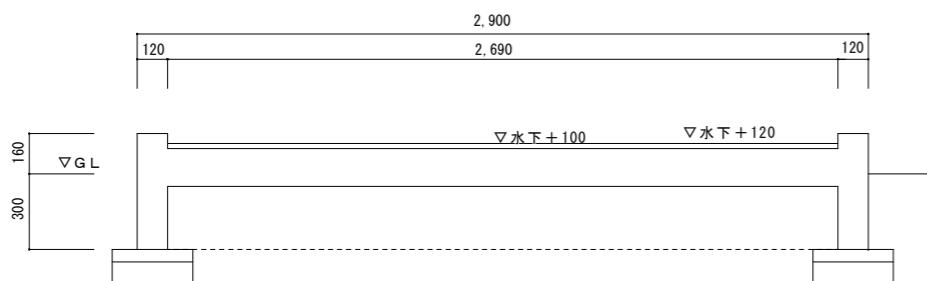
施行 2025.10		認 可	工事 名 称	川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事				図 番	A-152	
部長	次長	審査 官	担当 官	B04 ホイロ（ダブルドアタイプ）加湿：スプレー式 屋外機 基礎詳細				図 番		
				一级建築士登録 第101316号	栗原 恵昭	設 計 者	一级建築士登録 第289308号	伏見 勇男	施工 者	A1:1/10-30 A3:1/20-60



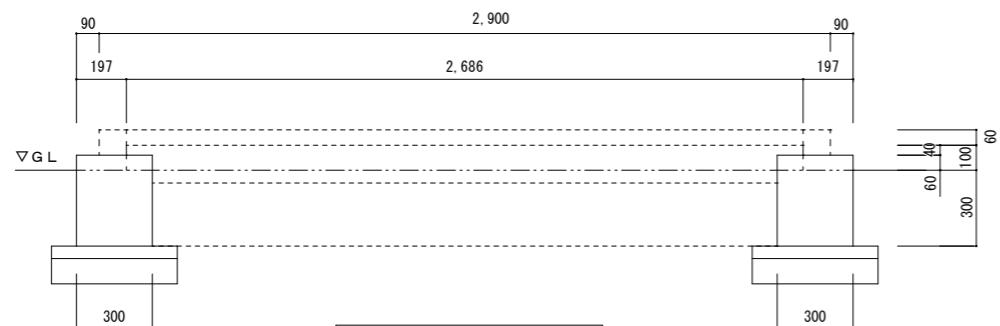
躯体平面図 S=1/30



A断面 S=1/15

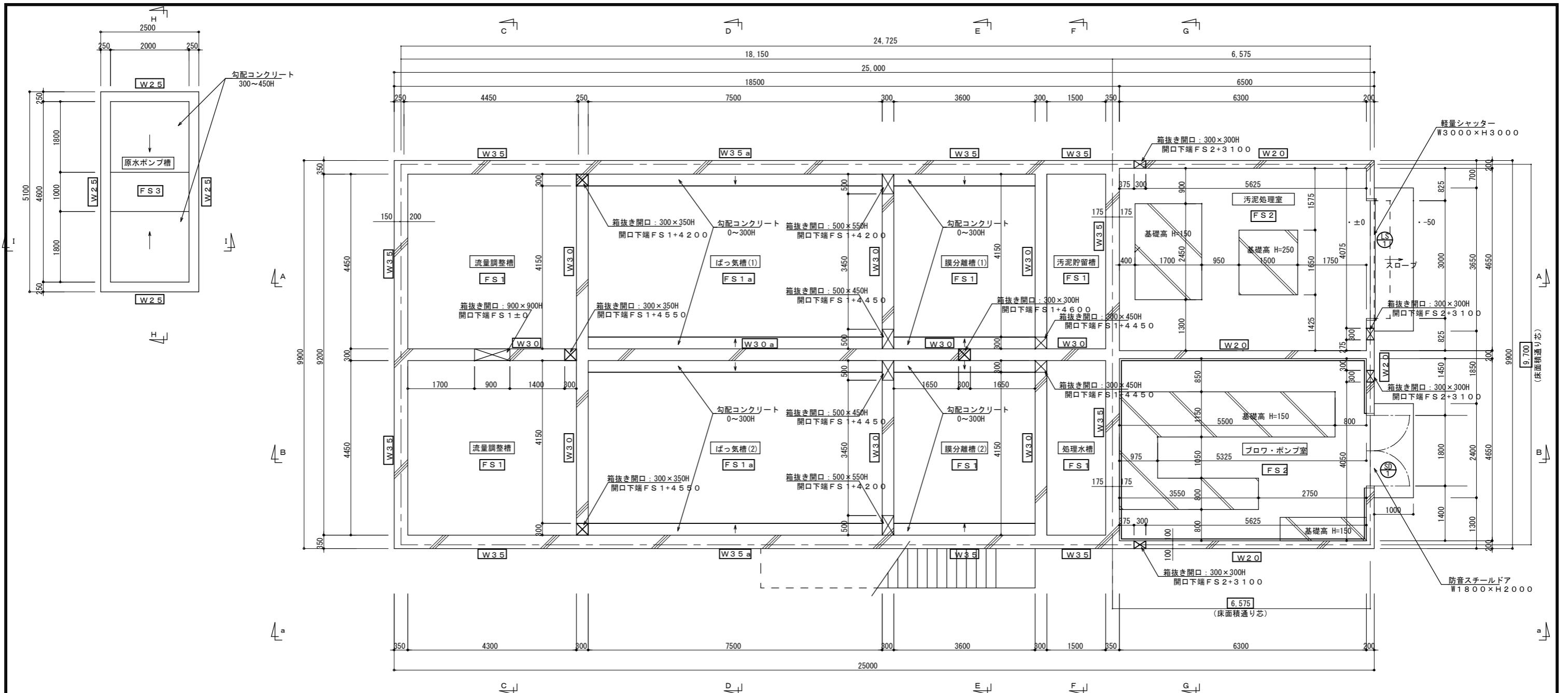


B断面 S=1/



C断面 S=1/15

- ・メー カー名：株式会社 田窪工業所
- ・型番：WS-2929



符号・形式・数量	片開きフラッシュ戸	1ヶ所	軽量スチールシャッター	1ヶ所	
場所	防火設備	1F: 除害施設機械室			
姿図					
特記事項(法規制)					
寸法(W×H)	1300×2000	3000×3000			
戸見込み	40	15.4			
戸仕上	スチール DP塗装	高耐食カラー鋼板 t 0.8			
枠仕上	スチール DP塗装	高耐食カラー鋼板 t 0.8			
硝子	---	---			
錠前	レバーハンドル錠	シリンドラー			
ヒンジ・その他	D C、戸戸り	ステンレスレール			
沓摺り・レール等	ステンレス	ステンレス			
備考	防音仕様(ロックウール内蔵)				

構内平面図 S=1/50

汚泥処理室仕上		プロワ・ポンプ室		各水槽	
部位	仕上	部位	仕上	部位	仕上
天井	コンクリート打放(B種)補修	天井	コンクリート打放(B種)補修の上、 グラスウールボードt 50(32kg)	天井	コンクリート打放(B種)補修の上、 エポキシ樹脂系防食仕上げ(C種)
壁	コンクリート打放(B種)補修	壁	コンクリート打放(B種)補修の上、 グラスウールボードt 50(32kg)	壁	コンクリート打放(B種)補修の上、 エポキシ樹脂系防食仕上げ(C種)
床	弱溶剤2液形ポリウレタン樹脂防塵床用塗料	床	弱溶剤2液形ポリウレタン樹脂防塵床用塗料	床	コンクリート打放(B種)補修の上、 エポキシ樹脂系防食仕上げ(C種)

■エポキシ樹脂系防食仕上げ(C種)
大関化学工業 E P - G S X - C 工法 同等品以上

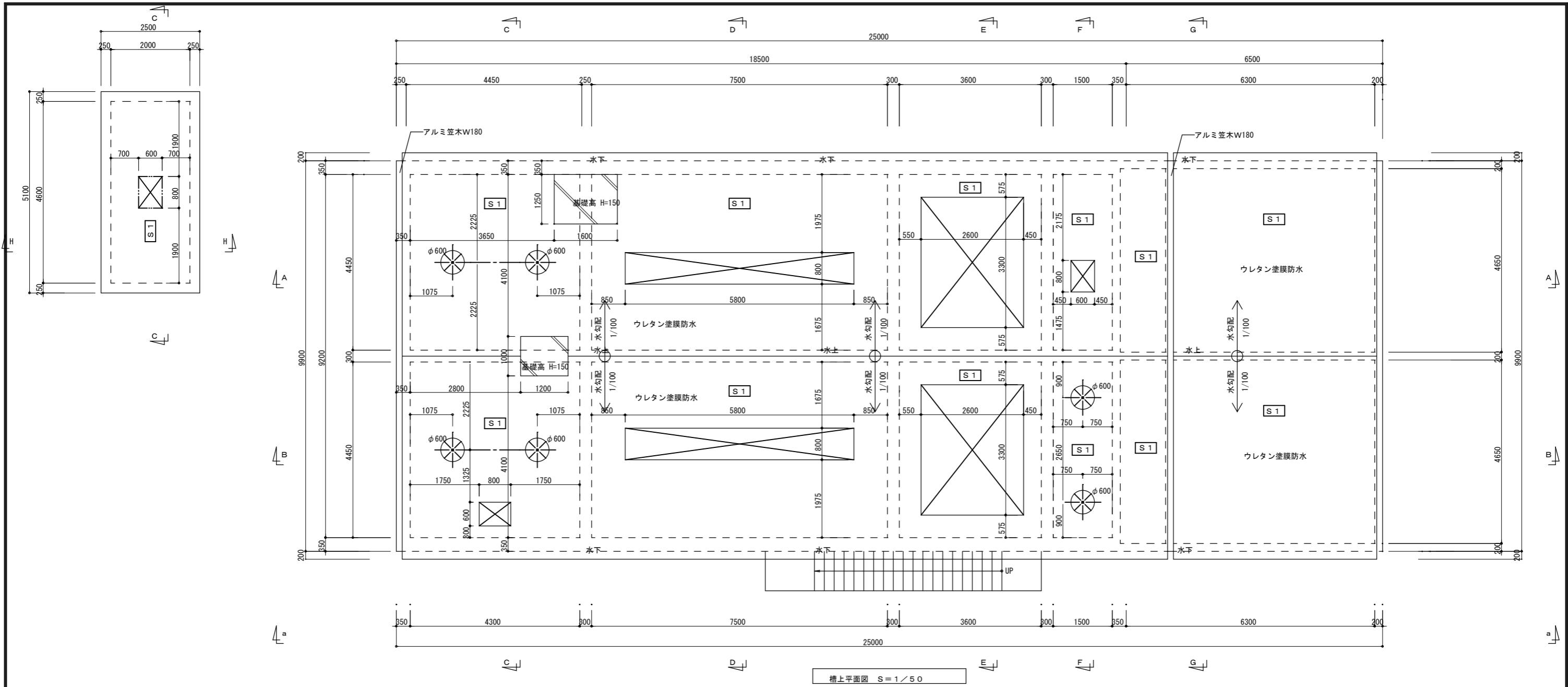
建具表 S=1/100



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正	発行				工事名	川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事				図面番号
	部長	次長	審査	担当		排水処理施設 平面図	一級建築士登録 第101316号	一級建築士登録 第289308号	設計者	
					栗原 憲昭	伏見 勇男	A1: 1/50	A3: 1/100		

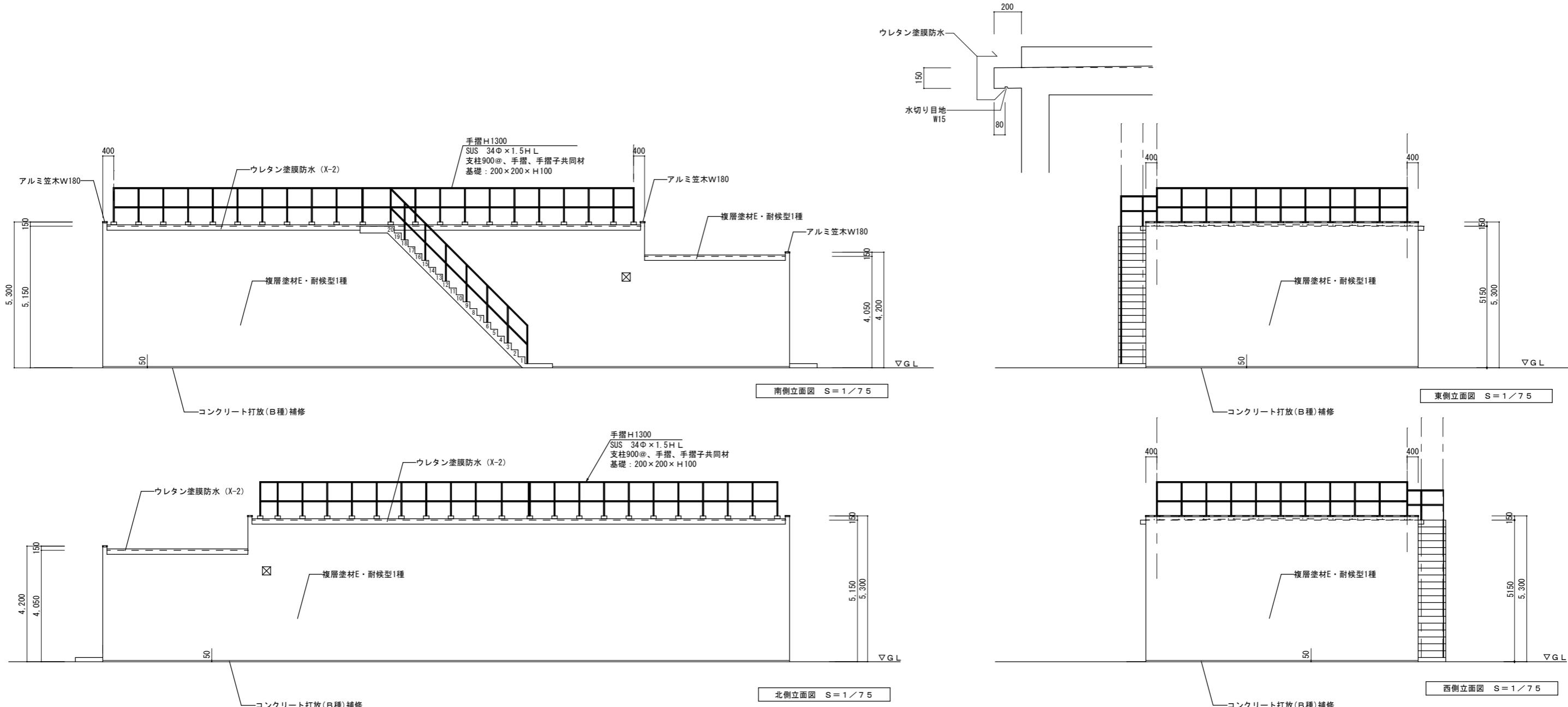


株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事				A-156
排水処理施設 屋根伏図				
発行 2025.10	記 名	監 修	外観 図	
部長	次長	審査	担当	
会議室 第101316号	栗原 恵昭	伏見 勇男	会議室 第289308号	A1: 1/50 A3: 1/100

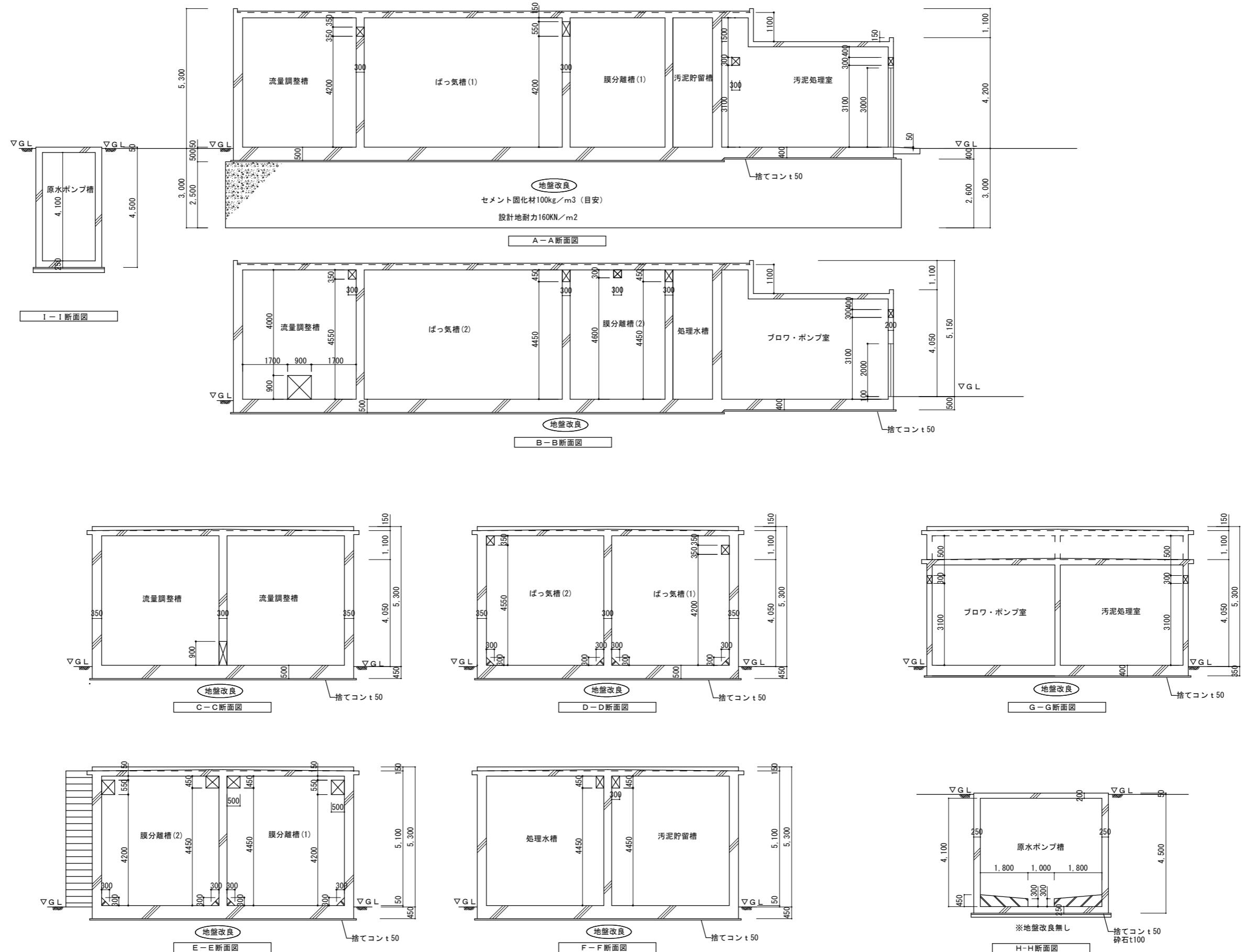


外部仕上	
部位	仕上
屋根	コンクリート金コテ仕上げの上 ウレタン塗膜防水（X-2）
壁	コンクリート打放（B種）補修の上 複層塗材E・耐候型1種
根巾木	コンクリート打放（B種）補修
	アルミ笠木W180



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 9800-0011
TEL(代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2
事務所登録 宮城県 第23210188号



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

発行 2025.10

規格

外寸

部長

次長

審査

担当

内寸

改進

監修

印鑑

会員登録

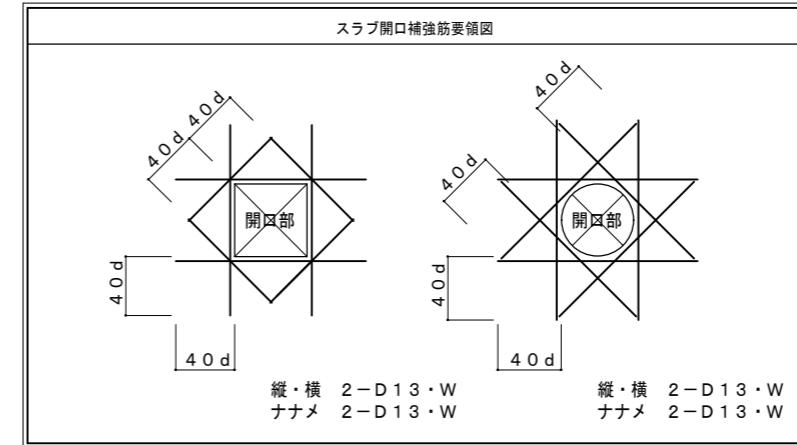
川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事
排水処理施設 断面図
一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭 伏見勇男
一級建築士登録 第289308号 栗原憲昭 伏見勇男
A1: 1/75
A3: 1/150

スラブ リスト

記号	版厚	断面	位置	短辺方向 主筋(外側)	長辺方向 配力筋(内側)	端部補強筋
S 1	200	200	上端筋	D 13@200	D 13@200	4-D 13
			下端筋	D 13@200	D 13@200	
F S 1	500	500	上端筋	D 16@200	D 16@200	4-D 16
			下端筋	D 16@200	D 16@200	
F S 1 a	500	500	上端筋	D 16@100	D 16@200	4-D 16
			下端筋	D 16@200	D 16@200	
F S 2	400	400	上端筋	D 16@200	D 13@200	4-D 13
			下端筋	D 16@100	D 16@200	
F S 3	250	250	上端筋	D 13@200	D 13@200	4-D 13
			下端筋	D 13@200	D 13@200	

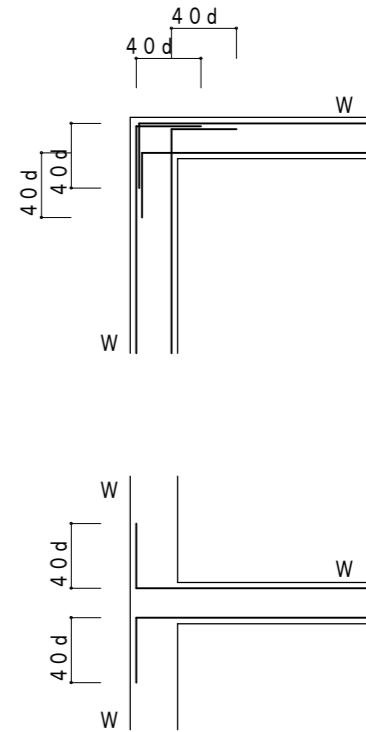
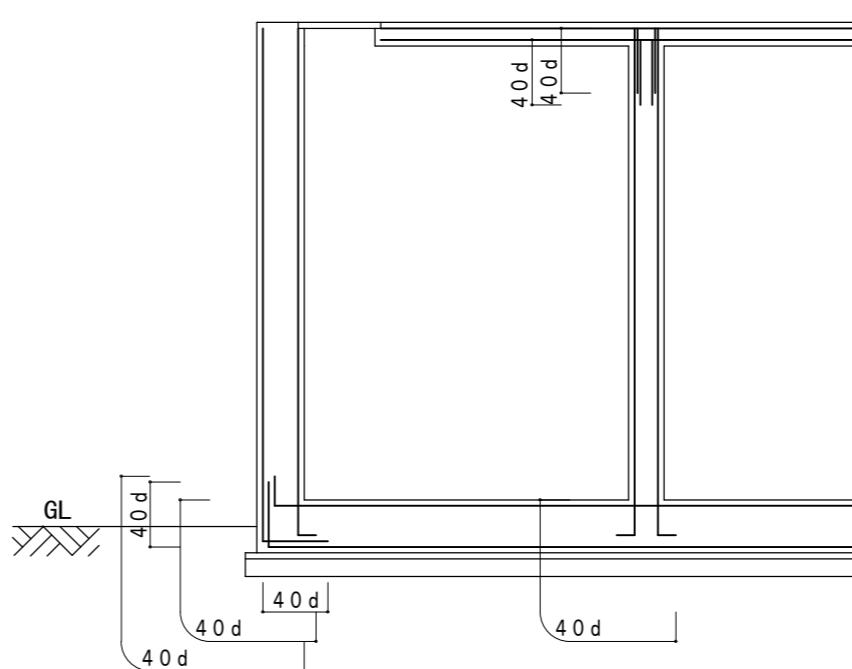
共通仕様

基礎砕石	RC-40
捨て・シンダーコン	18N-15-25
躯体コン	21N-15-25
鉄筋	SD 295A

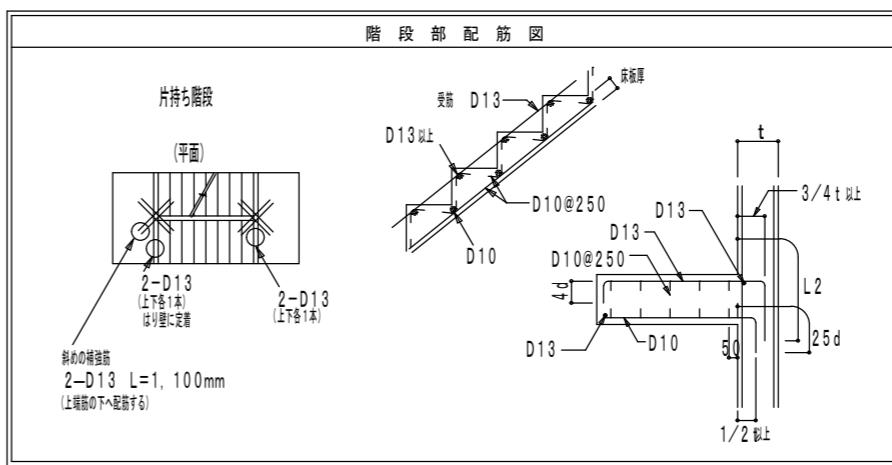


壁 リスト

記号	W35	W35a	W30	W30a
壁厚	350	350	300	300
断面				
		1800 外 350 内		1800 外 300 内
		※縦筋(内外) : 高さ1800までD16@100		※縦筋(内外) : 高さ1800までD16@100
縦筋	D 16@200・W	外:D 16@200 内:D 16@100/200	D 16@200・W	D 16@100/200・W
横筋	D 16@200・W	D 16@200・W	D 16@200・W	D 16@200・W
端部補強筋	4-D 16	4-D 16	4-D 16	4-D 16
縦筋	2-D 16・W	2-D 16・W	2-D 16・W	2-D 16・W
横筋	2-D 16・W	2-D 16・W	2-D 16・W	2-D 16・W
斜め筋	4-D 16・W	4-D 16・W	4-D 16・W	4-D 16・W



記号	W25	W20
壁厚	250	200
断面		
		250 200
縦筋	D 13@200・W	D 10@200・W
横筋	D 13@200・W	D 10@200・W
端部補強筋	4-D 16	4-D 13
縦筋	2-D 13・W	2-D 13・W
横筋	2-D 13・W	2-D 13・W
斜め筋	4-D 13・W	4-D 13・W

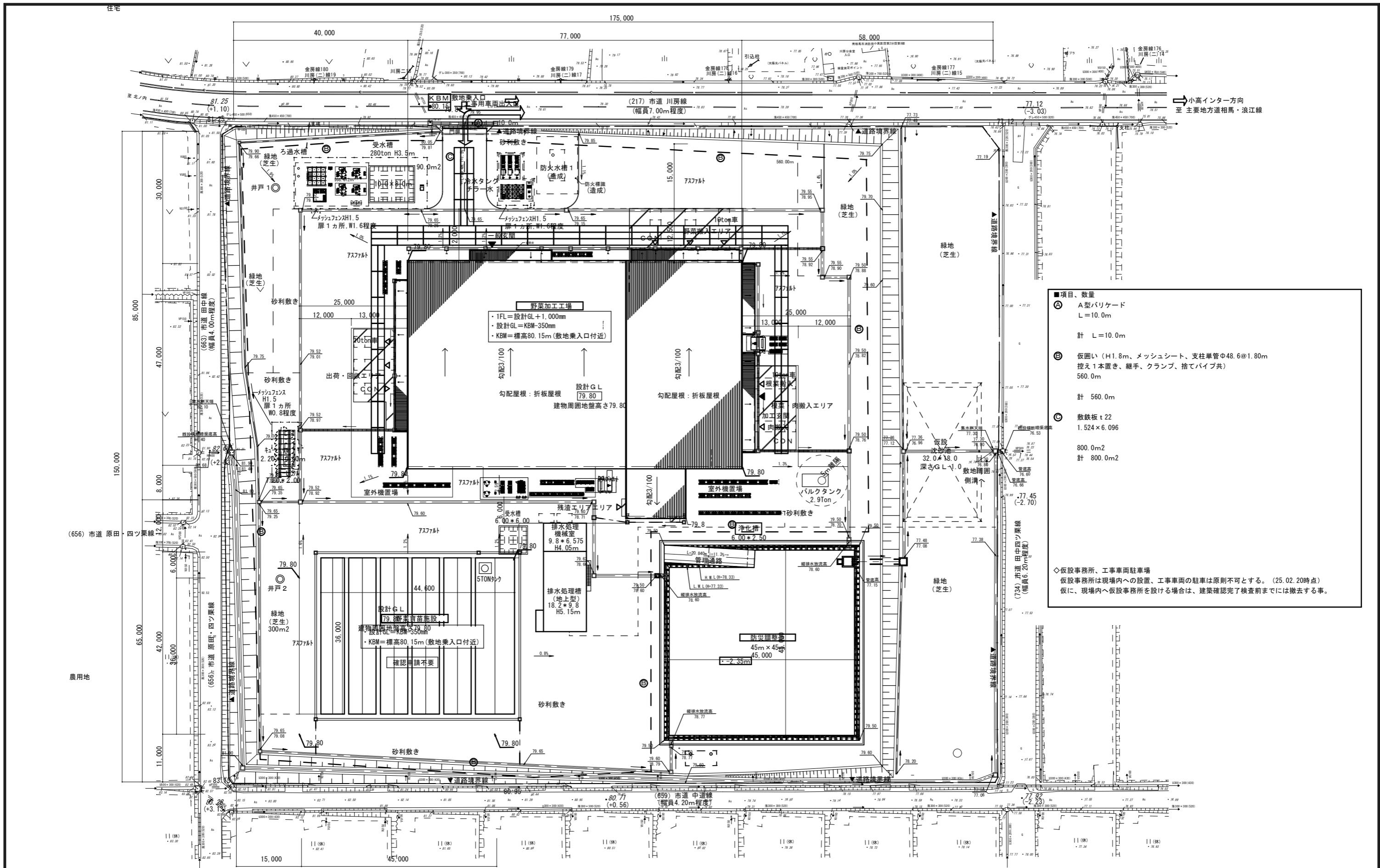


株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

訂正

川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事
排水処理詳細図
一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭 設計者
A1: 1/50
A3: 1/100



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 TEL 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第2321018号

訂正

発行	2025.10	認	
主な名			
部長		次長	
担当		審査	
監修者		担当者	
図名	川房地区複合型園芸施設整備事業加工施設建築主体工事		
監修者	一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭		
監査者	一級建築士登録 第289308号 伏見勇男		
規格	A1:1:400	規格	A3:1:800

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

(1) 構造面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号
d・異形棒鋼の呼び名に用いた数値、丸鋼では径 D・部材の成 R・直徑
r・間隔 CL・中心線 Lo・部材間の内法距離 ho・部材間の内法高さ
ST・あら筋 HOOP・帯筋 S.HOOP・補強筋 φ・直徑又は丸鋼

2. 共通事項

(1) 鉄筋の表示記号
鉄筋の表示記号及び最外径は下表による。

記号	•	×	ø	●	○	◎	◎	⊕	●	◎	
呼び径d	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29	D32	D35	D38	D41
最外径D	11	14	18	21	25	28	33	36	40	43	46

・フックのない場合
・フックのある場合
・本数に差がある場合
・機械式継手表示
・溶接継手表示 (ガス圧接、突き合せ溶接)

(2) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
図			
鉄筋の余長	4d以上 (※4d以上)	6d以上 (※4d以上)	8d以上 (※4d以上)

折曲げ内法寸法Rは、SD295のD16以下は3d以上、
SD345のD19~D38は4d以上。SD390は5d以上。
※片持スパン上端筋の先端

(3) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(R)
d+R	帶筋 あら筋 スパイラル筋	SD295 SD345	D16以下	3d以上
d	上記以外の鉄筋	SD295 SD345 SD390	D16以下 D19~D25 D29~D41	4d以上 6d以上 8d以上

(4) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(L1)
		一般(L2) (フックつきL2h)	下は筋(L3) 小梁 スラブ'	
SD295	18			45dまたは30dフックつき
	21			35dまたは25dフックつき
	24~27			30dまたは20dフックつき
	30~36			30dまたは20dフックつき
SD345	18			40dまたは30dフックつき
	21			35dまたは25dフックつき
	24~27			35dまたは25dフックつき
	30~36			35dまたは20dフックつき
SD390	-			50dまたは35dフックつき
	21	40dまたは30dフックつき		45dまたは35dフックつき
	24~27	40dまたは30dフックつき		45dまたは35dフックつき
	30~36	35dまたは25dフックつき		40dまたは30dフックつき

継手
1. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
2. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
3. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
4. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない
5. 機械式継手の隣り合う継手の位置は機械式継手標準書による。

ガス圧接形状 2mm以下

圧接継手 重ね継手(ユニット鉄筋は除く)

(5) 鉄筋のフック (a~f)に示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。図の●印の鉄筋の重ね継手の末端にはフックが必要

a. 丸鋼 b. あら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

鉄骨構造標準図

1. 高力ボルトピッチ、梁貫通補強

(1) ボルトピッチ(P)、ボルト穴径・最少縫端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縫端距離(e)			ピッチ(P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	40	60
M22	24	55	38	28	40	60
M24	26	60	44	32	45	70

[注] (1) ()内は仕上げがある場合。
(2) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(7) かぶりの厚さ(単位:mm)
ひびわれ誘発目地部など
鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。

部位	設計かぶり厚さ(mm)		最小かぶり厚さ(mm)	
	土に接しない部分	屋根スラブ 屋外	屋内	屋外
柱 柱 壁	40	30(20)	40	30
擁壁	50	40	50	40
柱・柱・床筋・耐力壁	50	40	50	40
基礎・擁壁	70	60	70	60

[注] (1) ()内は仕上げがある場合。
(2) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

(8) 布基礎の鉄筋要領
4,000 (L1)以上
スポット溶接
配筋
主筋
ユニット鉄筋基本形状図
ユニット鉄筋ジョイント部詳細
(コーナー部はこの限りではない)

(9) あら筋副あら筋
第一あら筋
腹筋
第一あら筋は柱面に入れその間を設計ピッチ以下に割り付ける。
あら筋の加工は下図①又は⑧による。
②③⑤⑥⑨は同時打込みのスパン付の場合に限る。
⑩は梁成の大きい場合。
①はピッチで交互配筋とする。
135°フックは180°フックでも可とする。
溶接継手は帯筋の項を参照のこと。

※ねじれ応力を受ける腹筋は定着長さL1とする。

(10) 补助筋
4d以上
つり筋
D < 600 不要
600 ≤ D < 900 2-D10 (1段)
900 ≤ D < 1200 4-D10 (2段)
1200 ≤ D D10 @300以内
巾止筋
受筋
つり筋
D10 @1000以内で割り付ける。
D10 @1000以内で割り付ける。

(11) 基礎梁の継手及び定着
一般(独立基礎、杭打独立基礎)

(12) 梁の貫通補強
あら筋と同径、同数で@100以下とする。
1. 補強筋は原則として工場製品(認定品)を使用する。
2. 認定品を使用しない場合は下図によるが、補強筋は設計者の指示による。
3. 梁貫通孔は梁成の1/3以下とする。
4. 孔が複数の場合は中心間隔を径(d)の3倍以上とする。
また位置は原則として柱面から梁成以上はなし、梁成の中心D/2の範囲内とする。
5. が100mm未満、かつ/10以下、かつ(あら筋間隔-かぶり厚さ×2-あら筋最外径)以下の場合には補強を必要としない。
※縦筋はあら筋加工とする。

1. 高力ボルトピッチ、梁貫通補強

(1) ボルトピッチ(P)、ボルト穴径・最少縫端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縫端距離(e)			ピッチ(P)	
		(1)	(2)	(3)	(2)(3)の標準	最小
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	40	60
M22	24	55	38	28	40	60
M24	26	60	44	32	45	70

[注] (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縫端距離
(2) セン断線・手動ガス切断線の場合の縫端距離
(3) 圧延線・自動ガス切断線・こき引線・機械仕上線の場合の縫端距離

(2) ピン接合梁継手リスト

[注] ①付符号は溶接符号を示す。
②付符号は溶接符号を示す。

(3) 膜継手の接合
溶接・中ボルト・ワンサイドロックボルトの何れかを用いる。

(4) タンバブルクレース(JIS A5540、A5541)

(5) 梁貫通補強

[注] G800Aについては、S-24を参照。

SAKARI SOGO PLAN

株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第2321018号

訂正

発行 2025.10 認
工事名
図面名
構造設計標準仕様
一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭
設計者
一級建築士登録 第289308号 伏見勇男
監修者
規格
S-O-2

溶接基準図

1. 一般事項

- (1) 材料および検査
 (a) 構造設計仕様による。
 (b) 適用範囲は鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度およびその他の結果を添付する。

- (2) 工作一般
 (a) 鉄骨製作および施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る。

- (3) 高力ボルト接合
 (a) 本筋めに使用するボルトと仮締めに使用するボルトの併用はしてはならない。

- (4) 溶接接合
 (a) 溶接工
 溶接工は施工する溶接に適応するJIS Z3801(手溶接)またはJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し、引続き半年以上溶接に従事している者とする。

- (b) 溶接機器
 (i) 交流7-kW溶接機 300A~500A
 (ii) サーモアーケ溶接機1式
 (iii) 溶接電流を測定する電流計

- (c) 溶接方法
 ワーク手溶接(MC)
 ガスシールドワーカー溶接(GC)
 セルフリガスシールドワーカー溶接(NGC)
 アーケイガス溶接(AAG)

- (d) 溶接姿勢

- (e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う

- (f) 仮付位置
 仮付溶接は、溶接の始・終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

- (g) 溶接施工
 (i) エンドタグ
 I) 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタグを取り付ける。
 II) エンドタグの材質は母材と同質とする。(ラックタグも可)
 III) エンドタグの長さは、MC:35mm以上、NGC:40mm以上とし、特記のない場合は、溶接終了後母材より10mm程度残して切断し、ゲーリング仕上げとする。

- IV) ブリッジ板や、固形アーチ使用については、資料を提出して設計者または工事監理者の承認を得る。

- (h) 裏面封止
 材質は母材と同質材料とし、厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする

- (i) スカラップ
 形状は半径35mmと10mm程度の複合円弧とする。加工は開先加工機で行う。

- 但し梁成形がD=150mm未満の場合、スカラップ(r=20mm)とする。

- ノンスカラップによる場合はJASS6規定に基づくものとする。

- (j) 裏はつり
 標準図の溶接において、AAGと記載のある部分はすべて溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける。

- (k) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。また、開先部をいためないように、養生を行う。

- (l) すみ肉溶接・部分溶け込み溶接の角部においては回し溶接を行なう。

- (m) 塗装
 コンクリートに埋め込まれる部分および、コンクリートとの接触面でコンクリートと一緒にする設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

2. 溶接規準図・開先形状寸法(手溶接・半自動溶接)

注)f:余盛 G:ルート間隔 R:フェス S:脚長 ()内は半自動溶接を示す。(単位 mm)

(1) 隅肉溶接		薄板 t≤6 RH t≤16														
t	S	1.6	2.3	3.2	4~6	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
3	3.5	4.5	6	5	6	7	8	9	10	10	11	12	13	14	15	16
4	4.5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
6	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
7	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
9	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
10	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
11	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
12	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
13	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
14	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
15	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
16	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

●但しRHのみ片面溶接の場合はS=tとする。
 ●tはt1、t2の小なる方とする。
 余盛は(t+0.1)以下とする。

●tは、t1とt2の薄い方と取る。

●t/4≤S≤10。

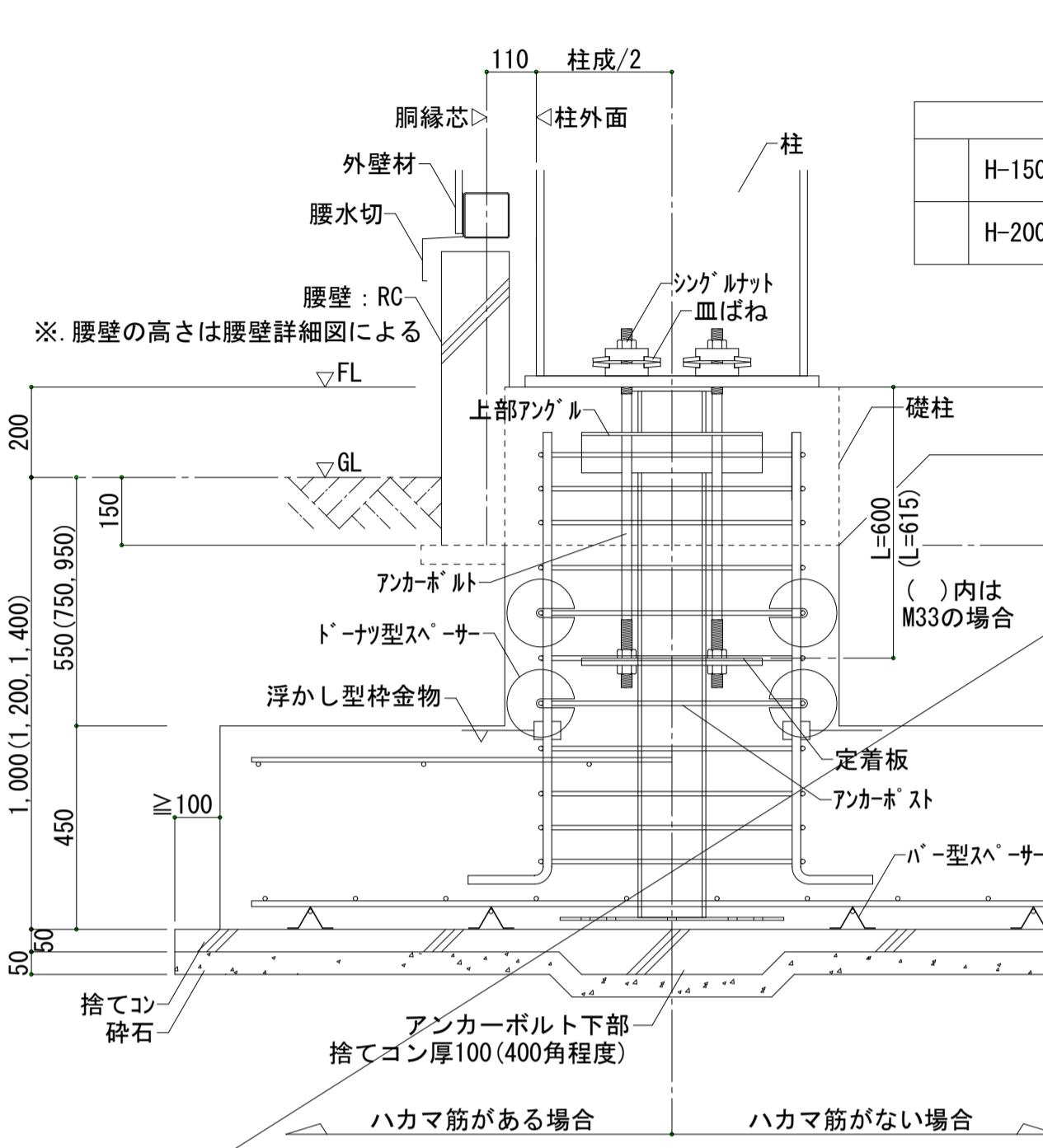
●ガスシールドワーカー溶接またはセルフシールドワーカー溶接に限る。

(2) 突合せ溶接(平継手・T型継手)		6< t ≤19 F, V													
t	f	θ ≥ 35°	f/t	R	G	t1	t2	a	θ = 35°	削り面	5	θ = 35°	t	6 < t ≤ 19	F, V
6	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	6	6 < t ≤ 19	F, V
7	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	7	6 < t ≤ 19	F, V
8	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	8	6 < t ≤ 19	F, V
9	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	9	6 < t ≤ 19	F, V
10	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	10	6 < t ≤ 19	F, V
11	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	11	6 < t ≤ 19	F, V
12	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	12	6 < t ≤ 19	F, V
13	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	13	6 < t ≤ 19	F, V
14	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	14	6 < t ≤ 19	F, V
15	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	15	6 < t ≤ 19	F, V
16	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	16	6 < t ≤ 19	F, V
17	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	17	6 < t ≤ 19	F, V
18	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	18	6 < t ≤ 19	F, V
19	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	19	6 < t ≤ 19	F, V
20	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	20	6 < t ≤ 19	F, V
21	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	21	6 < t ≤ 19	F, V
22	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	22	6 < t ≤ 19	F, V
23	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	23	6 < t ≤ 19	F, V
24	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	24	6 < t ≤ 19	F, V
25	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	25	6 < t ≤ 19	F, V
26	3 (2)	35°	0.5	2	1	1	1	1	35°	裏はつり後溶接	5	35°	26	6 < t ≤ 19	F, V
27	3 (2)	35°	0.5	2	1	1</td									

基礎標準図

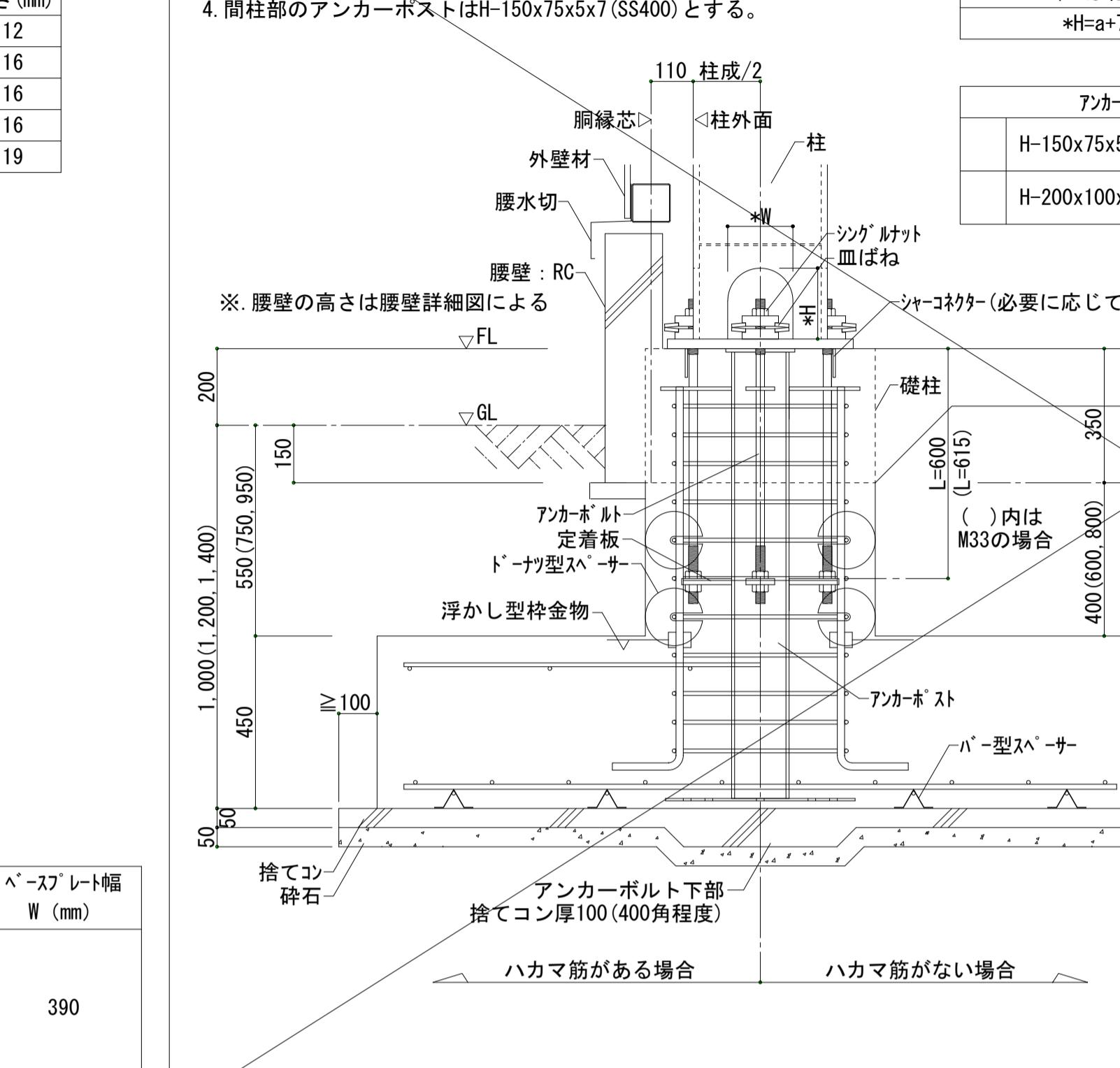
QFU(柱H型柱脚皿ばね仕様)

- ※ 1. 土間コン別途工事とする。
2. ユート鉄筋とする場合は指定工場にて製作する。
3. 間柱部のアンカーポストはH-150x75x5x7(SS400)とする。



QFU(柱BOX型柱脚皿ばね仕様)

- ※ 1. 土間コン別途工事とする。
2. ユート鉄筋とする場合は指定工場にて製作する。
3. 腹壁下の皿ばねは腹壁取付前に装着のこと。
4. 間柱部のアンカーポストはH-150x75x5x7(SS400)とする。



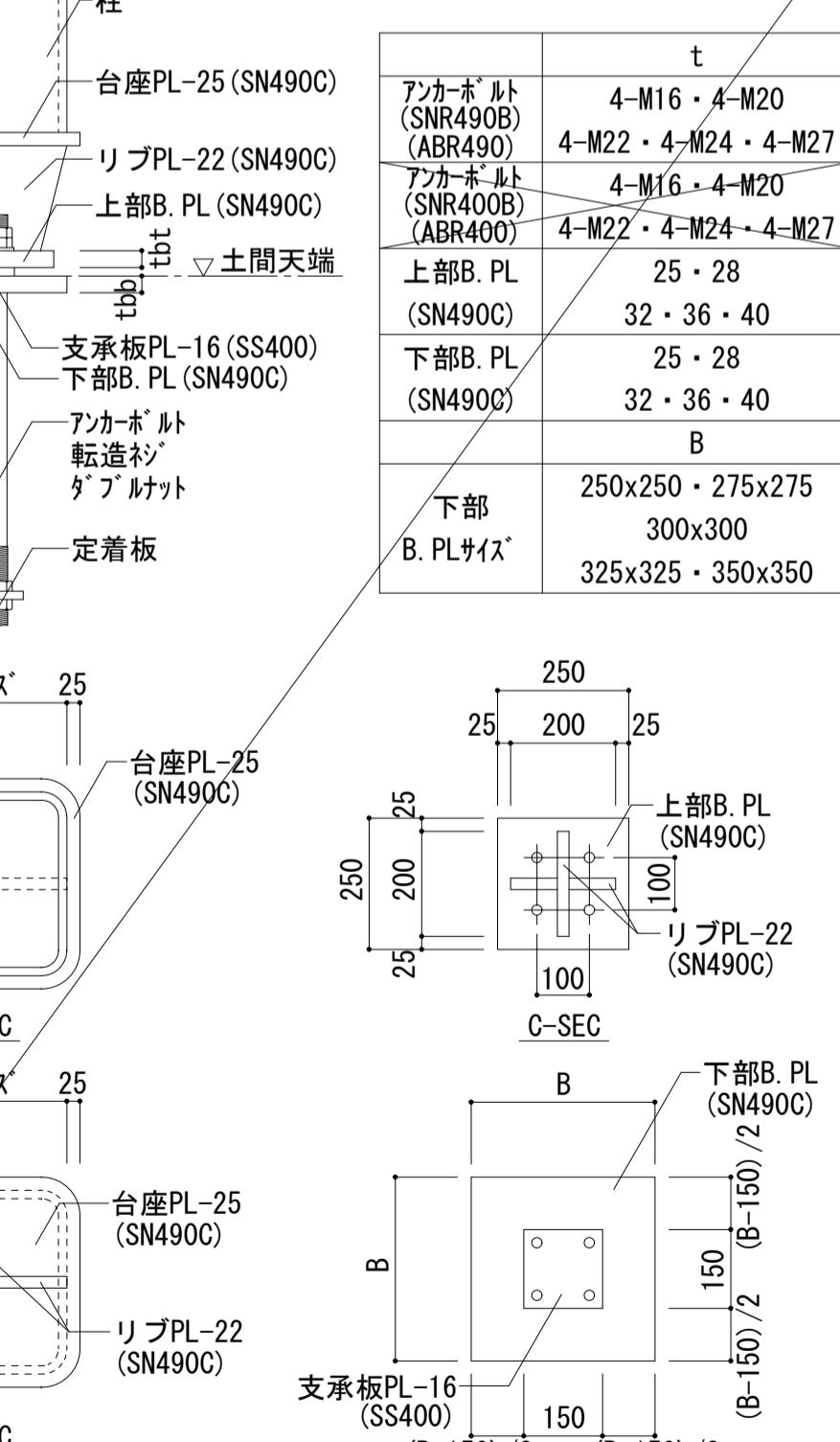
BCJ評定-ST0012-03

A. BOLT	厚さ (mm)
M22	12
M24	16
M27	16
M30	16
M33	19

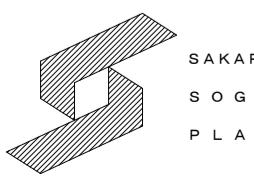
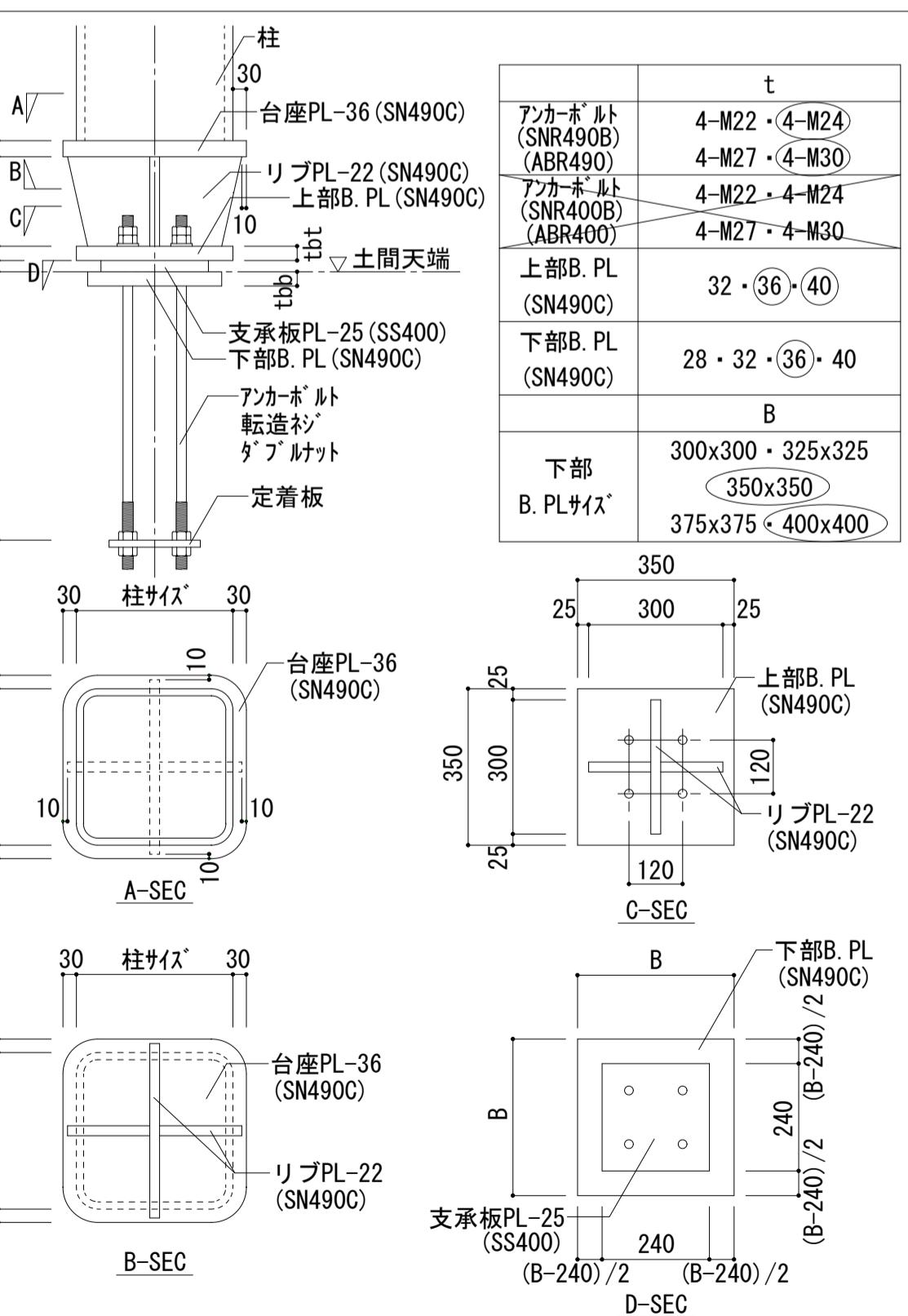
QFU(柱BOX型柱脚支承板仕様)

- ※ 1. 土間コン別途工事とする。
2. ユート鉄筋とする場合は指定工場にて製作する。
3. 間柱部のアンカーポストはH-150x75x5x7(SS400)とする。

Aタイプ (□-200x200、□-250x250)

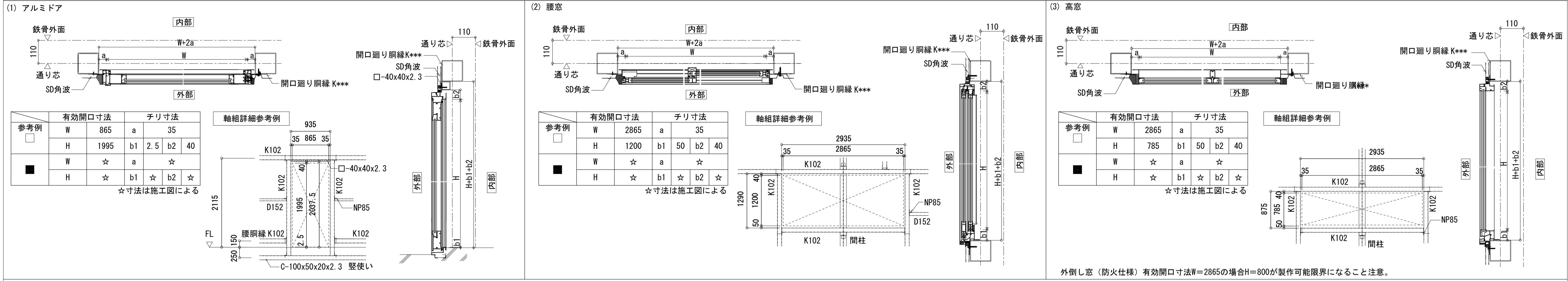


Bタイプ (□-300x300～□-450x450)

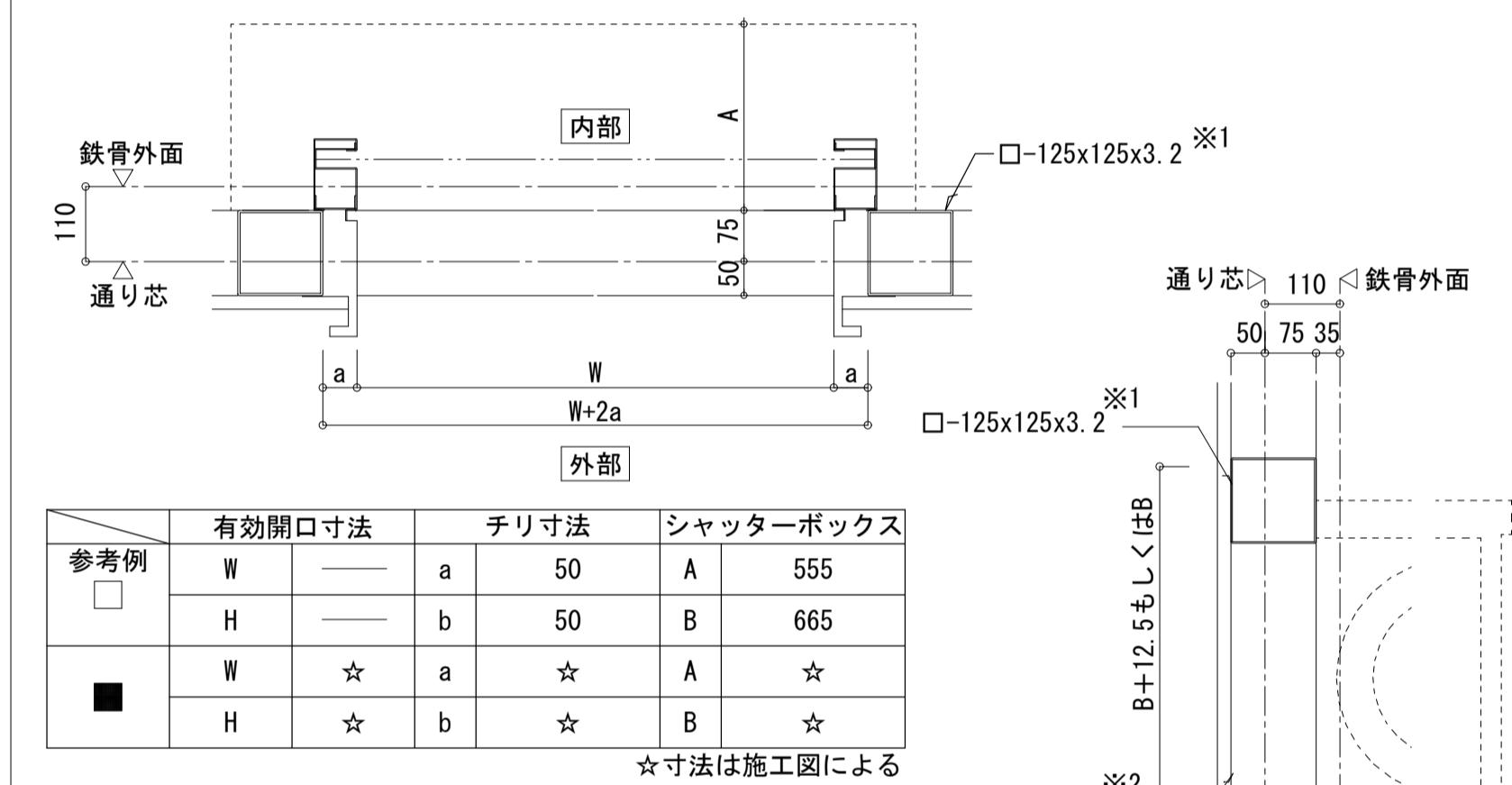


日鉄物産システム建築株式会社 TREO胴縁(横胴縁100シリーズ) 標準図(2)

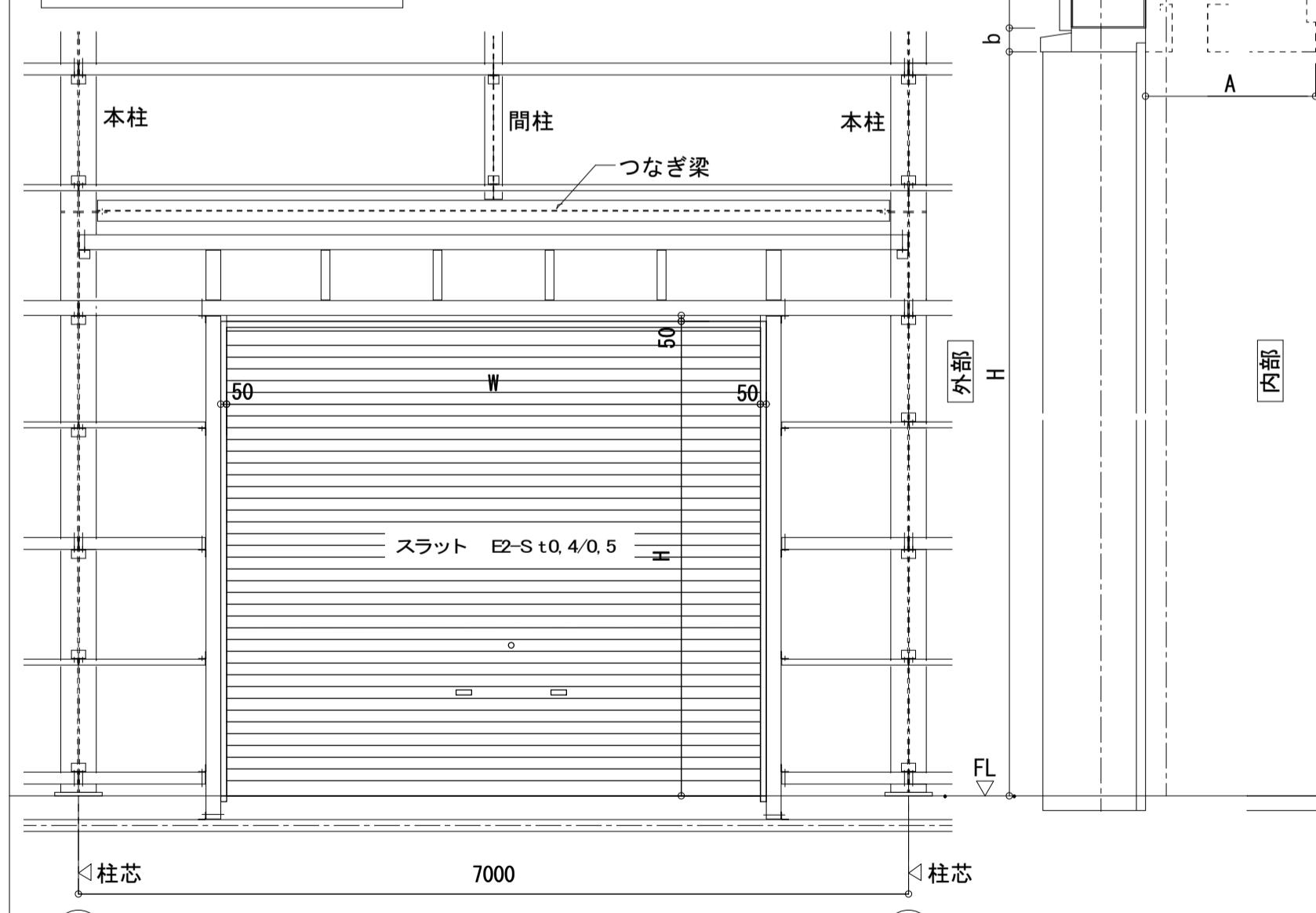
3.3 アルミ建具回り ※ 参考例は三協アルミ仕様とする。



(1) スチールシャッター (重量)

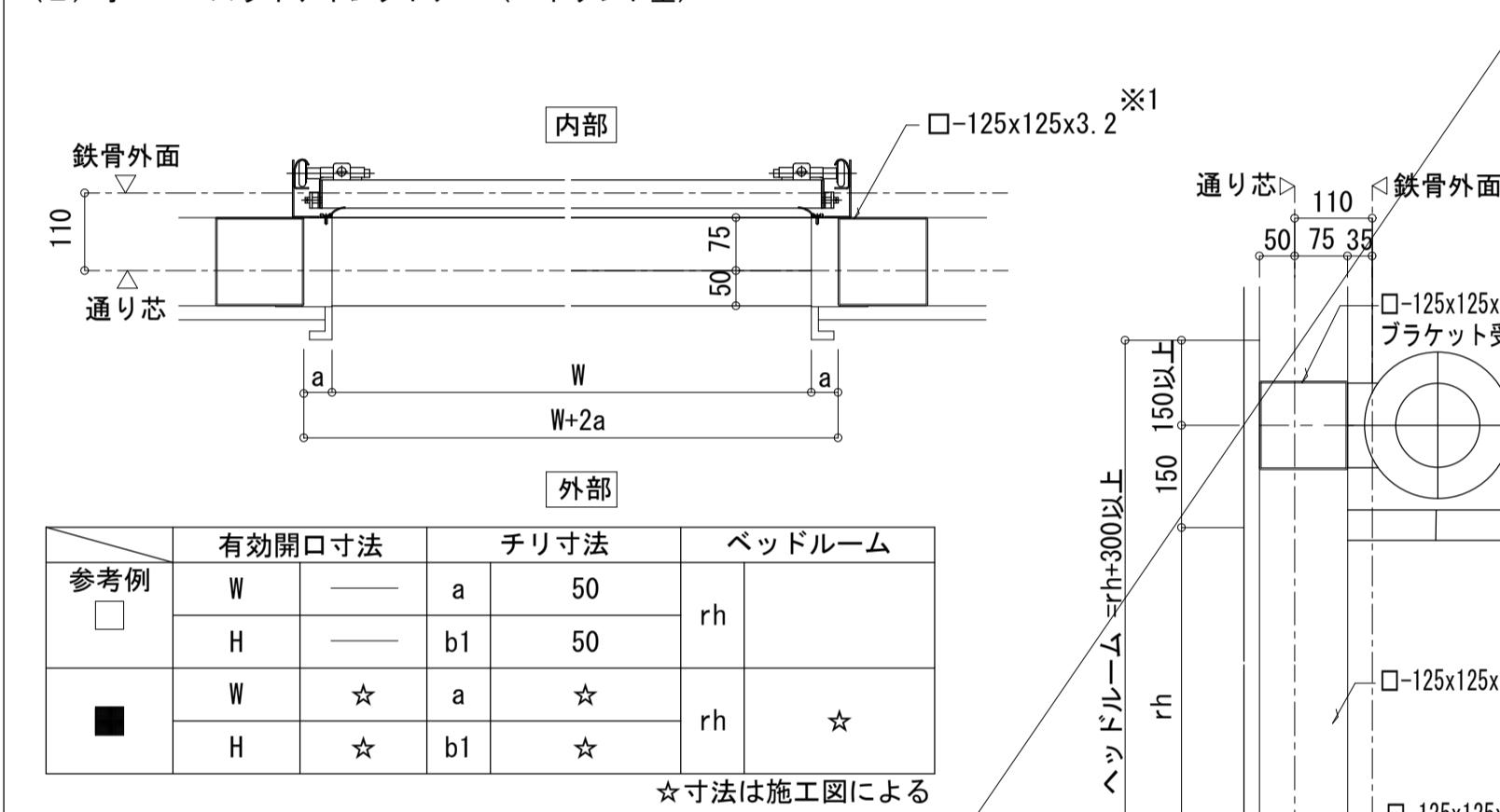


軸組詳細参考例 (DSSJ4540*)

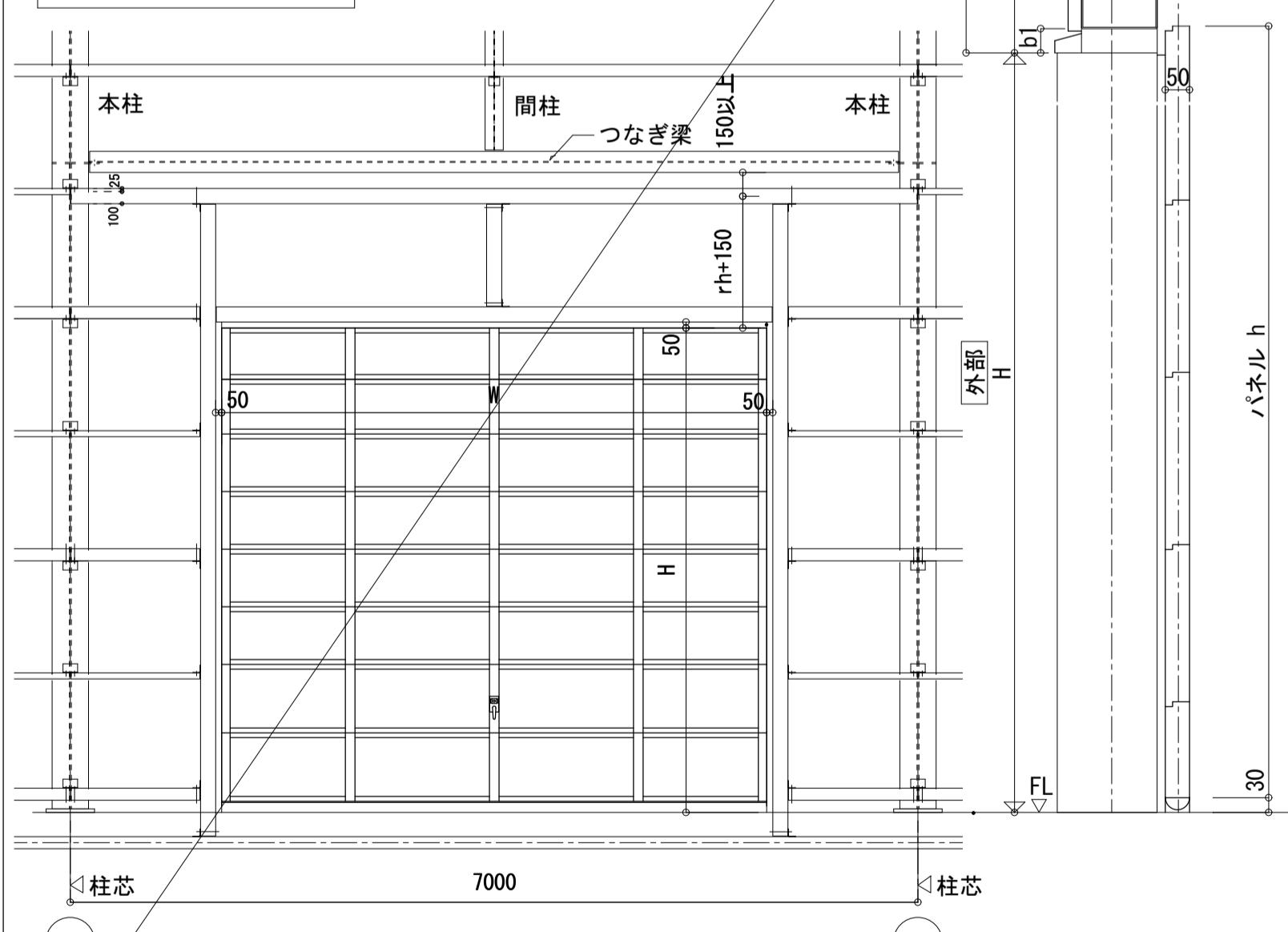


*1 シャッターボックス受け下地および三方枠は、支持間隔により胴縁断面を決定すること。
*2 シャッターボックス受け下地(梯子部材)は溶接組み立てとする。東材は@1000以下とする。
開口回り胴縁は100シリーズ、125シリーズ、150シリーズの配置も可とする。
参考例の有効開口寸法のH寸法は横胴縁の割付優先とする。

(2) オーバースライディングドア (ハイリフト型)

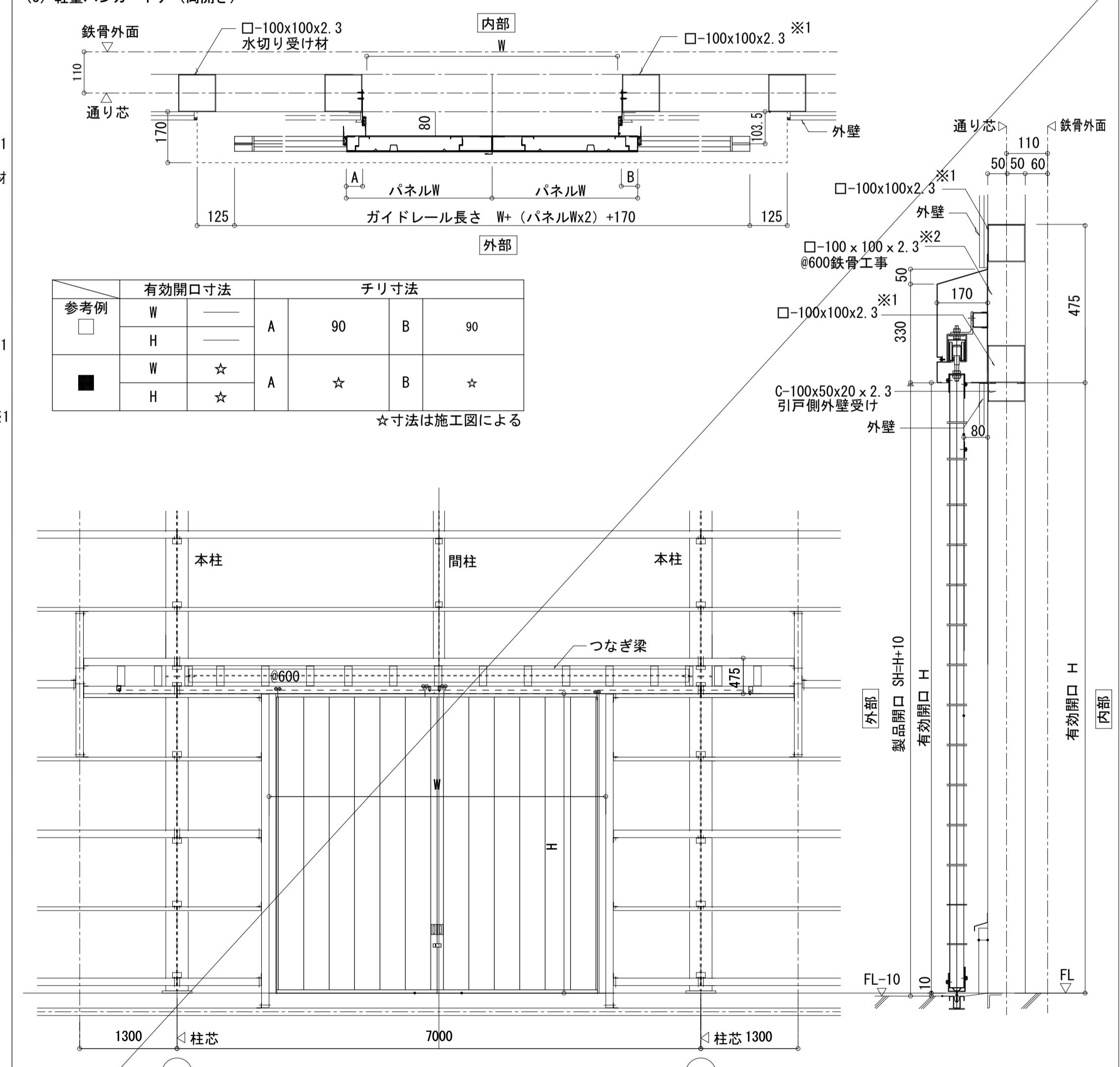


軸組詳細参考例 (OS4540*)

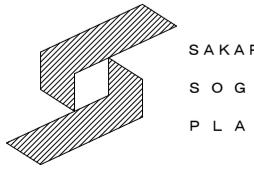


*1 プラケット受け材および三方枠は、支持間隔により胴縁断面を決定すること。
*2 レール受け下地(梯子部材)は溶接組み立てとする、東材は@600以下とする。
開口回り胴縁は100シリーズ、125シリーズ、150シリーズの配置も可とする。
参考例の有効開口寸法のH寸法は横胴縁の割付優先とする。

(3) 軽量ハンガードア (両開き)



*1 ガイドレール受け材および三方枠は、支持間隔により胴縁断面を決定すること。
*2 レール受け下地(梯子部材)は溶接組み立てとする、東材は@600以下とする。
開口回り胴縁は100シリーズ、125シリーズ、150シリーズの配置も可とする。



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第2321018号

訂正

発行	認	工事名	規格名	設計者	監修者
2025.10			TREO胴縁(横胴縁100シリーズ) 標準図(2)		
部長	次長	審査担当	一級建築士登録第101316号 栗原憲昭	一級建築士登録第289308号 伏見勇男	

S-06
A1-A3

深層混合処理工法（炎工法）による地業特記仕様書

1. 工法概要

本工事は、炎工法による、地盤改良地業であり、スラリー状のセメント系固化材を地中に注入しながら、原地盤を機械的に混合攪拌し、固化材の化学反応により所要の強度を持つ改良体を築造する工法である。

2. 一般事項

本工事は、本特記仕様書によるほか、「改訂版、建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」(日本建築センター)および「建築工事標準仕様書・同解説 JASS4 杭・地業及び基礎工事」(日本建築学会)による。

(1)本工事の施工業者は、炎工法協会に所属する指定の施工会社とする。(株式会社ソイル基工)

(2)同等工法で施工する場合は、工法取得会社、且つ応力照査等の技術力を有する会社に限る。

また、事前に同等工法である証明書を提出し監理者の承認を得ること。
同等工法とは、減水剤、界面活性剤（流動化剤）等の添加剤を使用せずに、変動係数25%で技術審査証明を取得した工法である。

3. 特記事項

(1)コラム径、掘削深度(設計コラム長+空堀長)、本数配置は設計図書による。ただし、コラム径・長さ・本数・位置及び固化材液の配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切だと判断される場合は、監督員の承認の下に変更することができる。

(2)本工事工法は、技術審査証明取得工法とし、施工は工法取得会社が行う。協会加盟店等はそれに含まれない。

(3)減水材は、土質や改良径、掘削長等を考慮し固化材に対して0.1%~1.0%の割合で加える場合がある。

4. 施工計画

(1)本施工業者は、本工法の施工技術に精通したものとする。

(2) 施工計画

施工に先立ち下記事項を記載した施工計画書を提出する。

- (8) 施工管理(管理項目、施工記録)
- (9) 品質管理
- (10) 安全衛生対策
- (11) 地盤概要(土質柱状図)
- (12) コラム伏図
- (13) 技術審査証明書(写し)

5 施工

(1) 作業地盤は、施工機械が傾斜、転倒しないように養生する。

(2) 基本的な施工手順を以下に示す。施工障害になる事項が出現した場合は、別途検討する

- 搅拌装置をコラム芯に合わせる。
- 固化材液を吐出せずに、空堀部分を所定の深度まで掘進する。
- 固化材液を吐出しながら掘進・搅拌混合する。
- 注入掘進工程が終了したら、固化材液の吐出を停止し先端部の練り返しを行う。
- 先端練り返し工程が終了したら、搅拌軸を逆回転し引き上げ搅拌混合する。

(3) 設計図書に示された支持地盤に着底する長さを実施コラム長という。

(4) 本工事により排出される発生残土は場内処分とする。

6 施工機械

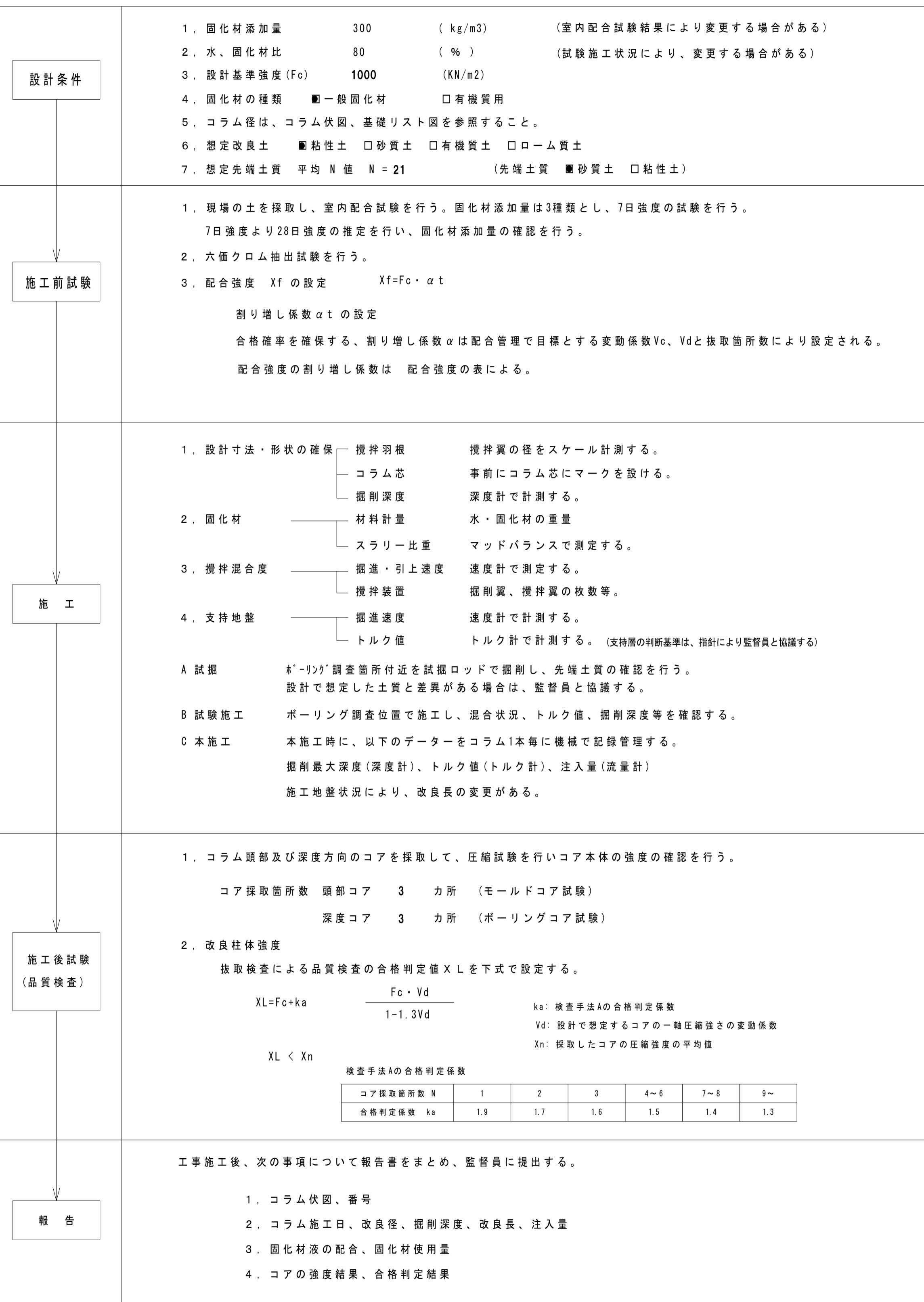
(1) 供回り現象を防止する機構を有し、固化材と原位置土を確実に搅拌混合できる搅拌装置を用いること。
(2) 所定の施工管理項目を測定し、記録できる管理装置を用いること。
(3) 施工本体は、改良コラムの品質管理が十分できる地盤改良専用機とする。
(4) ミキシングプラントは、所定の吐出量を十分供給できるものとする。

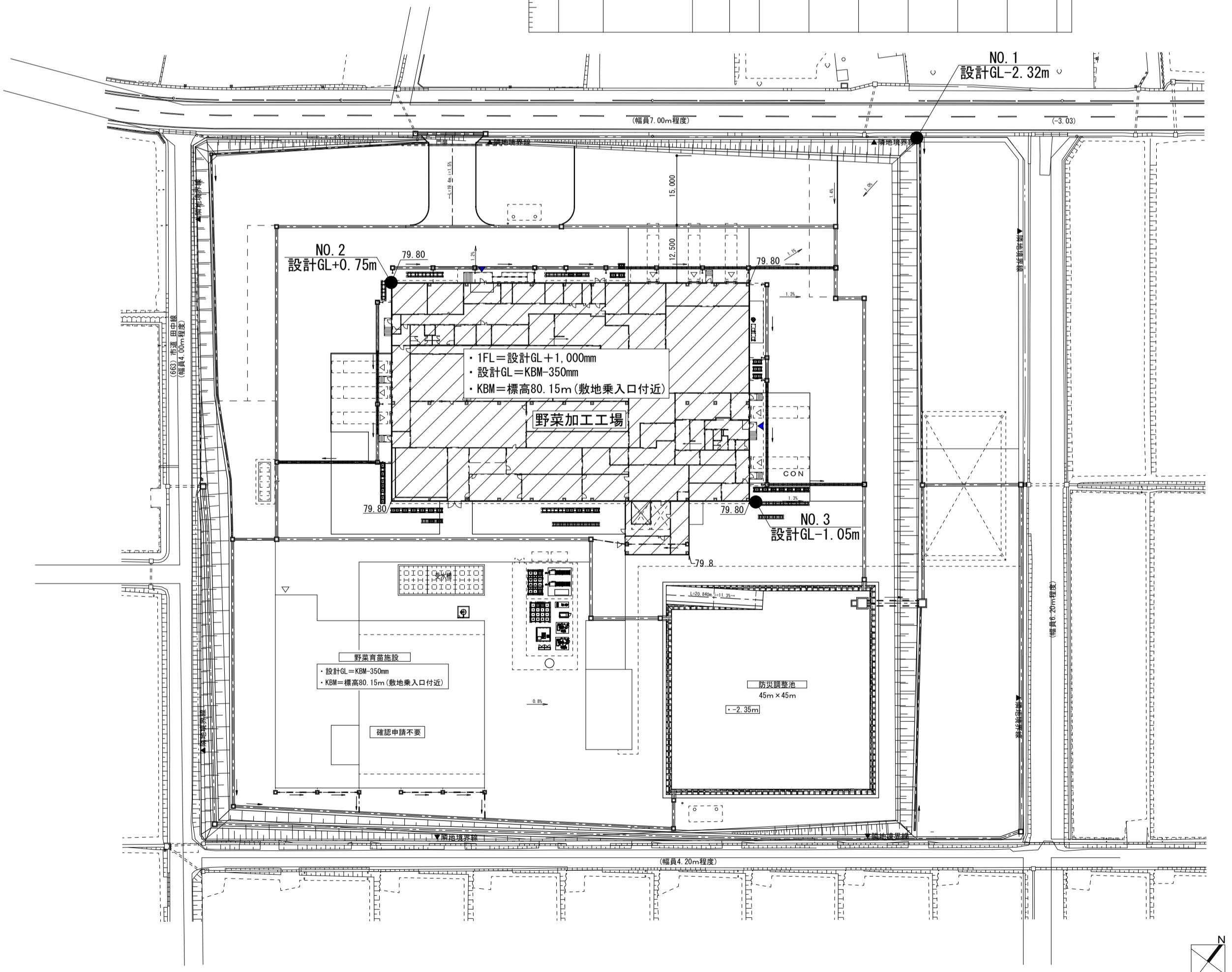
7. 配合管理

(1) 固化材液に使用する材料は、セメント系固化材とする。
(2) 配合強度

割増係数 α_t は、合格率 80%とした下表による。							
採取ヶ所数 N		1	2	3	4~6	7~8	9~
変動係数 V_c	25%	2.163	1.918	1.815	1.719	1.651	1.594

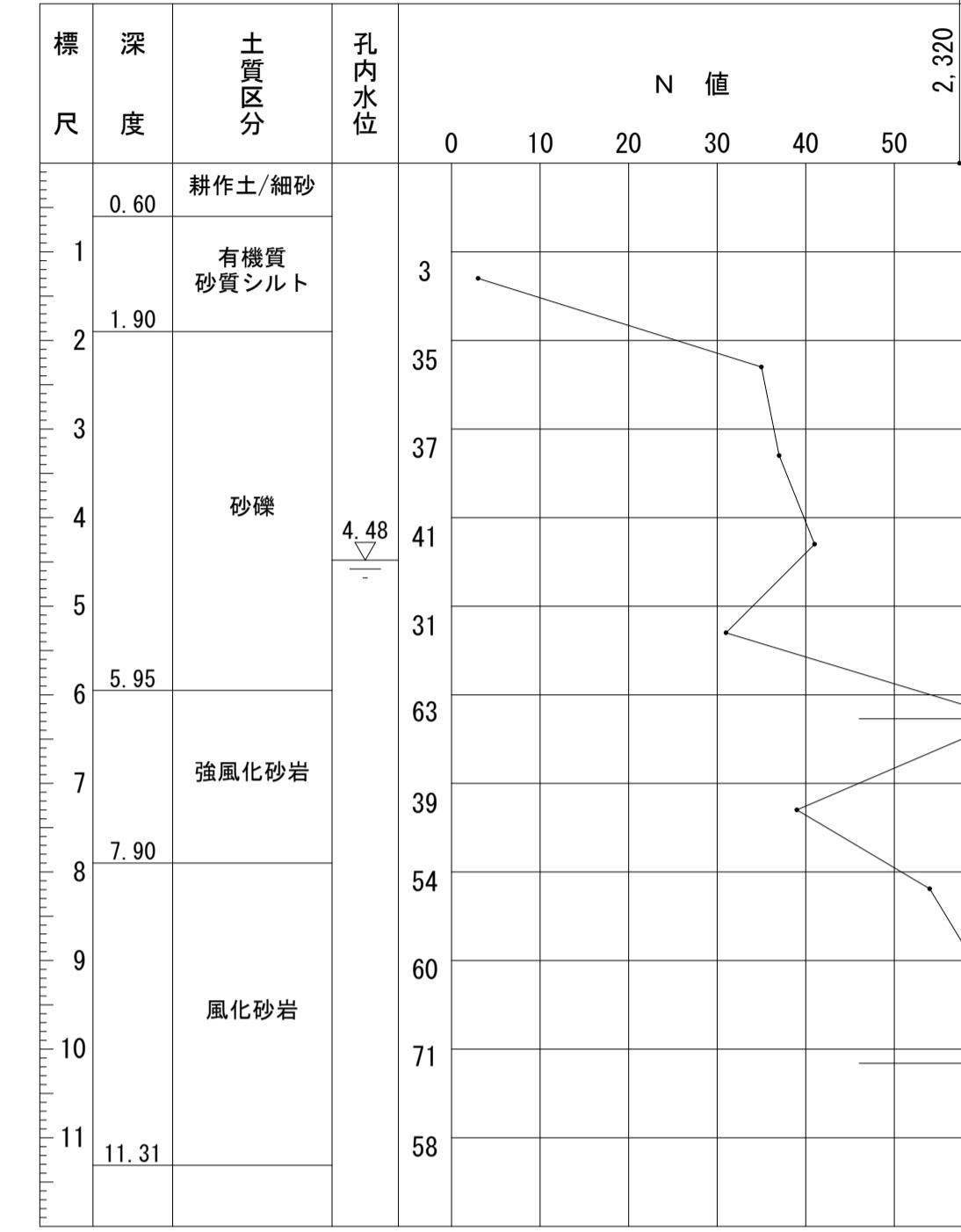
3. 施工管理方法



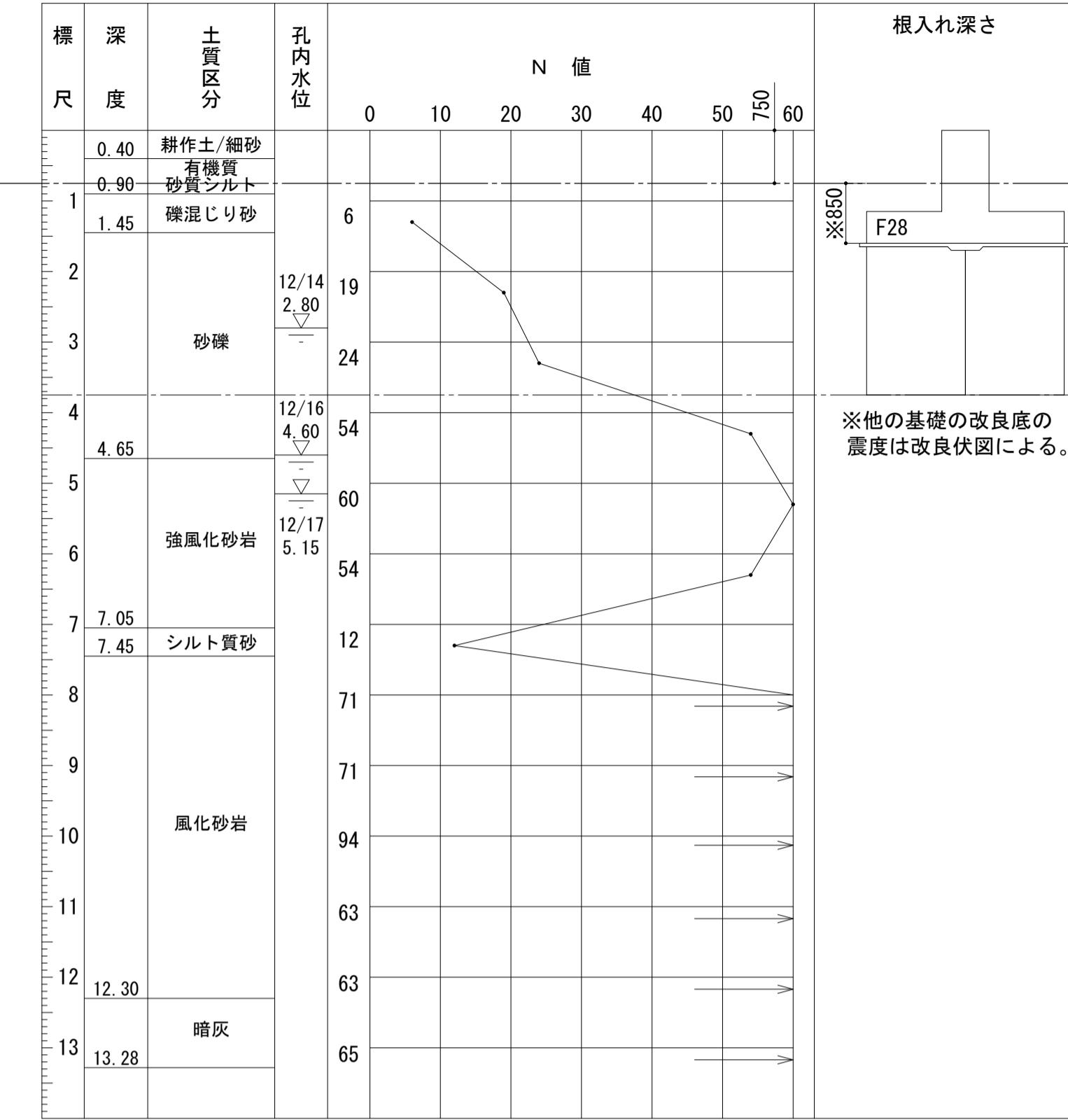


▽設計GL = 標高79.8m

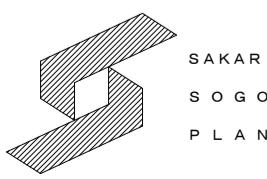
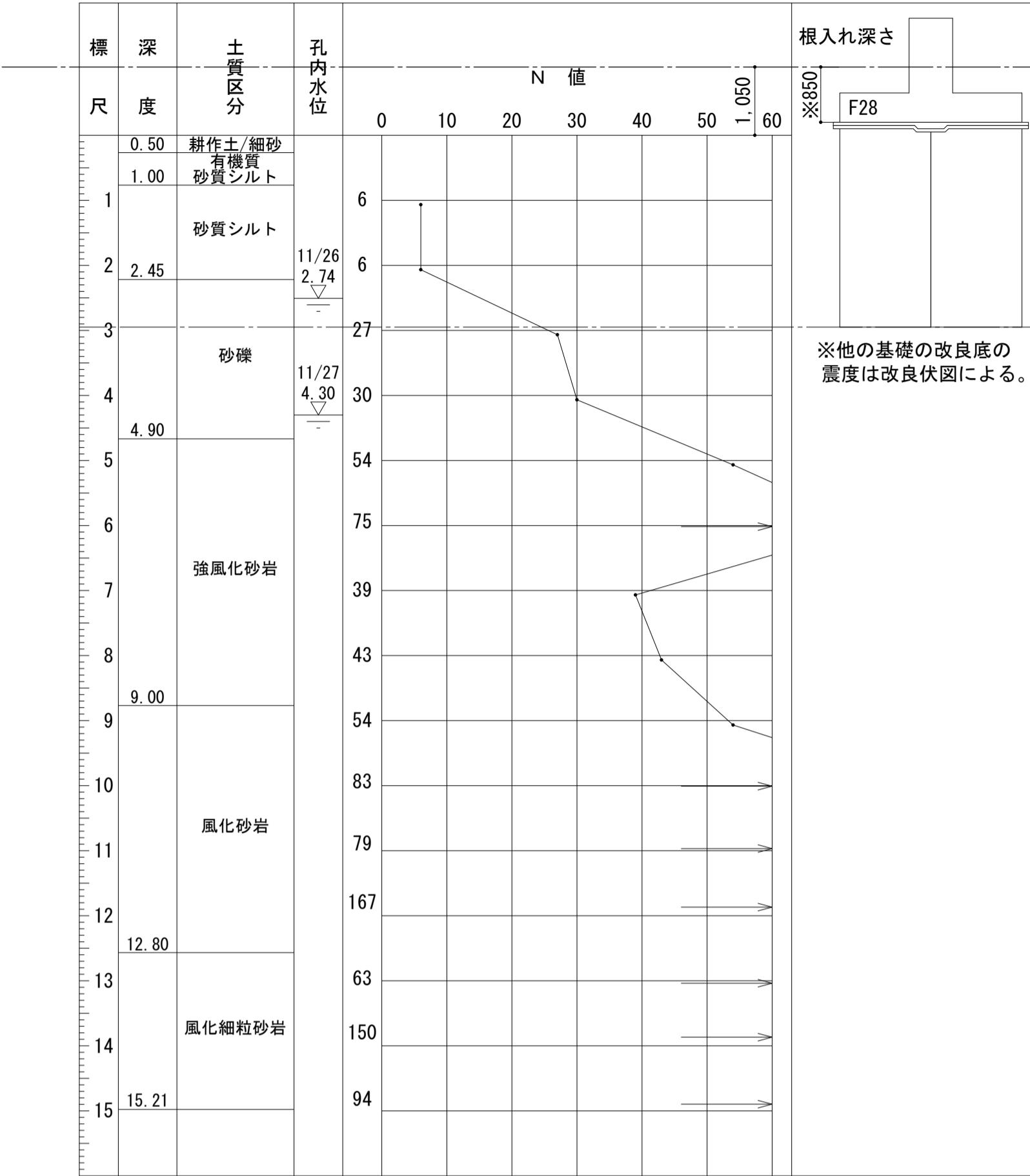
[NO. 1] 設計GL-2.32m



[NO. 2] 設計GL+0.75m



[NO. 3] 設計GL-1.05m

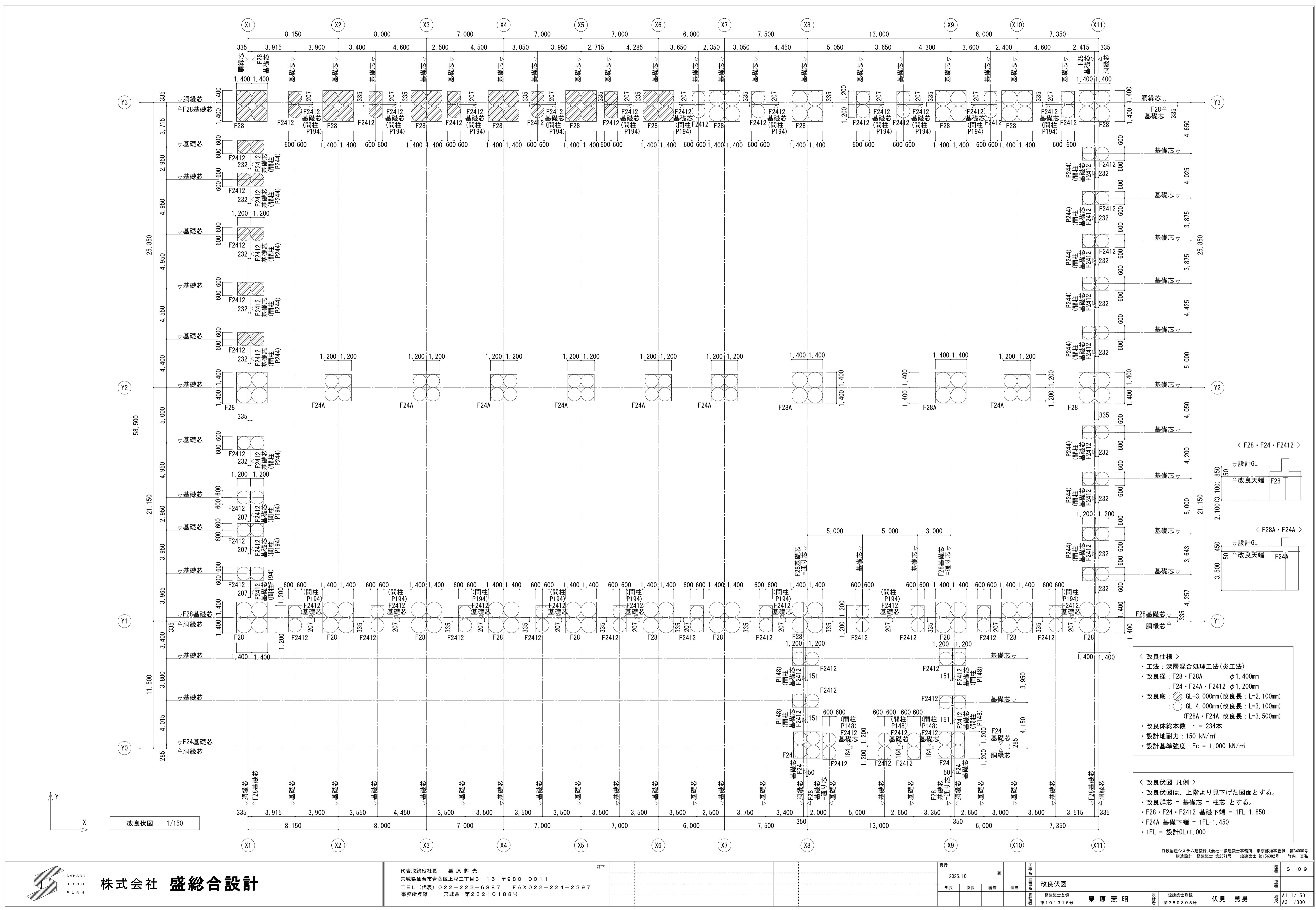


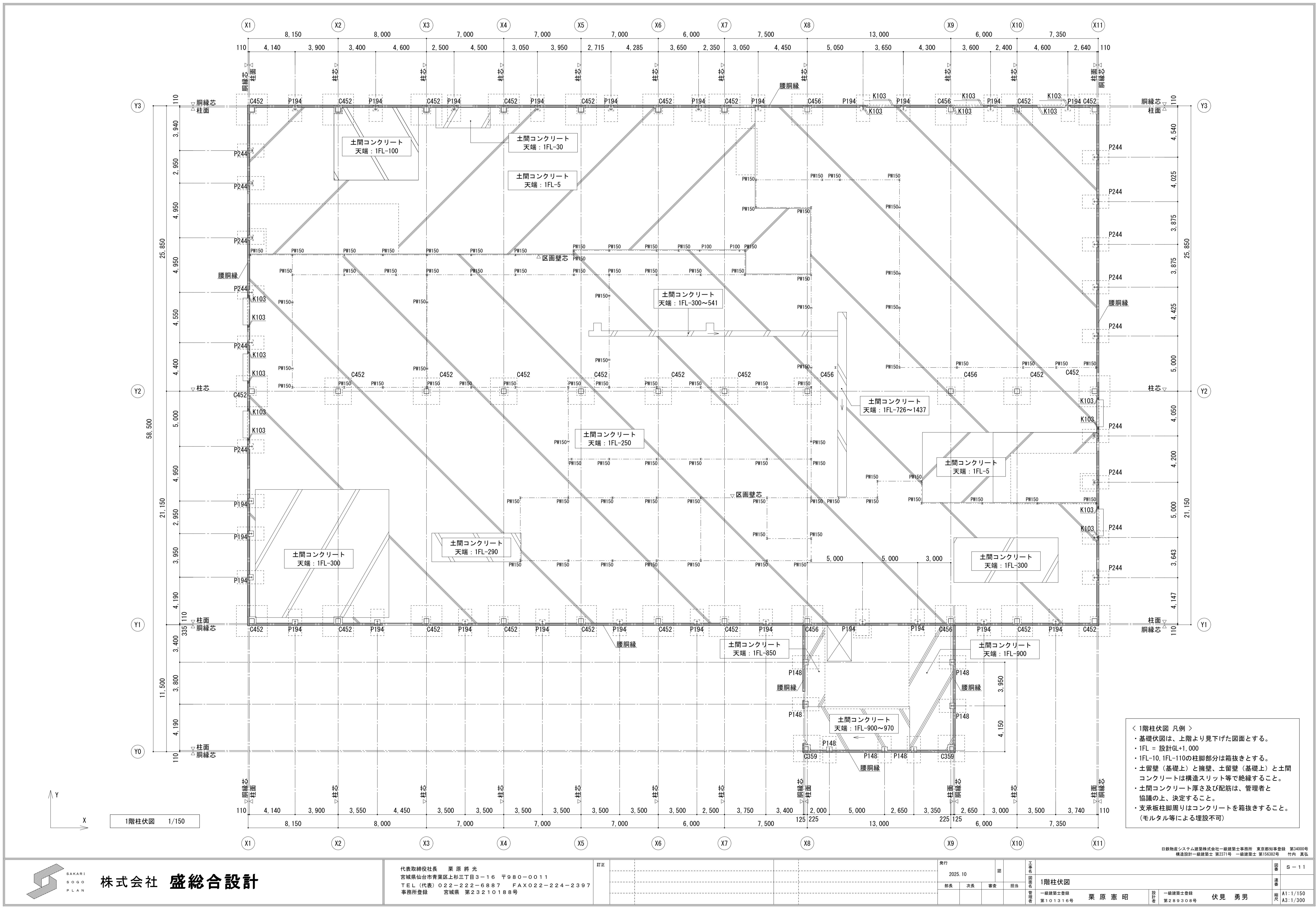
株式会社 盛総合設計

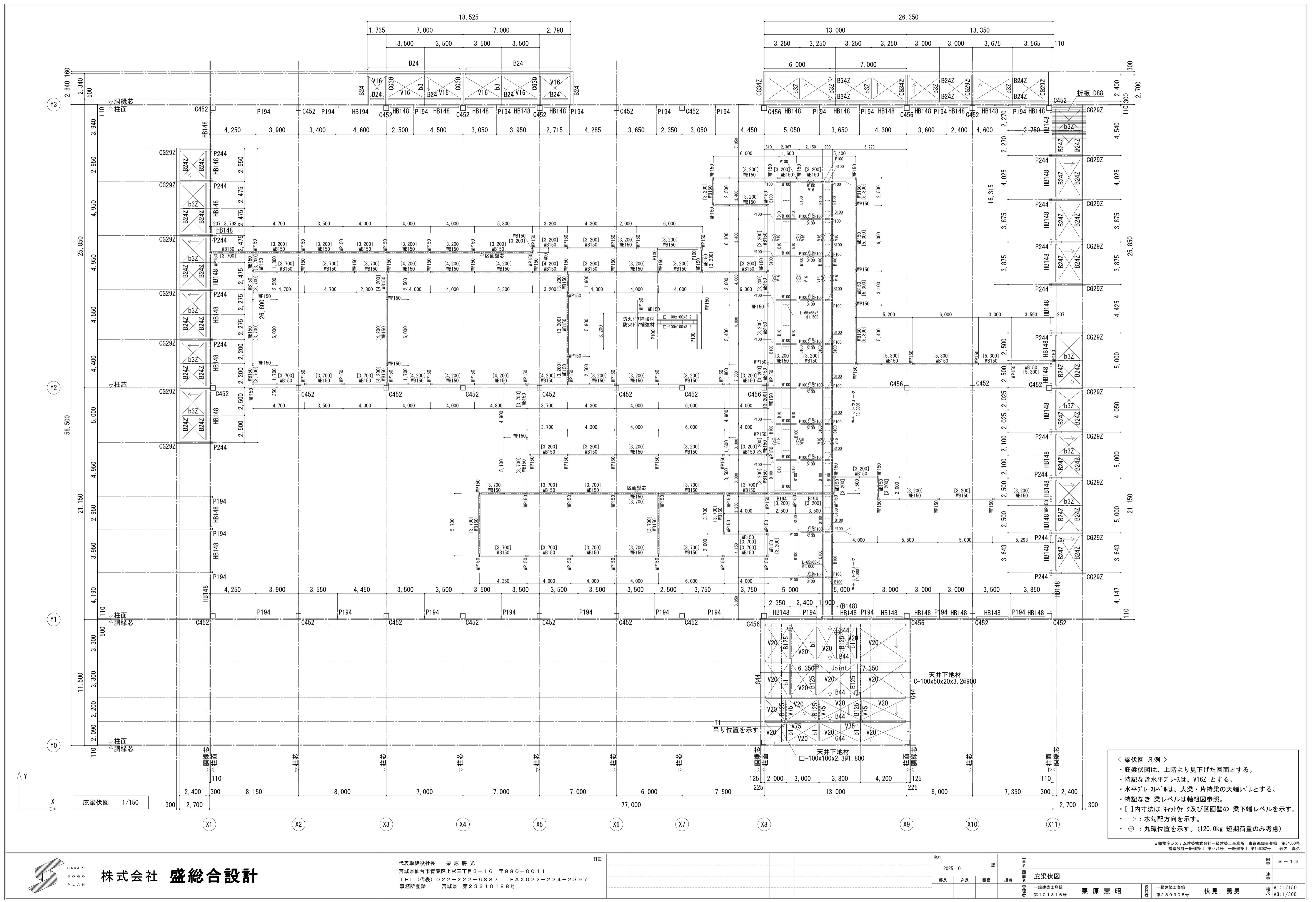
代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第2321018号

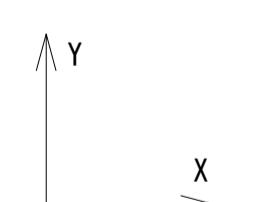
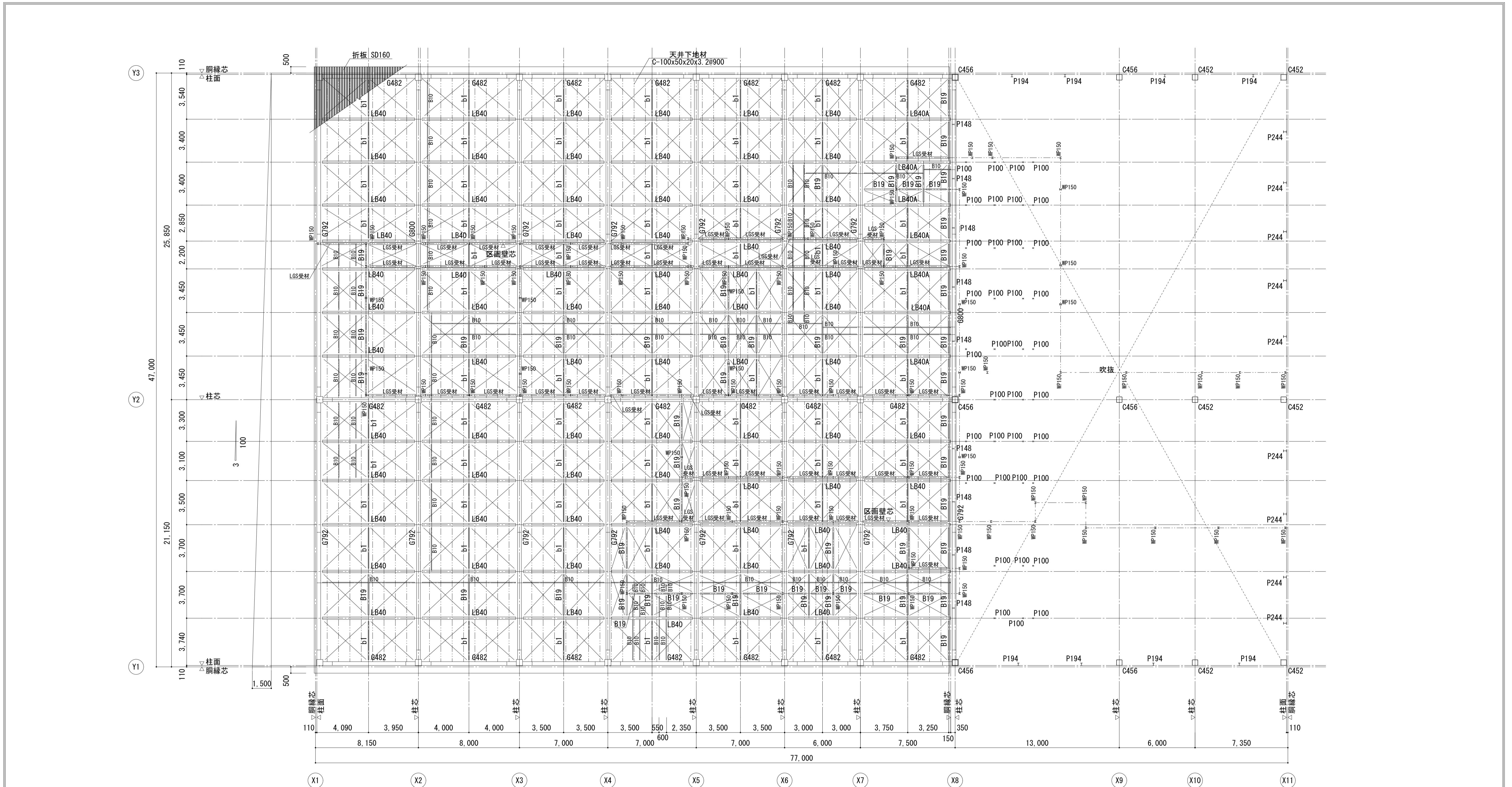
訂正

発行 2025.10 認
工事名 ポーリング柱状図
部長 次長 審査 担当
固有名
管理者 一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭
一級建築士登録 第289308号 伏見勇男
設計者
規格
S-O-8
A1-1/800
A3-1/1600







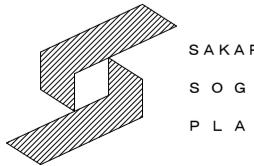


RF下層梁伏図 1/150

く 梁伏図 凡例 >

- RF下層梁伏図は、上階より見下された図面とする。
- 特記なき水平プレスは、V20とする。
- 水平プレスレベルは、大梁の天端レベルとする。
- Y1通り大梁天端 = 水上梁天 = FL+6, 600mm
- Y3通り大梁天端 = 水下梁天 = FL+5, 100mm
- 折板を受ける小梁天端レベルは大梁天端+75mmとする。
- 大梁上タブレット受材 : □-75x75x2.3とする。
- 妻側大梁上タブレット受材 : □-75x75x2.3@1, 500以下とする。
- 区画壁直上のB19天端レベルは、大梁天端±0とする。
- ケーブルラック受け(B10)を受けるB19天端レベルは、大梁天端-90とする。
- B10(ケーブルラック受材・オーバースライダー受材)の下端レベルは、LB40の下端合せとする。
- 天井下地材は、LB40の下端取付とする。

日鉄物流システム建設株式会社一般建築士事務所 東京都知事登録 第3400号
構造設計一般建築士 第2371号 一般建築士 第156382号 委内 真弘



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第23210188号

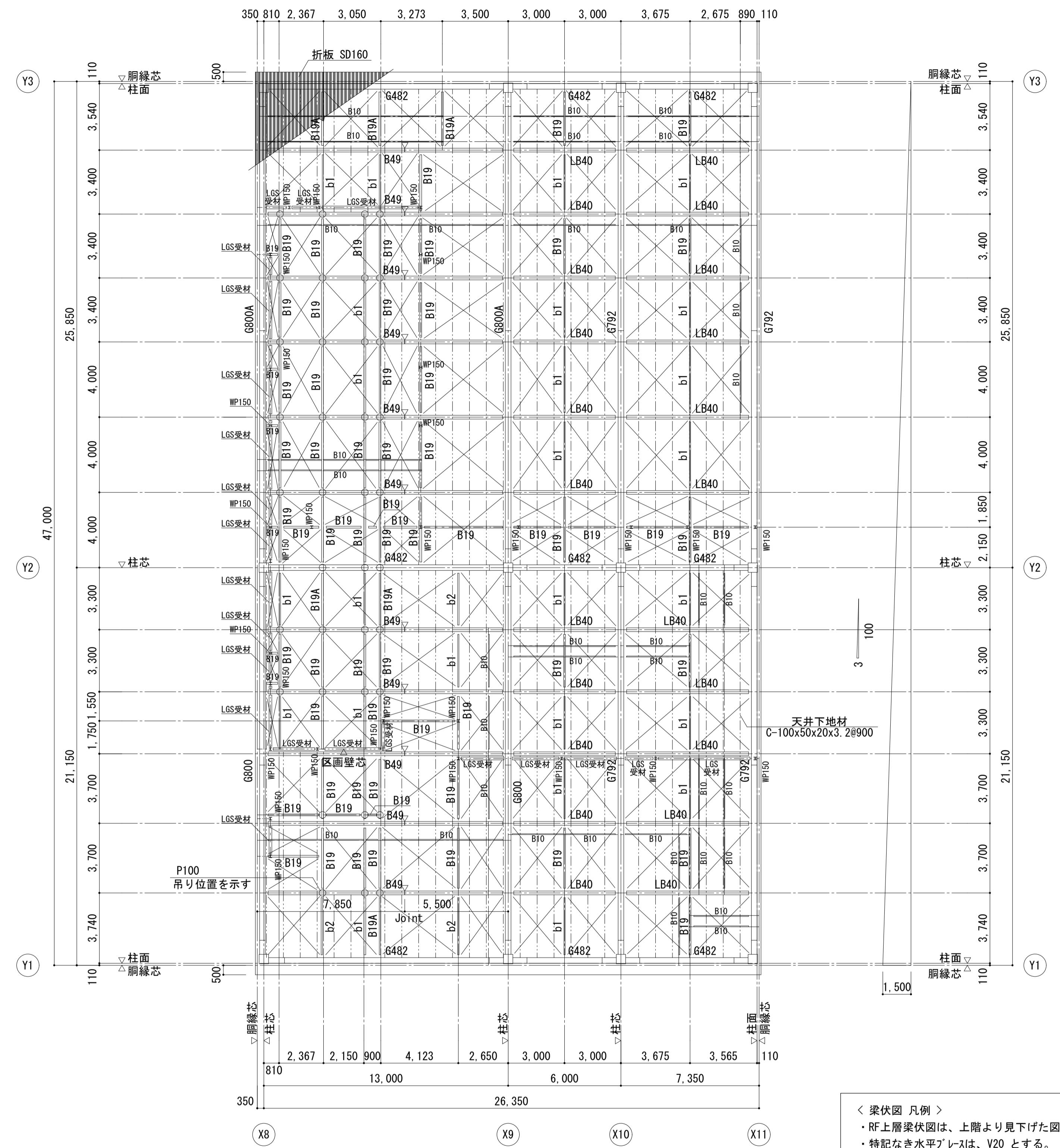
訂正

発行	認	主 任 者 名	図 名	規 格
部長	次長	審査	担当	
2025.10			RF下層梁伏図	
管理 者	監 修 者	設計 者	一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭	A1:1/150 A3:1/300

S - 1 3

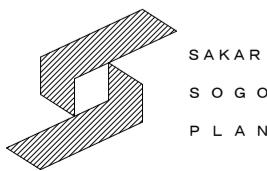
規格

方針



< 梁伏図 凡例 >

- ・RF上層梁伏図は、上階より見下された図面とする。
- ・特記なき水平アレームは、V20とする。
- ・水平アレームは、大梁の天端レベルとする。
- ・Y1通り大梁天端 = 水上梁天 = FL+7, 650mm
- ・Y3通り大梁天端 = 水下梁天 = FL+6, 150mm
- ・折板を受ける小梁天端レベルは大梁天端+75mmとする。
(ただし、B44は大梁天端+0mm)
- ・大梁上、B44上サクレーム受材 : □-75x75x2.3とする。
- ・妻側大梁上ラバーフレーム受材 : □-75x75x2.3@1, 500以下とする。
- ・区画壁直上のB19天端アームは、大梁天端-15とする。
- ・キャットウォーク受け(B10)を受けるB19天端アームは、大梁天端-90とする。
- ・B10(ケーブルラック受材・オーバースライダー受材)の下端アームは、LB40の下端合せとする。
- ・天井下地材は、LB40の下端取付とする。

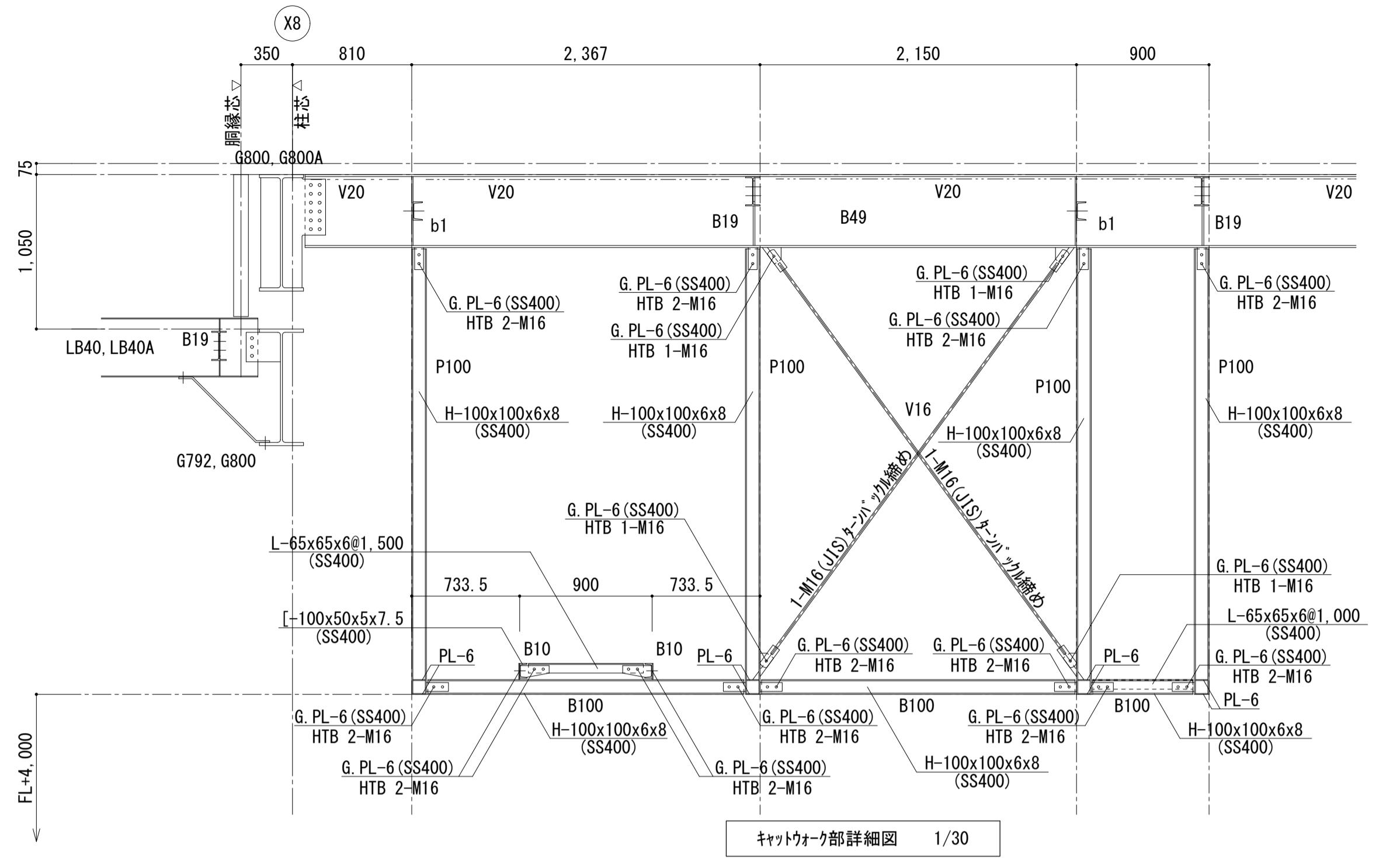


株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第2321018号

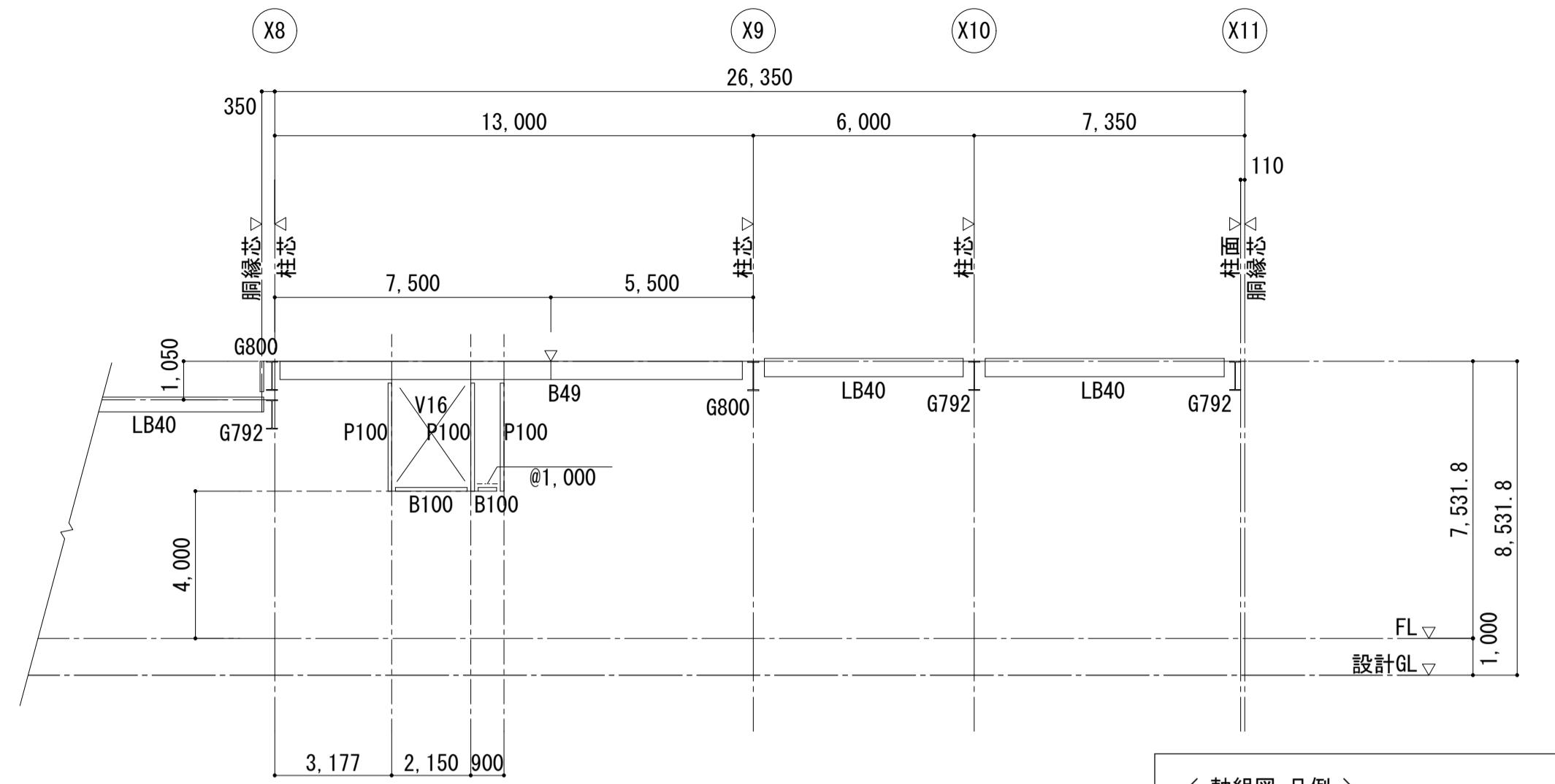
訂正

発行	2025.10	認	
部長		次長	審査担当
主任			
監修者			
管理責任者			
RF上層梁伏図			
一級建築士登録第101316号	栗原憲昭	設計者	
A1-1/150			
A3-1/300			

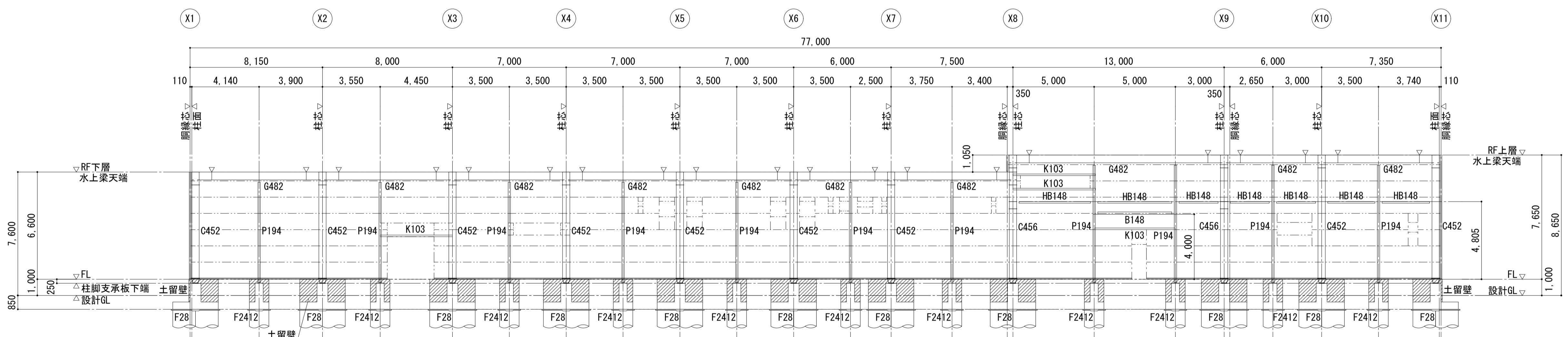


＜軸組図 凡例 ＞

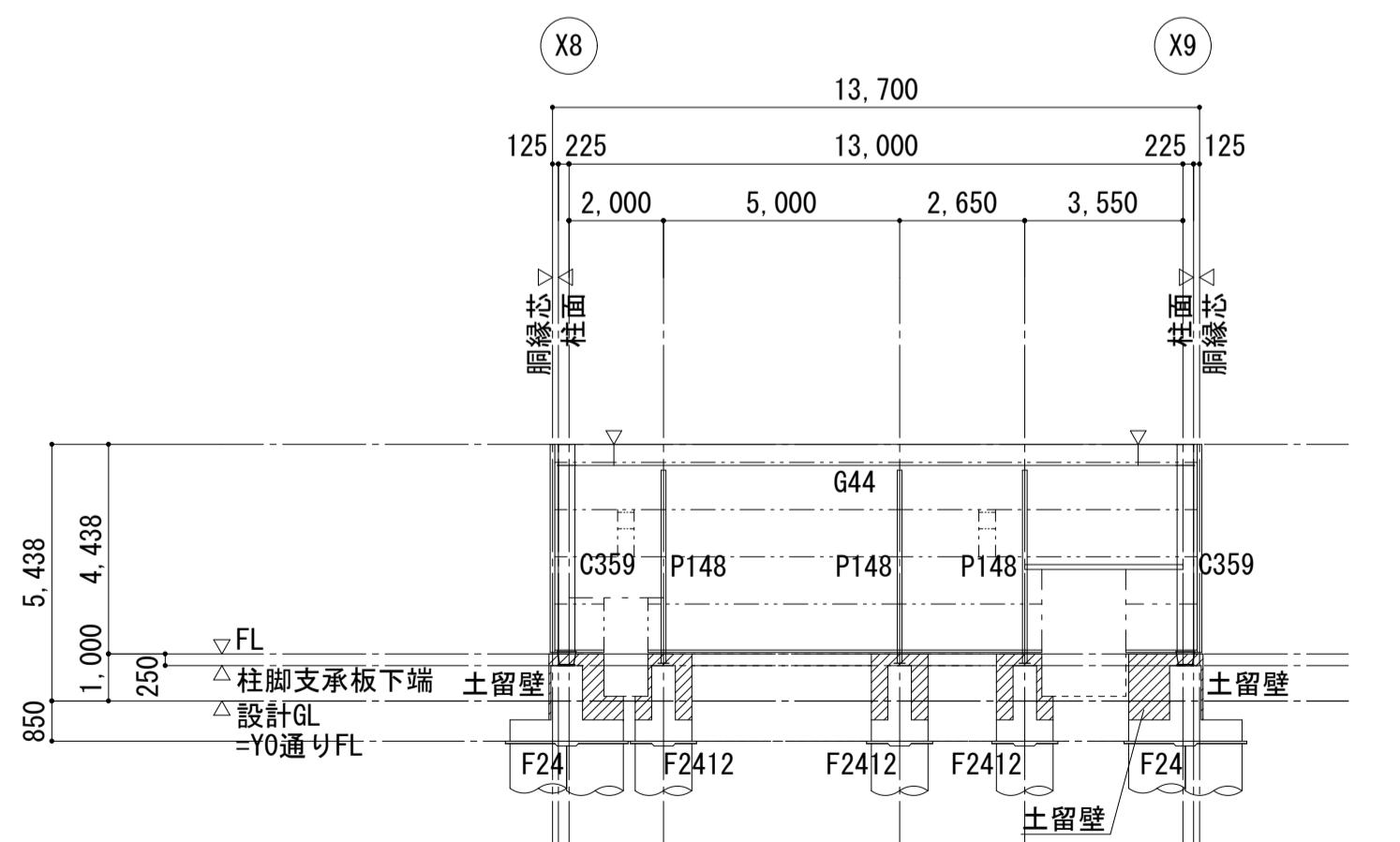
- ・ ∇ : Joint位置を示す。
(特記なき場合は柱芯から1,000とする。)
- ・ --- : D152 : C-100x50x20x2.3@1,000以下を示す。
ボード継目は2C-100x50x20x2.3 または □-100x100x2.3 とする。
- ・ 最下段の横胴縁は端部および@2,000以下ごとにRC立上り等に繋結する事(モルタル30mm)。
- ・ 既製品のメーカー仕様により必要な部材は受材含めて、意匠図によること。
(ドックシェルター、オーバースライダー、防火ドア、既製品庇)



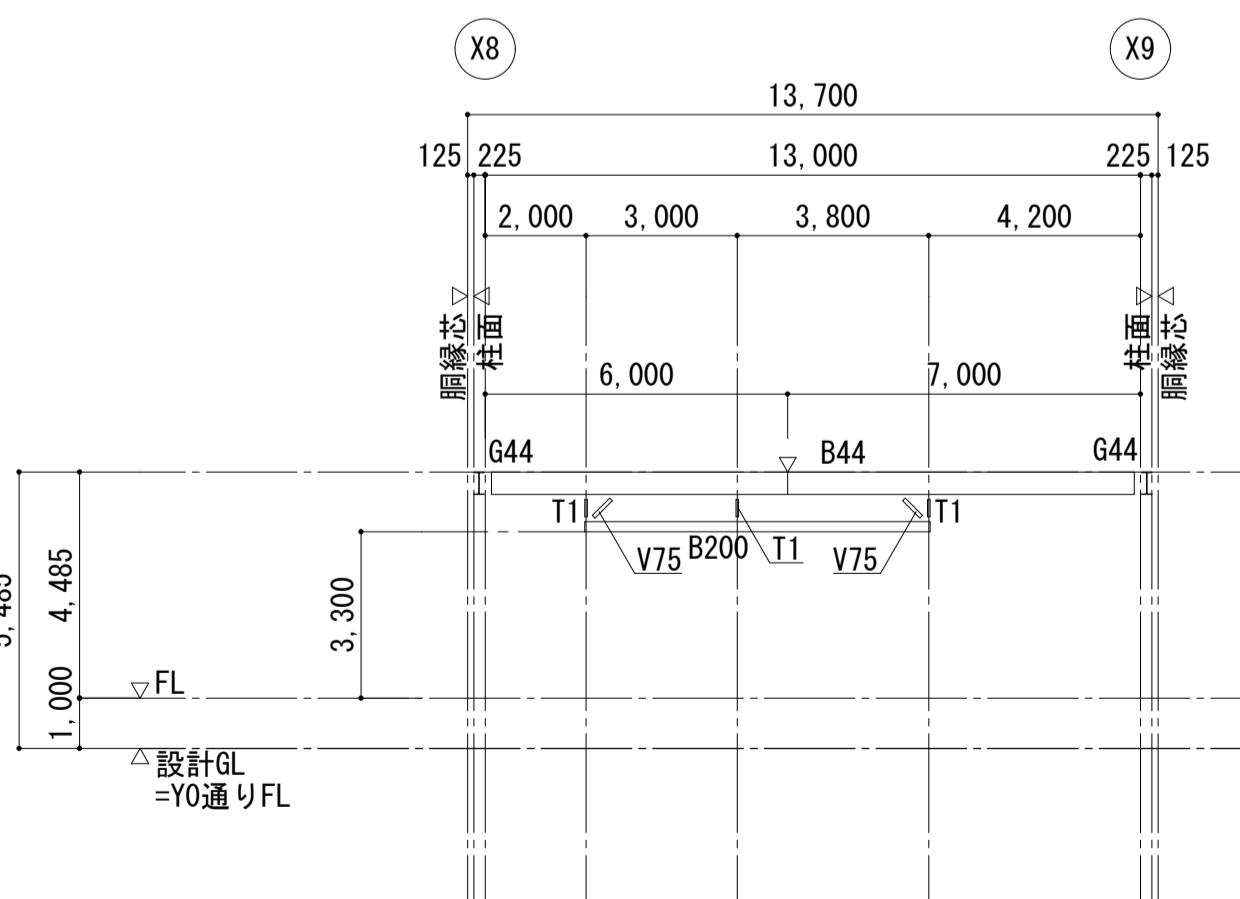
Y1+3, 850通り軸組図 1/150



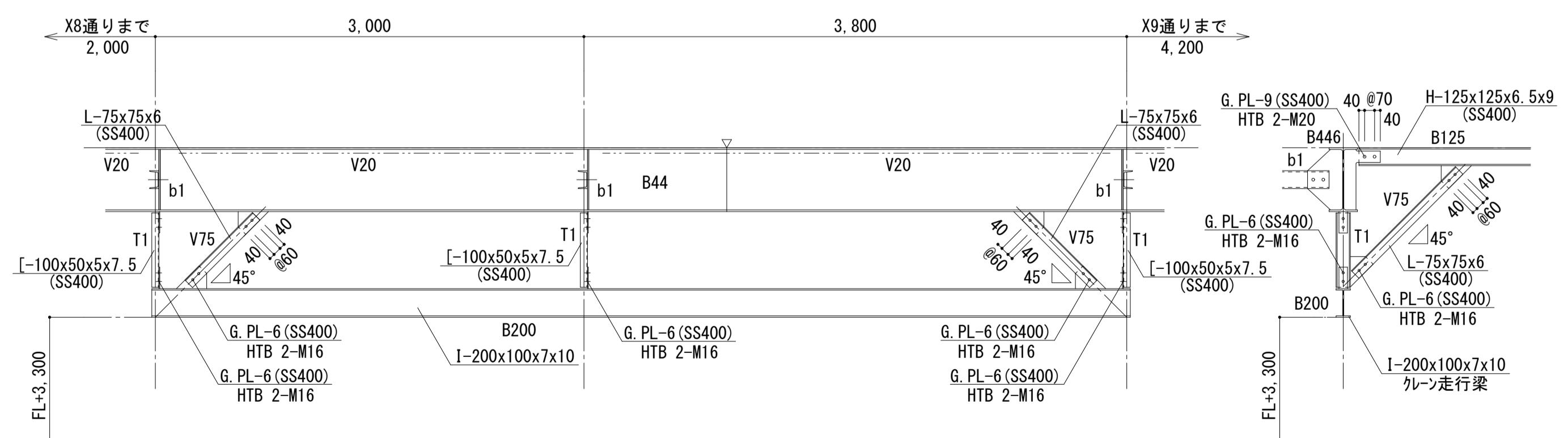
Y1通り軸組図 1/150



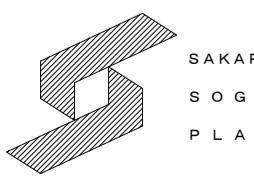
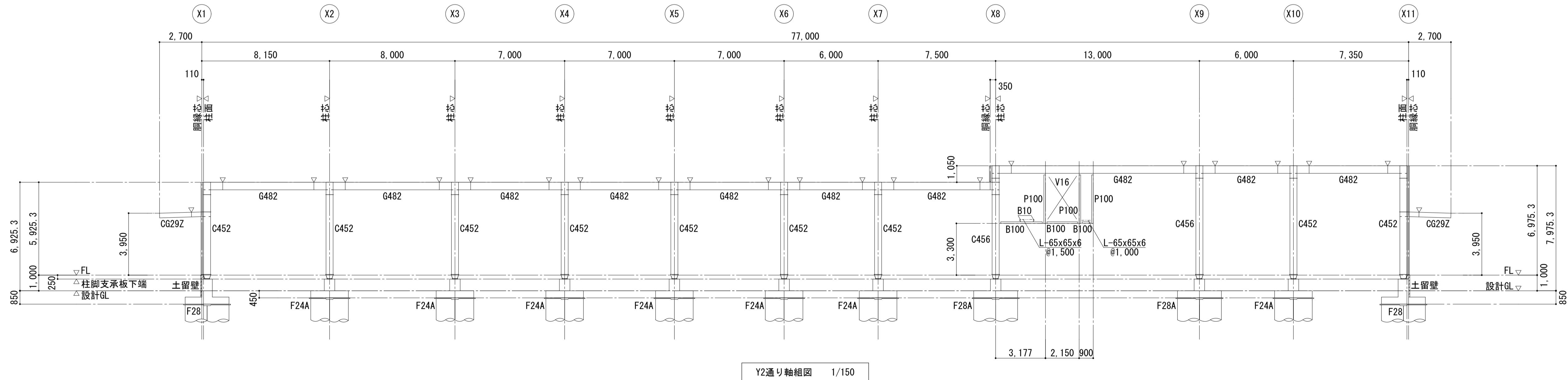
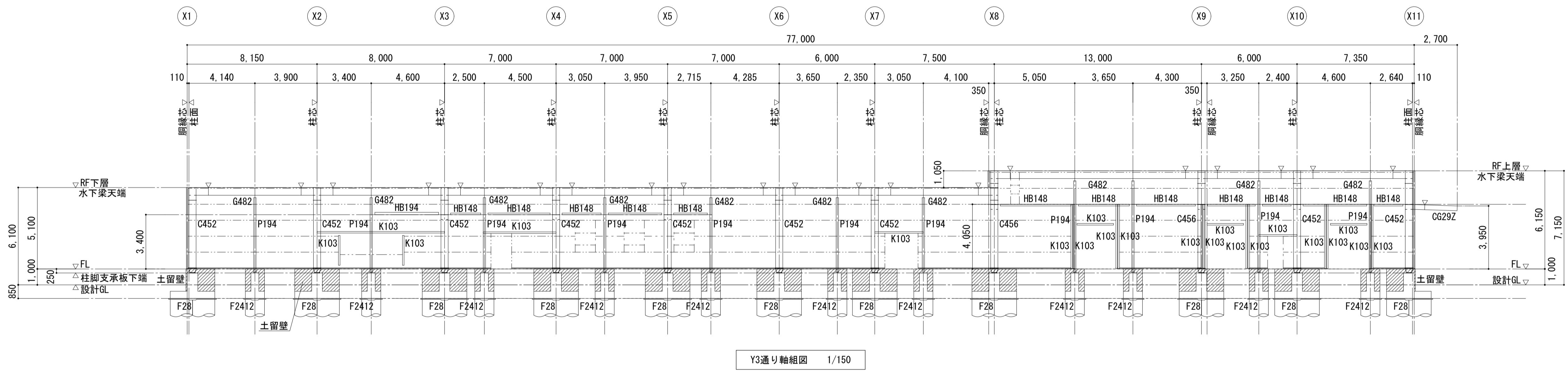
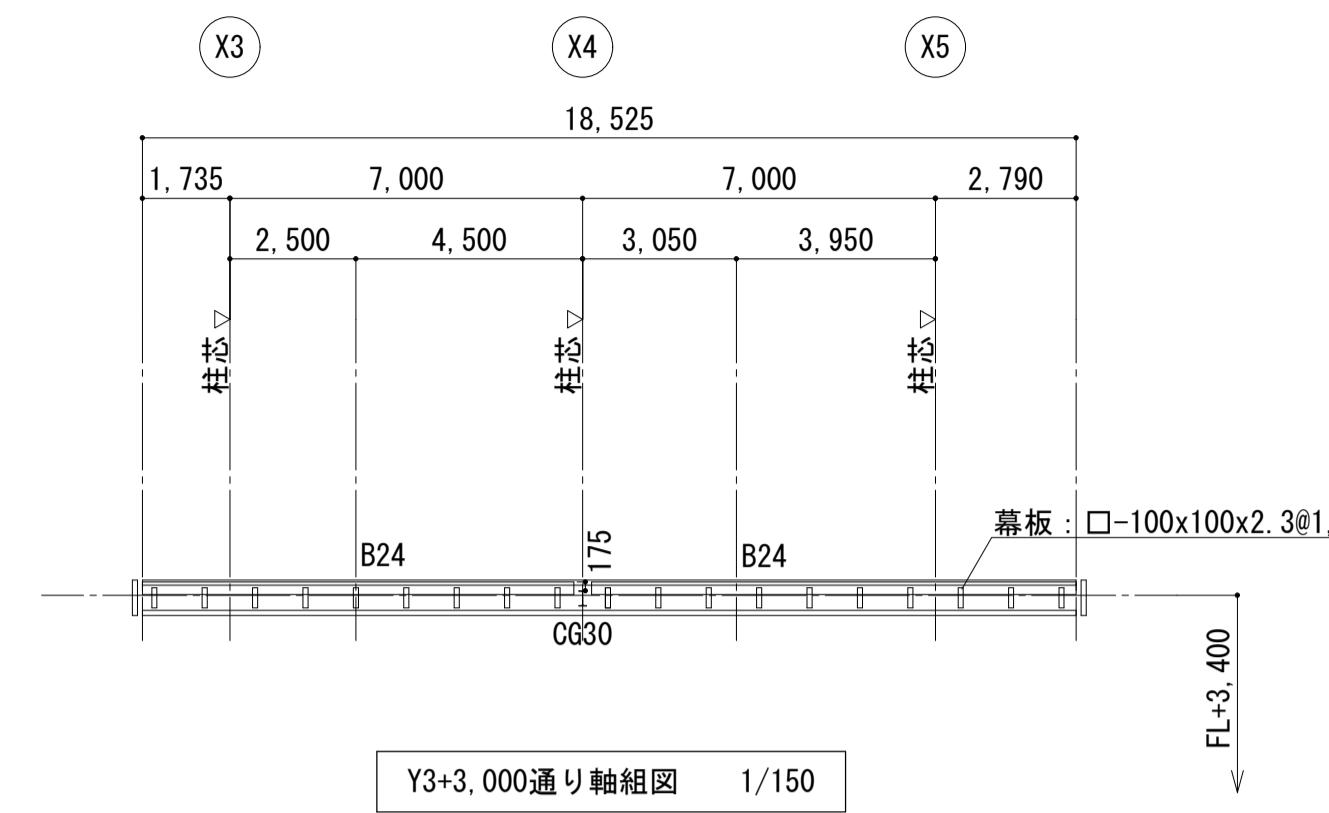
Y0通り軸組図 1/150



Y0通り+2,000軸組図 1/150



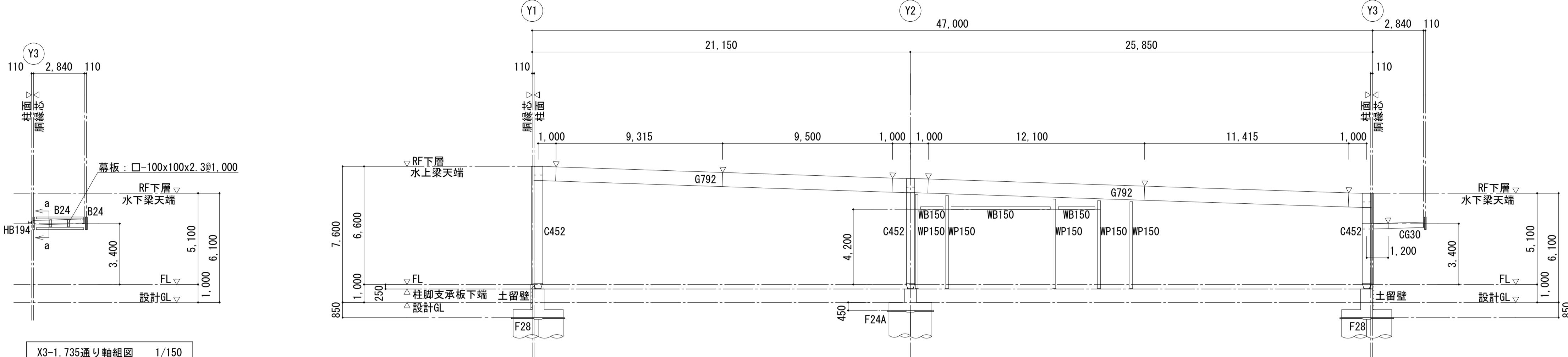
ホイストクレーン部詳細図 1/30



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL (代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2397
事務所登録 宮城県 第2321018号

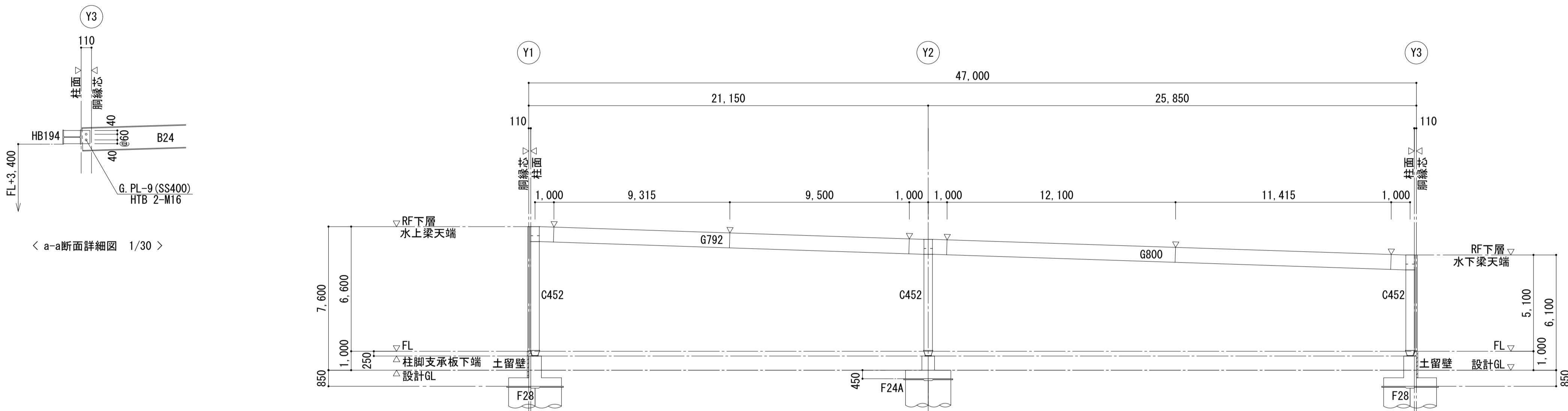
発行				認	主 題 名 称 名	軸組図-2	S-16	
部長	次長	審査	担当	監 修 者			一級建築士登録 第101316号 栗原憲昭	一級建築士登録 第289308号 伏見勇男
							A1-1/150	A3-1/300



X3-1, 735通り軸組図

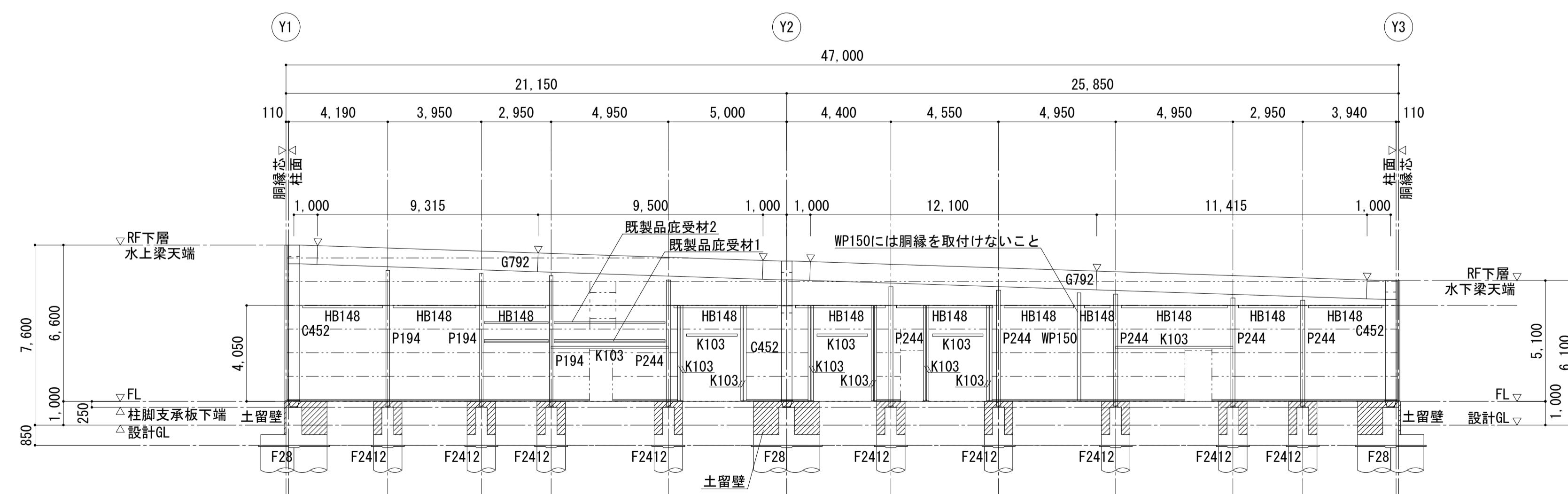
1/150

X3通り軸組図 1/150



< a-a断面詳細図 1/30 >

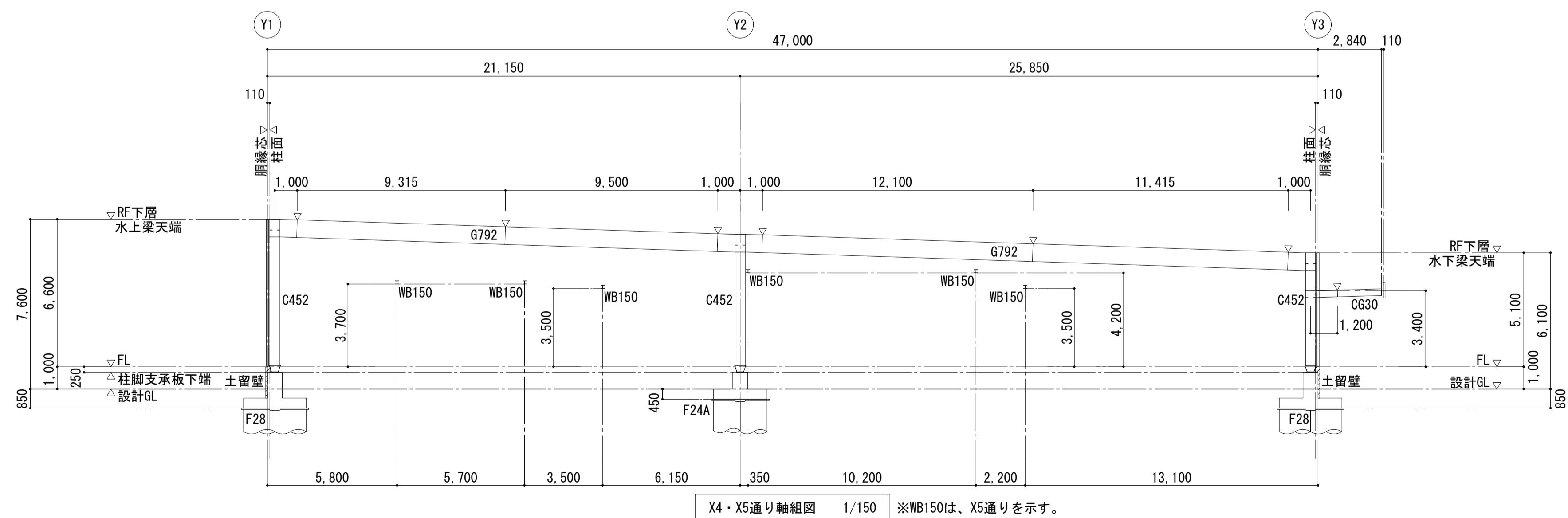
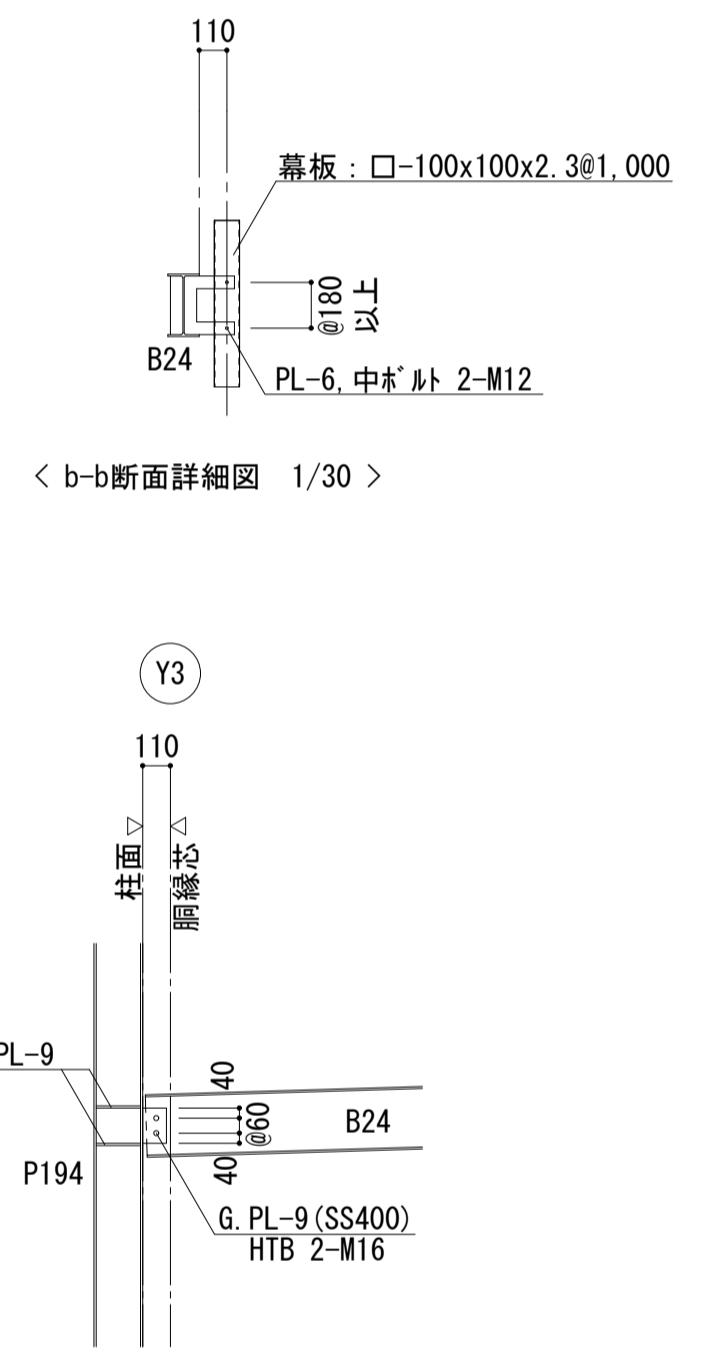
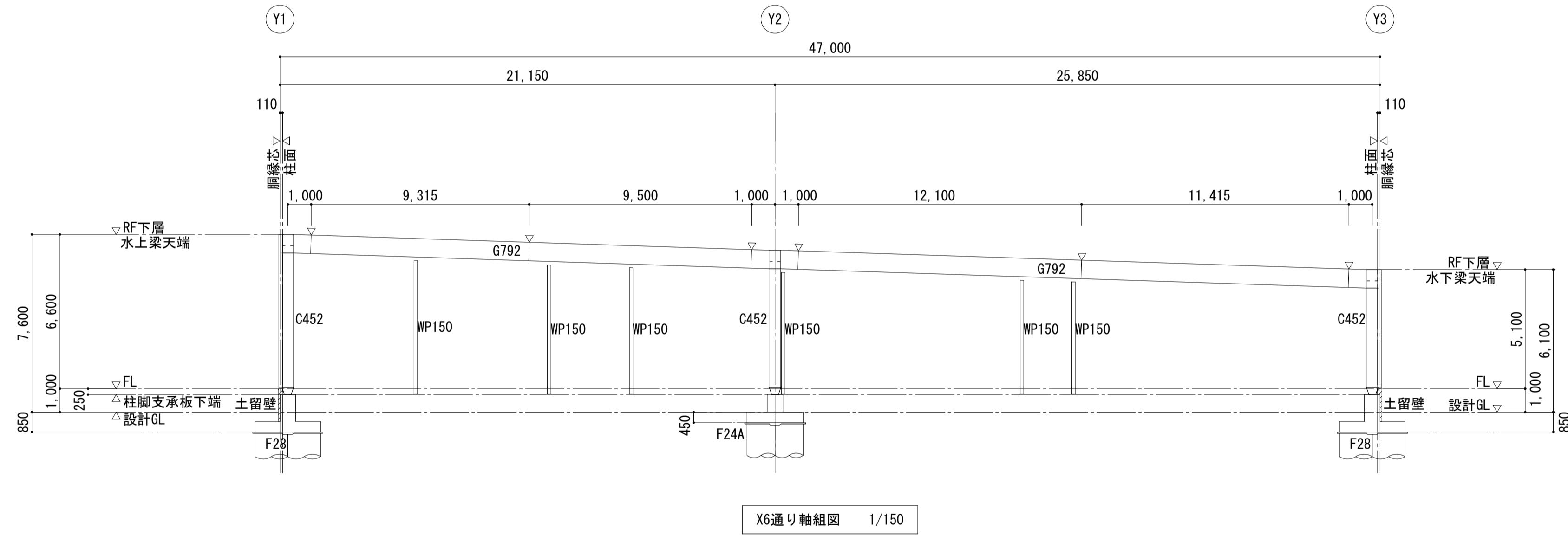
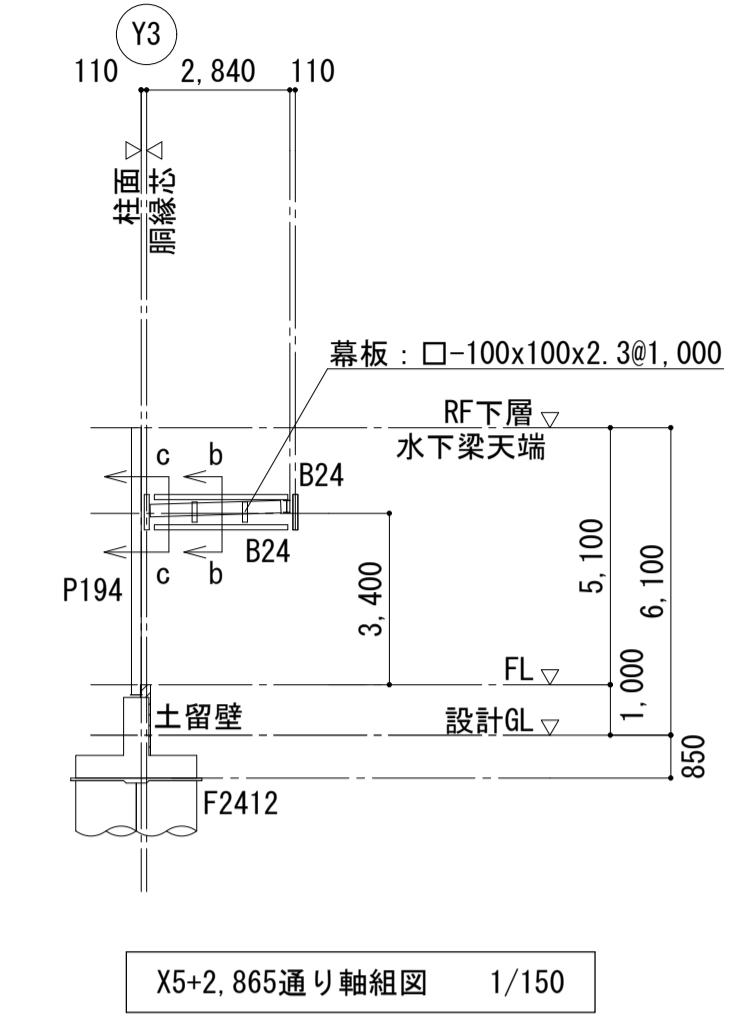
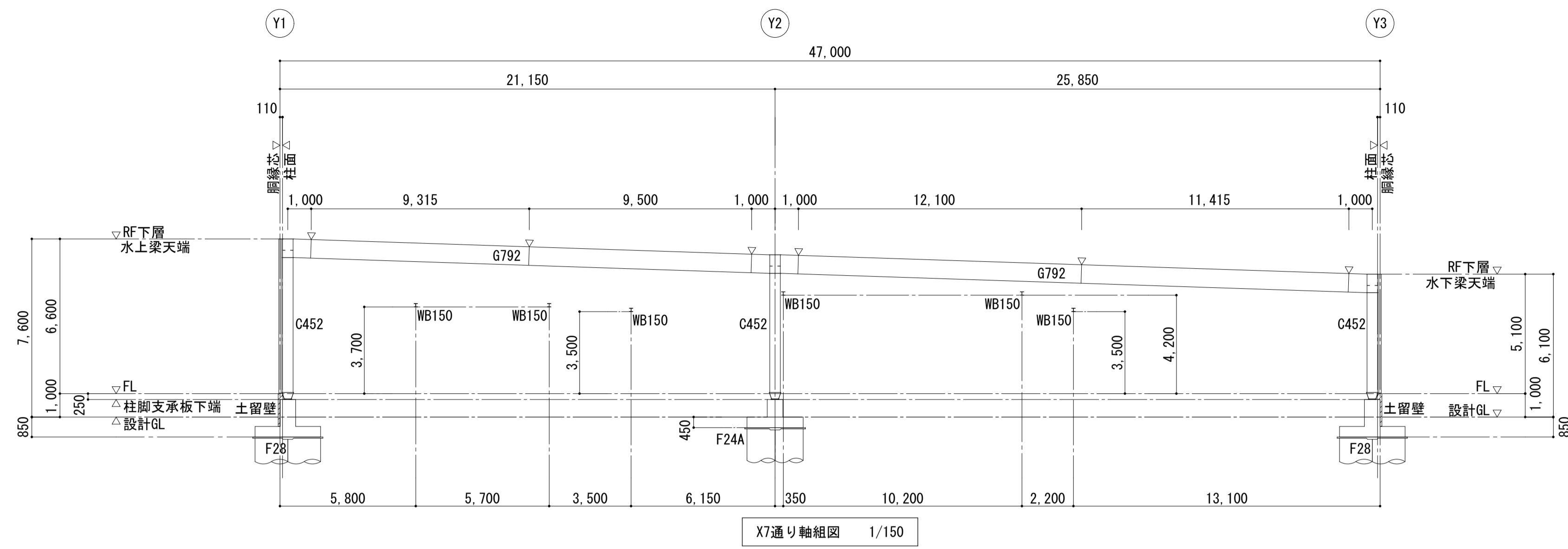
X2通り軸組図 1/150



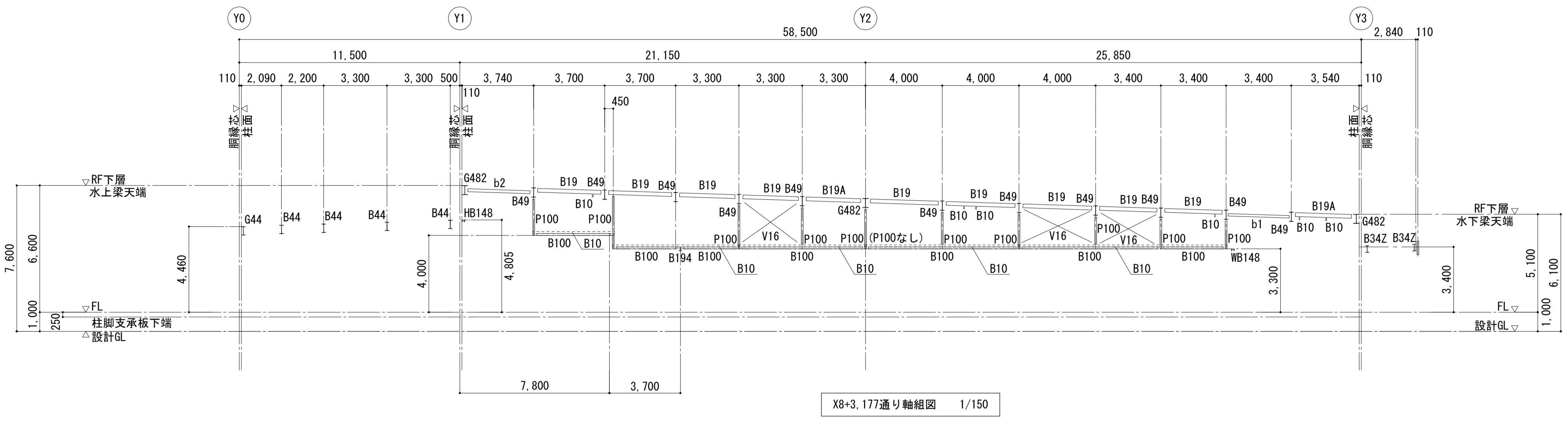
X1通り軸組図 1/150

〈 軸組図 凡例 〉

- ・ : Joint位置を示す。
(特記なき場合は柱芯から1,000とする。)
- ・ : D152 : C-100x50x20x2.3@1,000以下を示す。
ボード継目は2C-100x50x20x2.3 または □-100x100x2.3 とする。
- ・ 最下段の横胴縁は端部および@2,000以下ごとにRC立上り等に緊結する事(モルタル30mm)。
- ・ 既製品のメーカー仕様により必要な部材は受材含めて、意匠図によること。
(ドックシェルター、オーバースライダー、防火ドア、既製品庇)

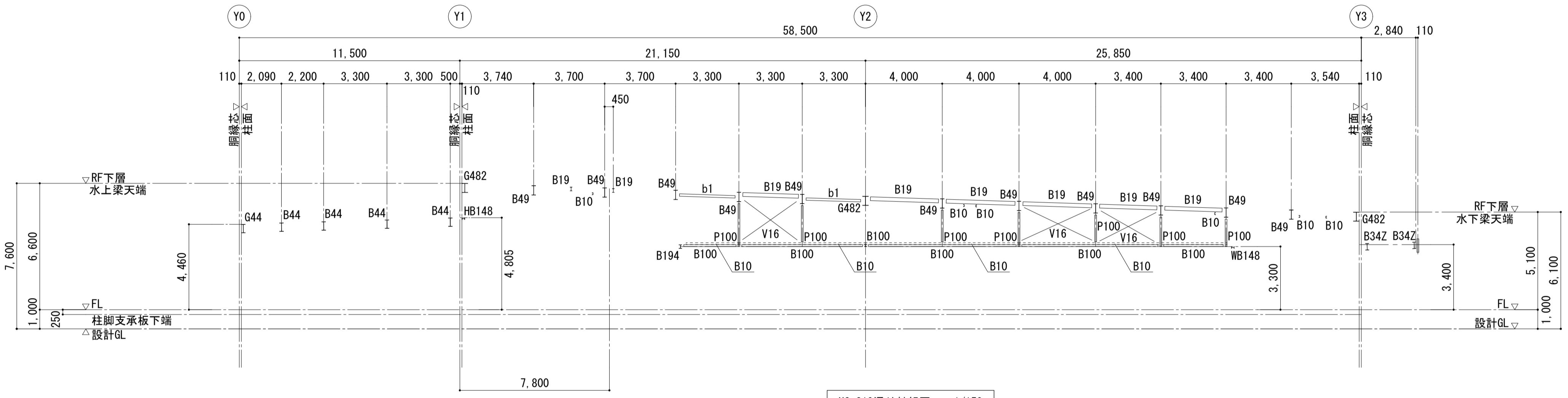


X4・X5通り軸組図 1/150 ※WB150は、X5通りを示す。

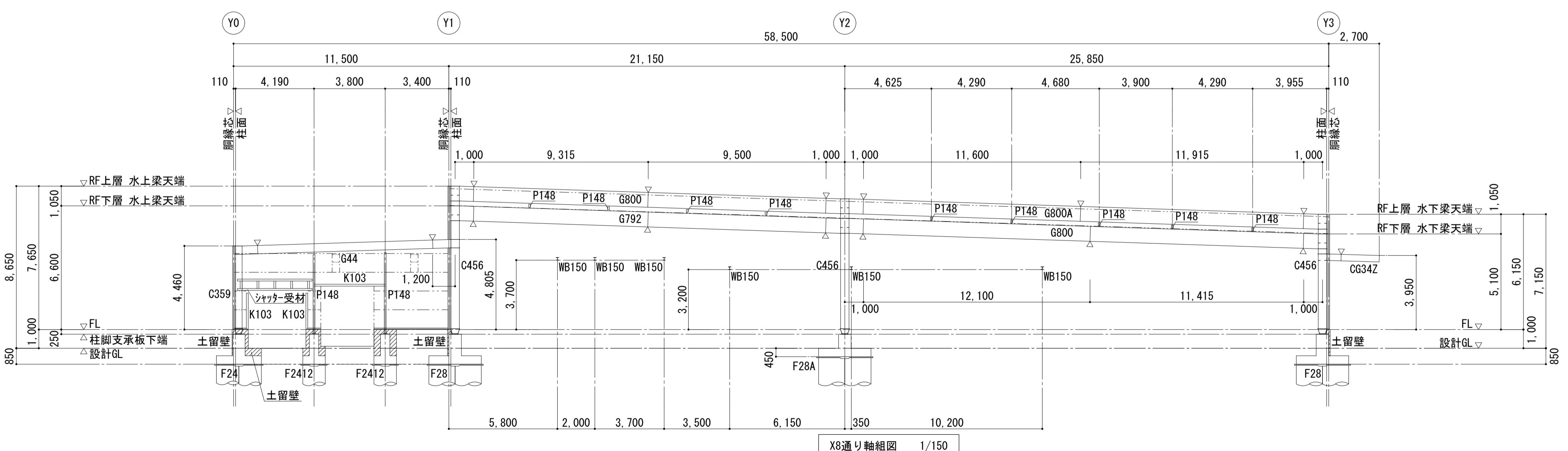
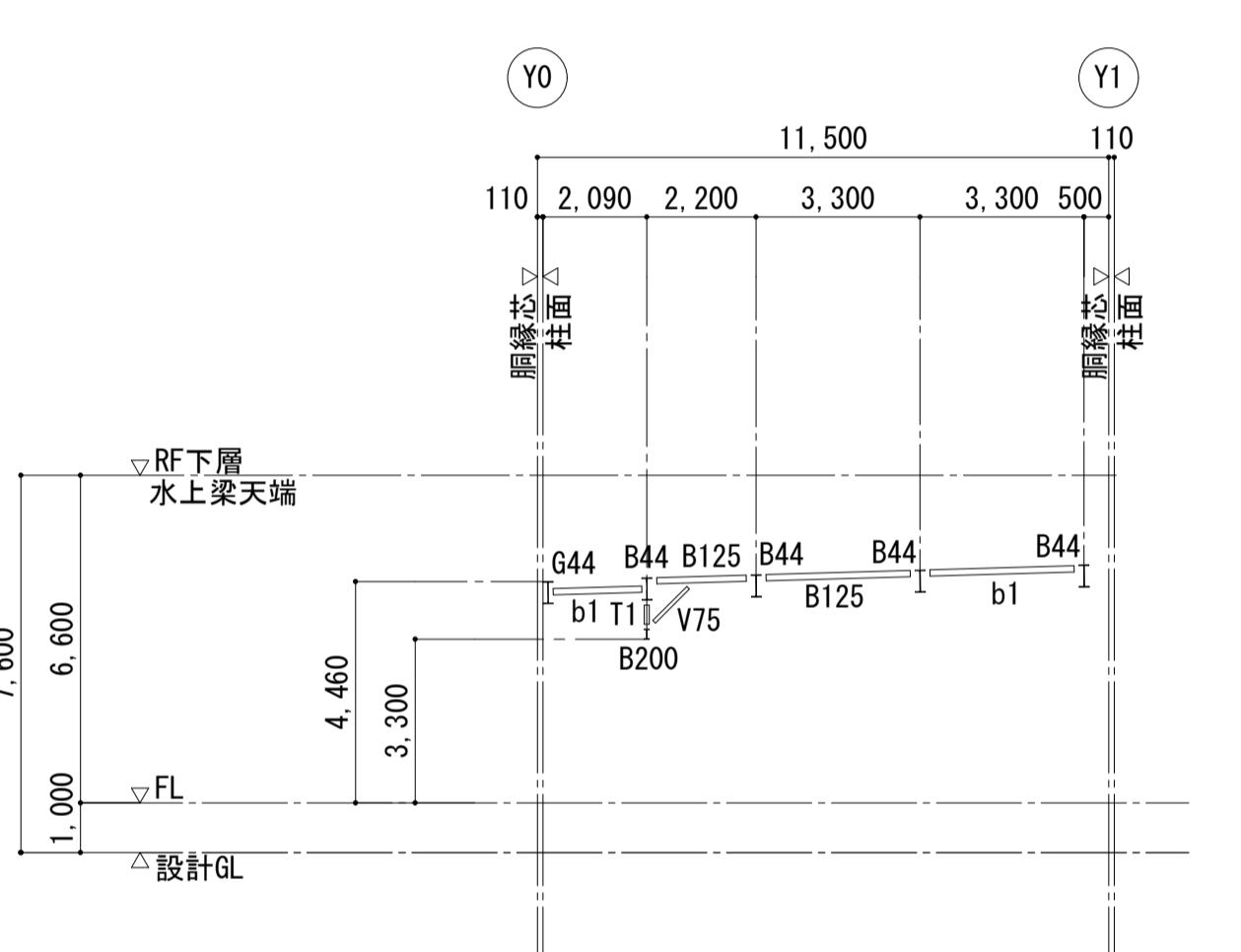


＜軸組図 凡例 ＞

- ・ : Joint位置を示す。
(特記なき場合は柱芯から1,000とする。)
- ・ : D152 : C-100x50x20x2.3@1,000以下を示す。
ボード継目は2C-100x50x20x2.3 または □-100x100x2.3 とする。
- ・ 最下段の横胴縁は端部および@2,000以下ごとにRC立上り等に繋結する事(モルタル30mm)。
- ・ 既製品のメーカー仕様により必要な部材は受材含めて、意匠図によること。
(ドックシェルター、オーバースライダー、防火ドア、既製品庇)

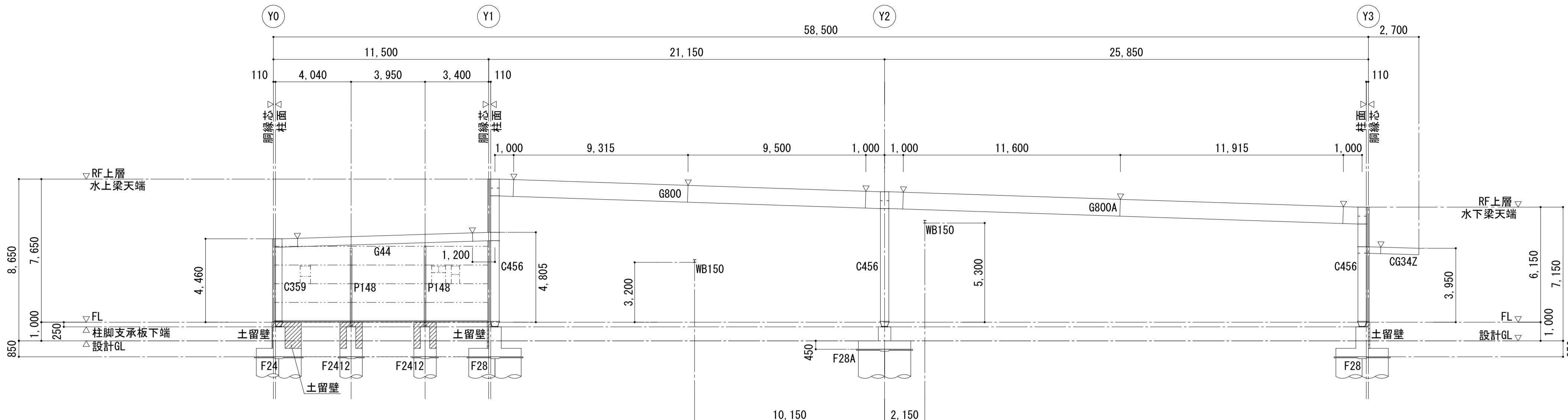


X8+5,000通り軸組図 1/150

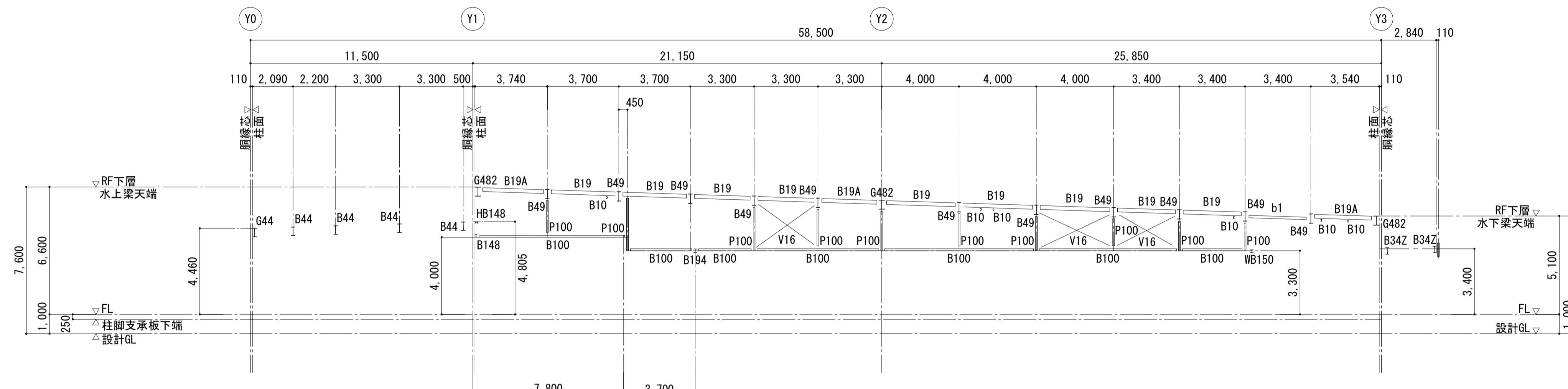


X8+2,000通り軸組図

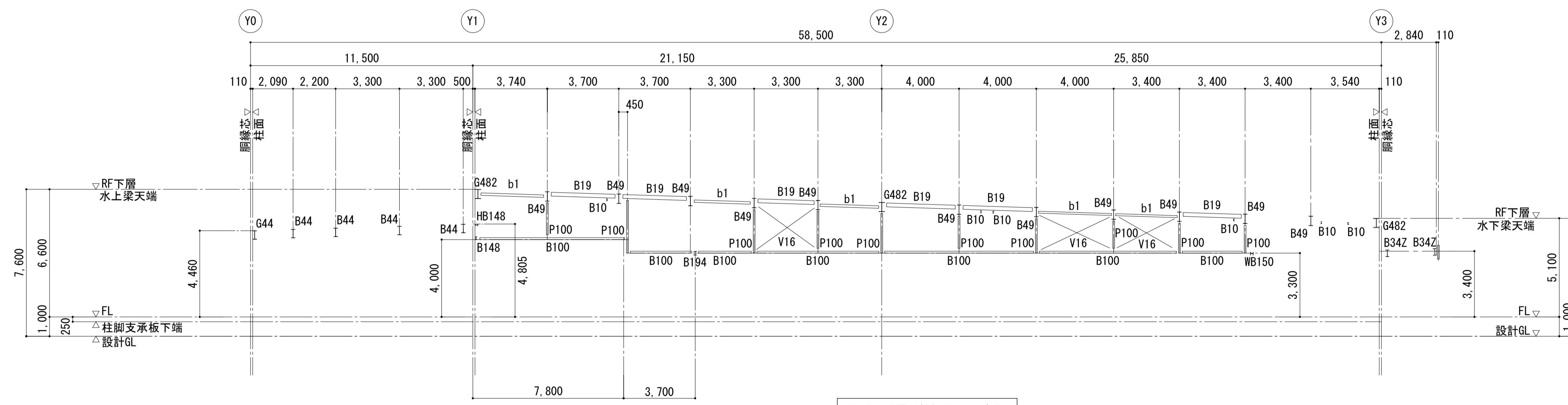
日鉄物産システム建築株式会社一級建築士事務所 東京都知事登録 第34000号
構造設計一級建築士 第2371号 一級建築士 第156382号 竹内 真弘



X9通り軸組図 1/150



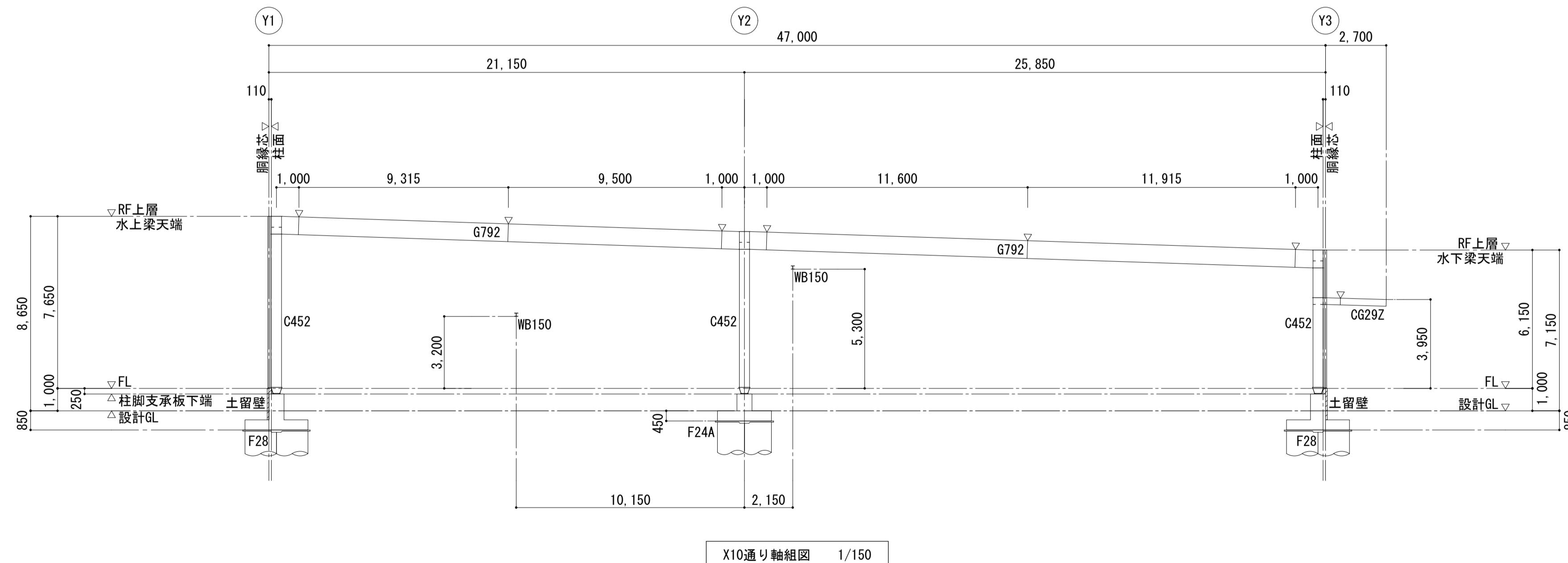
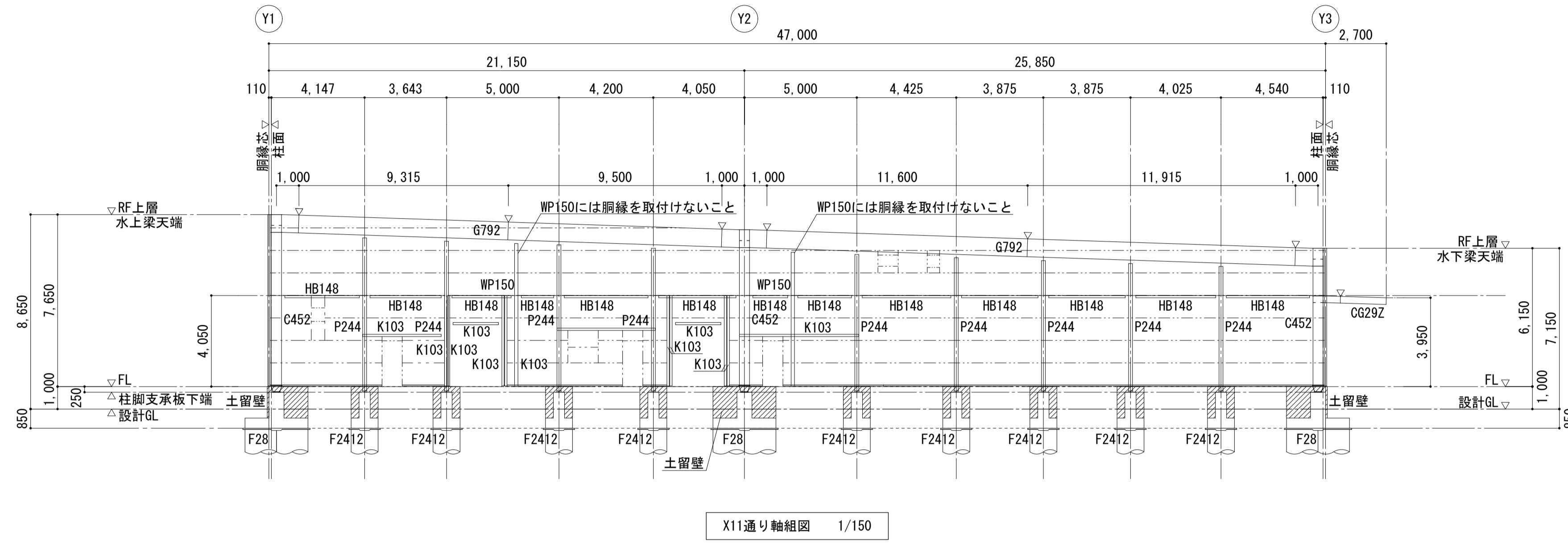
X8+6, 227通り軸組図 1/150



X8+5, 327通り軸組図 1/150

〈軸組図 凡例〉

- ▽ : Joint位置を示す。
(特記なき場合は柱芯から1,000とする。)
- : D152 : C-100x50x20x2.3@1,000以下を示す。
ボード継目は2C-100x50x20x2.3 または □-100x100x2.3 とする。
- 最下段の横胴縁は端部および@2,000以下ごとにRC立上り等に緊結する事(モルタル30mm)。
- 既製品のメーカー仕様により必要な部材は受材含めて、意匠図によること。
(ドックシェルター、オーバースライダー、防火ドア、既製品庇)



＜軸組図 凡例＞

- ・ Y : Joint positionを示す。
(特記なき場合は柱芯から1,000とする。)
- ・ - - - : D152 : C-100x50x20x2.3 または □-100x100x2.3 とする。
ボード継目は20-100x50x20x2.3 または □-100x100x2.3 とする。
- ・ 最下段の横脇縁は端部および2,000以下ごとにRC立上り等に繋結する事(モルタル30mm)。
- ・ 既製品のメーカー仕様により必要な部材は受材含めて、意匠図によること。
(ドックシェルター、オーバースライダー、防火ドア、既製品庇)

[基礎リスト 1/30] $F_c=24N/mm^2$

F28

※支承板柱脚周りはコンクリートを箱抜きすること。
(モルタル等による埋設不可)

F28A

※支承板柱脚周りはコンクリートを箱抜きすること。
(モルタル等による埋設不可)

F24

※支承板柱脚周りはコンクリートを箱抜きすること。
(モルタル等による埋設不可)

F24A

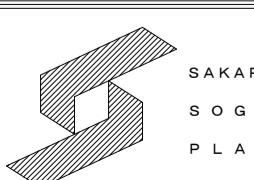
※支承板柱脚周りはコンクリートを箱抜きすること。
(モルタル等による埋設不可)

F2412

基礎部土留壁詳細図 1/30] $F_c=24N/mm^2$

基礎リスト 1/30] $F_c=24N/mm^2$

符号	C452・C456	C359	P244・P194・P148
断面			
主筋	12 - D25	12 - D19	4 - D22
Hoop	□ - D13 - 100@	□ - D10 - 100@	□ - D10 - 100@



株式会社 盛総合設計

代表取締役社長 栗原 将光
宮城県仙台市青葉区上杉三丁目3-16 〒980-0011
TEL(代表) 022-222-6887 FAX 022-224-2
事務所登録 宮城県 第23210188号

	発行 2025.10			認 担当	工事名 図面名				図番 連番	S-21
	部長	次長	審査			基礎リスト・基礎柱リスト・基礎詳細図				
					管理者	一級建築士登録 第101316号	栗原憲昭	設計者	一級建築士登録 第289308号	伏見勇男
									縮尺 A1:1/30 A3:1/60	

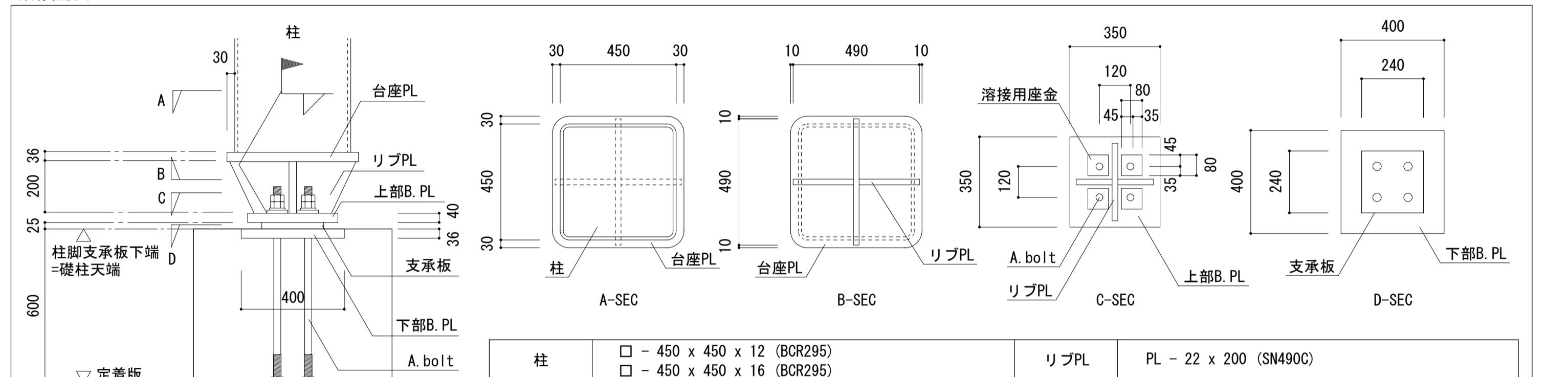
鉄骨部材リスト [柱・大梁]

階	符号	部材	材種	備考
1階	C452	□ - 450 x 450 x 12	BCR295	柱脚リスト参照
1階	C456	□ - 450 x 450 x 16	BCR295	柱脚リスト参照
1階	C359	□ - 350 x 350 x 9	BCR295	柱脚リスト参照
	G800A	H - 800 x 300 x 14 x 26	SM490A	継手: S-24 参照
RF上屋根	G800	H - 800 x 300 x 14 x 26	SS400	継手: 鉄骨構造標準図 参照
RF下屋根	G792	H - 792 x 300 x 14 x 22	SS400	継手: 鉄骨構造標準図 参照
	G482	H - 482 x 300 x 11 x 15	SS400	継手: 鉄骨構造標準図 参照
残渣処理室屋根	G44	H - 446 x 199 x 8 x 12	SS400	継手: 鉄骨構造標準図 参照

鉄骨部材リスト [片持梁]

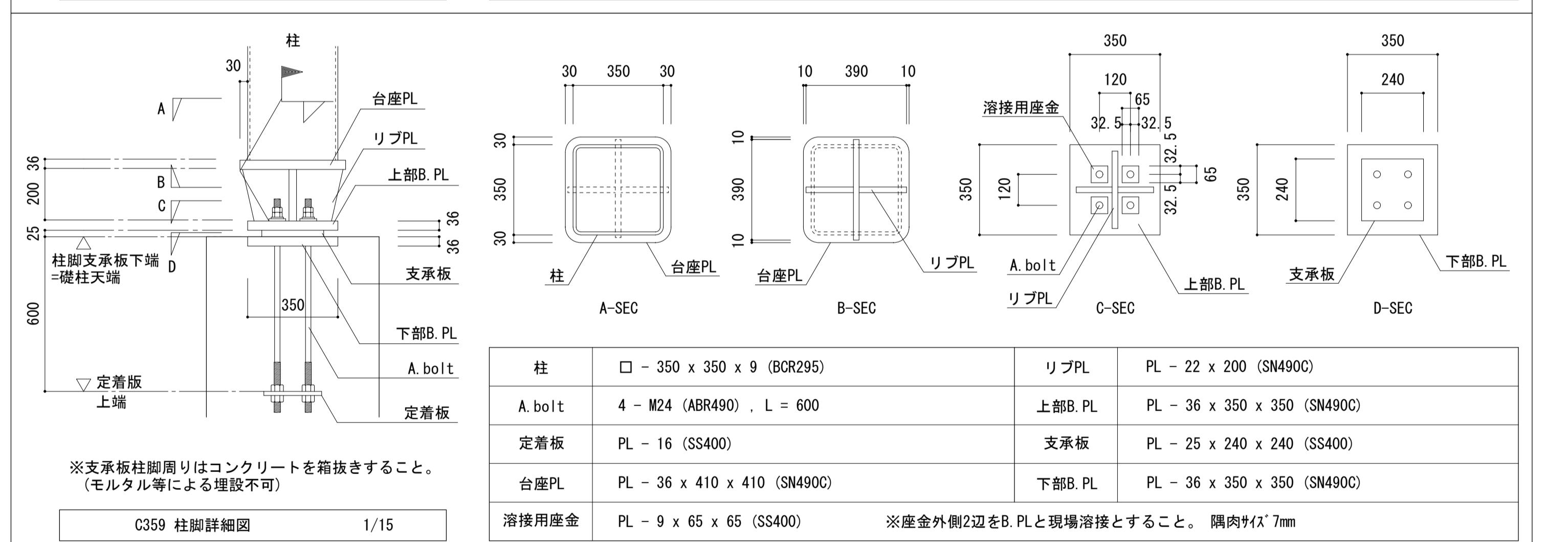
階	符号	部材	材種	備考
	CG30	H - 300 x 150 x 6.5 x 9	SS400	継手: 鉄骨構造標準図 参照
庇	CG34Z	H - 346 x 174 x 6 x 9	(溶融亜鉛めっき)	SS400 継手: 鉄骨構造標準図 参照
	CG29Z	H - 298 x 149 x 5.5 x 8	(溶融亜鉛めっき)	SS400 継手: 鉄骨構造標準図 参照

鉄骨柱脚リスト



※支承板柱脚周りはコンクリートを箱抜きすること。
(モルタル等による埋設不可)

C452・C456 柱脚詳細図 1/15



※支承板柱脚周りはコンクリートを箱抜きすること。
(モルタル等による埋設不可)

C359 柱脚詳細図 1/15

間柱柱脚リスト 1/30

柱 符号	P244	P194	P148	WP150
断面				
柱部材	H - 244 x 175 x 7 x 11	H - 194 x 150 x 6 x 9	H - 148 x 100 x 6 x 9	H - 150 x 150 x 7 x 10
ペースレート	B.PL - 12 x 235 x 284 (SS400)	B.PL - 12 x 235 x 234 (SS400)	B.PL - 12 x 235 x 188 (SS400)	B.PL - 12 x 235 x 190 (SS400)
アンカーボルト	A.bolt 2 - M16 (SS400) ダブルナット締め, 定着長 L=600	A.bolt 2 - M16 (SS400) ダブルナット締め, 定着長 L=600	A.bolt 2 - M16 (SS400) ダブルナット締め, 定着長 L=600	A.bolt 2 - M16 (SS400) ダブルナット締め, 定着長 L=320

鉄骨部材リスト [二次部材]

符号	部材	材種	備考
P244	H - 244 x 175 x 7 x 11	SS400	柱頭: G.PL-9(SS400), HTB 2-M20 @60 柱脚: 間柱柱脚リスト 参照
P194	H - 194 x 150 x 6 x 9	SS400	柱頭: G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @60 柱脚: 間柱柱脚リスト 参照
P148	H - 148 x 100 x 6 x 9	SS400	柱頭: G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @50 柱脚: 間柱柱脚リスト 参照
P100	H - 100 x 100 x 6 x 8 (キャットウォーク)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
B49	H - 496 x 199 x 9 x 14 (RF上層屋根)	SS400	X9通り: G.PL-12(SS400), HTB 6x2-M20 @60x@60 X9通り: G.PL-12(SS400), HTB 6-M20 @60 継手: 鉄骨構造標準図 参照
B44	H - 446 x 199 x 8 x 12 (残渣処理室屋根)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 4-M20 @60 継手: 鉄骨構造標準図 参照
LB40	LH - 400 x 200 x 4.5 x 6 (RF上層屋根)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 3-M20 @60 方材: PL-12x200, HTB 2-M20 方材: PL-6(SS400), HTB 3-M20 @60
LB40A	LH - 400 x 200 x 4.5 x 6 (RF下層屋根)	SS400	方材: PL-12x200, HTB 2-M20 @60 方材: PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
B34Z	H - 346 x 174 x 6 x 9 (庇)	SS400	(溶融亜鉛めっき) G.PL-9(SS400), HTB 3-M20 @70 (F8T)
B24	H - 248 x 124 x 5 x 8 (庇)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @60
B24Z	H - 248 x 124 x 5 x 8 (庇)	SS400	(溶融亜鉛めっき) G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @60 (F8T)
B194	H - 194 x 150 x 6 x 9 (区画壁)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @60
B19	H - 198 x 99 x 4.5 x 7 (RF上層屋根)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
B19A	H - 198 x 99 x 4.5 x 7 (RF上層屋根)	SS400	G.PL-12(SS400), HTB 2x2-M20 @60x@60
B148	H - 148 x 100 x 6 x 9 (ケーブル受材)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @50
B125	H - 125 x 125 x 6.5 x 9 (ワック取付用受材)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2-M20 @70
B100	H - 100 x 100 x 6 x 8 (キャットウォーク)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
B10	I - 100 x 50 x 5 x 7.5 (ケーブル受材) (キャットウォーク)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
B200	I - 200 x 100 x 7 x 10 (クレーン走行梁)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
HB194	H - 194 x 150 x 6 x 9 (横使い)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @60
HB148	H - 148 x 100 x 6 x 9 (横使い)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @50
b1	I - 125 x 65 x 6 x 8 (RF上層屋根) (RF下層屋根) (残渣処理室屋根)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2-M20 @70
b2	I - 150 x 75 x 6.5 x 10 (RF上層屋根)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2x2-M20 @50x@50
b3	I - 100 x 50 x 5 x 7.5 (庇)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
b3Z	I - 100 x 50 x 5 x 7.5 (庇) (溶融亜鉛めっき)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60 (F8T)
V20	1-M20 (JIS) タンバッフル締め (RF上層屋根) (RF下層屋根) (残渣処理室屋根)	SNR400B	G.PL-9(SS400), HTB 1-M20
V16	1-M16 (JIS) タンバッフル締め (庇)	SNR400B	G.PL-6(SS400), HTB 1-M16
V16Z	1-M16 (JIS) タンバッフル締め (庇) (溶融亜鉛めっき)	SNR400B	G.PL-6(SS400), HTB 1-M16 (F8T)
V75	L - 75 x 75 x 6 (ホイストクレーン受材)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
T1	[- 100 x 50 x 5 x 7.5 (ホイストクレーン受材) 蒸気配管受材	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
	L - 65 x 65 x 6 - @1,500 (キャットウォーク)	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
天井下地材	C - 100 x 50 x 20 x 3.2 - 900@以下 □ - 100 x 100 x 3.2 - 1,800@以下	SSC400 STKR400	G.PL-4.5(SS400), 2-M12 (緩み止め機能付ボルトまたは中ボルト)
D152	C - 100 x 50 x 20 x 2.3 - 1,000@以下 ボード継目は26-100x50x20x2.3 または □-100x100x2.3 とする。	SSC400	コナー用及び梁・柱付き接合部: PL-6(SS400)曲げ加工品(リブ付き指定品) または、L-150x90x9
K103	□ - 100 x 100 x 3.2	STKR400	胴縫付き接合部: PL-4.5(SS400)曲げ加工、または、L-75x75x6 ボルト: 2-M12 (緩み止め機能付ボルトまたは中ボルト)
K102	軒・ケラバ・胴縫出隅・入隅胴縫	STKR400	接合部詳細図 参照
シヤッタ受材・防火ドア補強材	上下材: □ - 100 x 100 x 3.2 束材: □ - 100 x 100 x 2.3 - 1,000@以下	STKR400	
腰胴縫(D152)	C - 100 x 50 x 20 x 2.3	SSC400	
大梁・B44上タフレーム受材	□ - 75 x 75 x 2.3	STKR400	G.PL-4.5(SS400), 2-M12 (緩み止め機能付ボルトまたは中ボルト)
妻側大梁上タフレーム受材	□ - 75 x 75 x 2.3 - 1,500@以下	STKR400	G.PL-4.5(SS400), 2-M12 (緩み止め機能付ボルトまたは中ボルト)
WP150	H - 150 x 150 x 7 x 10	SS400	柱頭: G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @60 柱脚: 間柱柱脚リスト 参照
WB150	H - 150 x 150 x 7 x 10 (区画壁)	SS400	G.PL-9(SS400), HTB 2-M16 @50
LGS受材	□ - 150 x 150 x 3.2	STKR400	G.PL-4.5(SS400), 2-M12 (緩み止め機能付ボルトまたは中ボルト)
既製庇受材1	2L - 65 x 65 x 8	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60
既製庇受材2	L - 65 x 65 x 8	SS400	G.PL-6(SS400), HTB 2-M16 @60

- 特記なき限り HTB は S10T または F10T とする。
- 既製品のメーカー仕様により必要な部材は受材含めて、意匠図によること。

(ドックシェルター、オーバースライダー、防火ドア、既製品庇)

